

第七十回帝國議會
衆議院

國民健康保險法案外二件委員會會議錄(速記)第九回

付託議案

國民健康保險法案(政府提出)
保健所法案(政府提出)
結核豫防法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和十二年三月二十二日(月曜日)午前十時
三十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 添田敬一郎君

理事武知 勇記君 理事立川 太郎君

理事青木 亮實君 理事三善 信房君

理事喜多壯一郎君

寺島 權藏君

土屋清三郎君

渡邊 鏡藏君

岡田喜久治君

門田 新松君

加藤鑠五郎君

犬養 健君

山口 久吉君

北 勝太郎君

田中 養達君

出席國務大臣左ノ如シ

内閣總理大臣 林 銑十郎君
兼文部大臣

內務大臣 河原田稼吉君

出席政府委員左ノ如シ

內務省衛生局長 挾間 茂君

社會局長官 廣瀨 久忠君

社會局部長 清水 玄君

農林省經濟更生部長 小平 權一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

國民健康保險法案(政府提出)

保健所法案(政府提出)

結核豫防法中改正法律案(政府提出)

○添田委員長 ソレデハ開會ヲ致シマス

○青木委員 委員長、一寸議事進行ヲ發言

ヲ御許シ願ヒマス

○添田委員長 青木君

○青木委員 當局ニ私一寸伺フテ置キタイ

ノデゴザイマスガ、過日來ノ質問應答ノ御

様子デハ、優良醫療組合ハ十七乃至二十ト

云フコトヲ御話ニナッテ居リマシタガ、ソレ

ニ違ヒアリマセヌカ

○廣瀨政府委員 過日來申上ゲマシタヤウ

ニ、今ノ優良ノ組合ト仰セラレルノハ、醫

療利用組合ノコトダラウト思ヒマスガ、醫

療利用組合代行ヲセシメテモ宜シイ、代

行ニ付テハ一定ノ條件ヲ具備シテ、成績ガ

優良ナモノデナケレバナラス、其種ノモノ

デ現在ノ所資格ノアルモノトシテハ、マア

二十前後ヲ推定シテ居ルト云フコトヲ申上
ガタノデゴザイマス

○青木委員 今直グ代行ヲ御認メニナッテ

宜カラウト云フノハ、二十前後ト承知致シ

マシテ間違ガナイノデゴザイマスナ、ソレ

カラ次ニ御尋シタイト存ジマスルノハ、團

體契約ハ法文化スルコトガ出來ナイ、出來

ナイガ省令ヲ以テ十分其邊ニハ含蓄アル訓

示ヲスルト云フ御話デアリマシタガ、ソレ

カラヤハリ其御意見デ御居デニナリマスカ

○廣瀨政府委員 此團體契約ニ付キマシテ

ハ之ヲ法文化スルノハ適當デナイ、併シ實

際ニ是ガ行ハレルト云フコトニ付テハ、地

方ノ實情ニ依ッテハ少シモ差支ハナイ、ソレ

カラ廣ク醫師ヲ選擇スルト云フヤウナ意味

ニ於テ、弊害ナキ限り團體契約ヲスルコト

ニ付テハ獎勵モ場合ニ依ッテハシテモ宜イ

ト云フ積リデ居リマス

○青木委員 今ノ醫療利用組合ヲ代行セシ

メ得ルモノト云フコトハ、現在ノ優良ト御

認ニナルモノニ限定サル、コトハ、無論間

違ガナイト存ジマスルガ、若モ是ガ優良ナ

リ、優良ナリト云フ意味デ、漸次増加スル

ト云コトニ相成リマスルナラバ、殆ド限定

サレタモノガ限定サレナクナッテ、限リナク

醫療利用組合ガ優良ニナルト云フコトニ相

成リマスルト、九條ト云フモノヲ削除シテ

モシナクテモ同ジコトニ相成ルノデアリマ

スルガ、其邊ニ付テ今一應伺ヒタイ、尙ホ

九條ノ代行ハ二十前後ト云フコトガ間違イ

ト見デ宜イノデアルカ、ハッキリシタ御言明

ヲ願ヒタイ

〔委員長退席、三善委員長代理著席〕

○廣瀨政府委員 只今ノ御質疑ハ二十前後

ト云フコトヲ現在ハ推定シテ居ルガ、將來

一ツモ外ヘハ出ナイカト云フ意味ノ御尋ト

考ヘルノデアリマスガ、ソレハ私共ハ現在ノ

所、資格ノアルモノガ二十内外ト推定致シ

テ居ルト申上ゲテ居ルノデアリマシテ、將

來私共ハ少シモ二十ヨリ出ナイト云フコト

ヲ申上ゲル譯ニハ參リマセヌ、唯併シ將來

良イモノガ出來テ來レバ、ヤハリ是ハ認メ

ルト云フ積リデハ居リマスケレドモ、併シ

代行ニ付テハ相當ニ嚴重ナ條件モアリマス

ノデ、サウ非常ニ殖エルモノデモナイ、今

年モ豫算デハ二十全部認メル譯デハナク、

其一部ヲ認メルト云フヤウナコトデアリマスカラ、サウ殖エルモノデハナイト思ヒマスガ、唯、今推定シテ居ル二十ガ、將來是ヨリモ一步モ出ナイノダト云フヤウニ御考ヘニナルト、ソレハ私共ガ從來御説明申上ゲテ居ッタノト違フノデアリマス

○青木委員 サウ致シマスルト、現在ノ醫療利用組合ノ數ハ幾ツ程アリマスカ、ハッキリ御示ヲ願ヒタイ

○清水政府委員 昭和十年度末ノ推定ニ依リマシテ二百五十七組合デアリマス

○三善委員長代理 土屋君ニ發言ヲ許シマス

○土屋委員 私人質問ヲ續ケル前ニ、議事進行ニ付テ委員長ニ御願ヲ致シタイコトガアリマス、ソレハ去ル九日ノ本會議ニ於キマシテ國民健康保險法案外二件、即チ今此處ニ審議ニ掛ケテアル法案ニ對スル行吉角治君ノ質問演說ノ中ニ斯様ナコトガアルノデアリマス「今回提出サレマシタ所ノ法案ニ對シテ本員聞クニ堪ヘナイ風説ヲ聞クノデゴザイマス、本員全ク之ヲ信ジタクナイノデゴザイマス、巷間傳フル所ニ依リマス、今回モ醫師會ニ於キマシテハ、今日マデノ經費二十數萬圓ヲ使ッタト傳ヘラレテ居ルノデゴ

ザイマス、全國カラ集リ來リマシタ所ノ醫者ノ代表者ガ三千人ヤ五千人上京致シマシテ、滞在致シマシタカラト申シマシテ、二十數萬以上ノ金ノ要ル筈ハナイト思フノデゴザイマス、而モ吾々政黨人ト致シマシテ、現時ハ政黨ノ信用挽回ニ獻身的努力ヲ拂ッテ居ル途上デアリマス、斯ル忌ハシキ風評スラ聞クノハ堪ヘ忍ビ得ナイノデアリマス」云々ソレカラ其次ニ、「吾々國民ノ代表者タルモノハ、此時ニ當リマシテ議會ノ權威ノ爲メ、議員ノ信用ノ爲メ、慎重ナル態度ヲ以テ之ニ臨マナケレバナリマセヌ」此話ハ私モ伺ヒマシタガ、當時之ニ對シテハ何等カ本人カラ釋明ガアルヤニ仄聞致シマシタカラ、其儘ニ致シテ置キマシタ所ガ、一昨日私ノ留守宅ニ産業組合ノ青年連ガ參リマシテ、此法案ニ對スル色々ノ意見ヲ留守ノ者ニ言傳ヘマシタ中ニ、醫師會デハ二十何萬圓ノ金ヲ使ッテ色々ノ運動ヲサレテ居ル、吾々ハ一錢、二錢ノ零細ナ金ヲ集メテ、此運動ヲシテ居ルノデアル、若シサウ云フコトニ依ッテ吾々ノ主張ガ通ラナイト云フコトデアレバ、吾々ハ重大ナル決意ヲシナケレバナラス、斯ウ云フコトヲ留守ノ者ニ言ッテ行ッタサウデアリマス、私ガ居レバ會ッテ能ク話ヲシテヤリタカッタと思フノ

デアリマスケレドモ、何シロ留守中ノコトデ致方ガアリマセヌガ、ソコデ私ノ感ジマシタコトハ、サウ云フコトガ眞面目ナ青年ノ間ニマデ傳ヘラレテ誤リ信ゼラレルト云フコトハ、ソレコソ議會ノ信用ノ上ニモ、洵ニ面白クナイコト、斯ウ考ヘルノデアリマス、行吉君ガ其後ドウ云フ態度ヲ執ラレタカト云フコトニ付テ私深ク存ジマセヌガ、數日前一寸私ノ耳ニ挾ンダ所ニ依リマス、岡田副議長カラ本人ニ對シマシテ非公式ニ注意ヲ致シマシタ所ガ、本人ハ書面ヲ以テ何カ釋明書ノヤウナモノヲ岡田君ノ所ニ送ラレタ、而モソレハ私信デアッテ、表ニハ名前ガ書イテアルケレドモ、中ニハ名前モ何モ書イテナイトカ云フヤウナコトデアリマス、議會ニ於テ公ケニ述ベラレタルコトハ、私信ヲ以テ決シテ之ヲ解消スルコトハ出來ナイ、今此案ノ審議ニ付テハ、全國民ガ深甚ナル注意ヲ拂ッテ居ル場合デアリマスカラ、私ハ此審議ヲ進ムル上ニ於テ、又議會ノ信用ヲ保持スル上ニ於テ、此際委員長カラ議長ニ對シマシテ、之ニ對スル處置ハドウナッテ居ルノデアルカ、此點ヲ御聽キニナッテ、議長ノ注意ヲ喚起セラレマシテ、適當ナル處置ヲ執ラレルヤウニ御取計ヒヲ願ヒタイノデアリマス

○三善委員長代理 只今ノ申出ハ能ク承知シマシタ

○土屋委員 ソレデハ政府ノ方ニ對シテ御質問申上ゲマスガ、私ノ請求申上ゲマシタ材料ニ付テ、茲ニ一部醫療利用組合ニ付テノ資料ヲ御出シ下サイマシタ、是ハ私ノ御請求申上ゲタモノヨリ、非常ニ不足デアリマスケレドモ、是デ宜シイノデスカ、今一番問題ニナッテ居ルノハ、此醫療利用組合ノコトデアリマス、是デモウ御出シ下サラナイノデアリマス、ドウナノデアリマス

○清水政府委員 便宜私カラ御答致シマスガ、御請求ニナリマシタ材料ノ中デ、農林省關係ノ分ニ付キマシテハ、只今アリマ

スル材料等ノ關係上、差上ゲマシタ以外ノモノハナイサウデアリマス

○土屋委員 サウ致シマス、先達來此醫療利用組合ノ中デ、優良ナルモノハ十幾ツト云フ御説デゴザイマシタガ、ソレハドウ云フコトニナッテ居リマセウカ、何ニモアリマセヌガ、アナタノ方ニ材料ガナクシテ、サウシテ議會デ漠然十幾ツ位アルト云フノハドウモ承服出來ナイ、何ヲ根據トシテサウ云フコトヲ申サレタノデアリマス

○清水政府委員 大體十トカ、二十トカ申シマシタノハ推定デゴザイマス、只今差上

ダマシタ材料ニモアリマスヤウニ、現在ノ組合ガ二百五十七アリマス、其中ニ付キマシテ代行ニ付テハ色々條件ガアルコトハ、

前々カラ申上ゲテ居ル通りデアリマス、其條件ヲ色々考ヘマシタ結果、ソレ等ノ條件ニ當嵌ルモノト云フ推定ヲ致シマス、結局二十位ニナルグラウト云フコトヲ申上ゲタ次第デアリマス、其材料ノ一ツトシテハ例ヘバ前ニモ申上ゲタノデアリマスガ、大體全村加入ト云フコトヲ第一ノ條件トシテ居ルノデアリマスガ、其代行ト云フコトニ付テ考ヘテ見マス、全村加入シテ居ル産業組合ト云フモノハ、大體ノ概數カラ申シマシテ、是ハ九割五分程度ノ加入デゴザイマスガ、大體八九十程度ノ組合ガアリマス、サウ云フ風ナ點カラ考ヘマス、結局二十位グラウト云フ推定ヲ致シタノデアリマス

○土屋委員 私是カラモウ少シ質問ガアリマスケレドモ、都合ニ依リマシテ一時保留致シマシテ、三宅君ノ御質問ガアルサウデアリマスカラ、其後ニ私ノ質問ヲ繼續スルコトニ致シマス、ドウカ其様ニ願ヒマス

○三善委員長代理 ソレデハ三宅君ニ發言ヲ許シマス——三宅君

○三宅委員 内務大臣ハマダデスカ

○三善委員長代理 三宅君ニ申上ゲマス、

内務大臣ハ今貴族院ノ豫算總會ノ方デ答辯中デアリマス、二三十分スルトオ出ニナルサウデス

○三宅委員 私ハ今回ノ保險ニ關シマスル諸法案ハ、衛生局所管、社會局所管ト色々バラ／＼ニ出テ居リマスケレドモ、要スルニ國民體位ノ維持向上ニ對シテ、綜合的ニヤハリ考ヘナケレバナナイ問題デアデ、之ヲ綜合的ニ扱ハナケレバ、其效果モ殆ド發揮スルコトガ出來ナイト云フ見地ニ立チマシテ、私ハ先ヅ第一ニ醫療制度ニ關シマスル問題カラ質問シタイト考ヘルノデアリマス

第一私ガ社會局、衛生局ト云ハズ内務大臣ニ御聽シタイノデゴザイマスルガ、現在ノ開業醫制度ノ下ニ於キマスル醫師ノ分布變遷ニ關スル問題デアリマス、ソレハ内務省ノ衛生局ノ發表ニ依リマスルナラバ、昭和三年ニ診療ニ從事シタ醫師ガ四萬三千二百七十三人、然ルニ是ガ昭和十一年ニナリマス、ト云フト、五萬三千三百七十六人デ、醫師ノ數ガ一萬百三人殖エテ居ル、醫師ノ絕對數ニ於テ一萬百三人殖エテ居ルニ拘ラズ、町部ニ於キマシテハ、昭和三年一萬二千八百六十六人ノ醫師ガ、昭和十一年一萬七百四十六人ニナツテ、二千六十人減少シテ

居ル、村部ニ於キマシテハ昭和三年一萬四千二十七人アリマシタノガ、昭和十一年ニハ一萬一千七百五十二人ニ減少致シマシテ、二千二百七十五人減ツテ居ルノデアリマス、隨テ全部ヲ合計致シマスルト云フト、絕對數ニ於テ一萬百三人殖エマシタ醫師ガ、郡部ニ於テハ四千三百三十五人減ツタト云フ現象ニナツテ居ル、是ハドウ云フコトヲ現ハスカト申シマスナラバ、第一ニ農村ニ於キマシテハ、農村ノ疲弊ニ依リ醫療難ト云フコトガ第一ノ問題デアル、第二ニ町ニ於キマシテハ醫師ノ激増ニ依ツテ、醫者ガ非常ナ生活難ニ怯エテ居ルト云フコトガ第二ノ問題デアル、私共ハ醫師會ノ色々ノ議論ノ中ニ於キマシテ同情ヲ以テ傾聽シテ居リマスル問題ハ、醫者ノ生活安定ヲ如何ニスルカト云フコトニ付キマシテ、私共ハ此國民保健衛生ノ見地カラシテ同情ヲ以テ考ヘテ居ルノデアリマスガ、自由放任ヲ原則ト致シマスル、營利企業ヲ原則ト致シマスル開業醫制度ノ下ニ於テ、僅カ昭和三年カラ昭和十一年ノ間ニ於テ、市部ニ於テハ一萬四千四百三十八人ノ醫者ヲ増加シテ、都市ニ於ケル醫者ノ生活難トナツテ現ハレ、郡部ニ於テハ其間ニ於テ四千三百三十五人ヲ減少シテ居ル、即チ開業醫制度ノ下ニ於テハ、醫者

ノ生活自體ノ安定ヲ持タナイノミナラズ、分布ニ於キマシテモ、即チ地域ノ分布、社會的分布ニ於テモ、都市ハ一萬四千四百餘人ノ醫者ガ殖エテ居ルケレドモ、民衆ガ醫者ニ掛リ得ナイ深刻ナル生活難ノ中ニア、此點ニ付テ一體今日ノ開業醫制度ガ、醫者ノ偏在ヲ來シテ居ルト云フ原因ニ付テ、竝ニ之ニ對スル對策ニ付テ、何等カ統一の方策ヲ内務省ハ持ツテ居ラレカ、衛生局デアルカ、或ハ社會局デアルカ知りマセヌガ、統一シタル方針ヲ内務大臣トシテ御持チニナツテ居ルカドウカ、斯ウ云フ問題ヲ考ヘズシテ、國民健康保險其他ノ色々ナ法案ヲ御出シニナリマシテモ、私ハ是ハ徒ニ無益ナ摩擦ヲ起シ、サウシテ效果ガ來サレナイト考ヘルノデアリマスガ、此點ニ付テ内務大臣カラ伺ヒタイト考ヘマスケレドモ、内務大臣ノ積リヲ以チマシテ、一ツ大衆的見地ニ立ツテ内務當局ニ先ヅ御答辯ヲ願ヒタイト考ヘルノデアリマス

○挾間政府委員 只今ノ御尋ハ醫療制度ヲ少クトモ我國ニ於ケル根本ニ關スル問題デアリマシテ、私カラ御答スルコトハ如何カト思ヒマスルガ、或ハ内務大臣ヨリ他ノ機會ニ於テ御答辯ガアルカト思ヒマスルガ、簡單ニ私ヨリ申上ゲマス、醫師ノ分布ガ都

市農村ニ跛行的デアルト云フコトハ御説ノ通りデアリマス、醫療機關ノ普遍化ト云フコトヲ考ヘテ居リマス立場カラ申シマスト、非常ニ憂慮シテ居ルノデアリマス、唯此醫療機關ノ問題ハ、通常ノ技術者等ト違ヒマシテ、ソレノ醫療ニ付キマシテ専門的ノモノモアリマシ、又是ハ一般ノ問題デアリマスガ、經濟上ノ理由モアリマス、又此日進歩ノ醫療方法ノ進展ト云フコトカラ考ヘマスルト、各種ノ研究ニ從事スル研究心ノ旺盛デアル醫師ガ、其研究材料、研究對象ノ多イ方面ニ參リマス云フヤウナコトモ否定シ難イ現實ノ問題デアリマス、斯ウ云フヤウナコトカラシテ、最近特ニ醫師ガ都會地ニ偏在スルト云フコトニナツテ參ッテ居ルノデアリマシテ、更ニ今一ツノ原因ハ、從來限地開業醫ト云フモノガアツタノデアリマスガ、此頃ハ是ガ殆ドゴザイマセヌノデ、ソレガ農村地方ニ於テ年ヲ取ッテ死亡シタ者ガ漸次殖エテ居ル、而モソレニ對シテ都市又市街地ヨリ農村ニ行ク醫師ガ少クナツタト云フコトモ、都市偏在ノ理由トナツテ居ルコト、思フノデアリマス、唯此醫師ノ分布ノ跛行的デアルト云フコトヲ、國家ノ制度トシテ如何ニスルカト云フコトハ、非常ニ大キナ問題デアリマス、結

局ハ醫療公營乃至國營ト云フヤウナ問題トモ關聯ヲ持ッテ居ルコトデ、直チニ結論ヲ得ルト云フコトハ非常ニ困難デアラウト思ッテ居リマス、併ナガラ當局ト致シマシテハ、此點ニ付テハ慎重ニ考慮致シテ居ルノデアリマシテ、唯、今日ノ開業醫制度ト云フモノハ、我國ニ於ケル醫療ノ發達ニ非常ナ貢獻ノアル、又國民生活ノ實際ニ即シタ分子ガ多大ニアルノデアリマス、今日ノ態度ト致シマシテハ開業醫制度ヲ根幹ト致シマシテ、之ニ伴フ不利不便等ヲ是正スベキ適當ナル方策ヲ、之ニ副ウテ考究シ實施スルト云フコトニ致シマシテ、醫療ノ制度ノ分布ヲ普遍的ニスルト云フ行キ方ニ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、差當ッテ問題ト致シマシテハ、昭和十二年度以降ニ於テ豫算ニ計上致シテ居リマス無醫村ニ對スル醫療普及ノ問題デアリマシテ、是ハ只今御述ニナリマシタ醫療機關ノ都市ニ偏在シテ居ルト云フコトニ對スル一ツノ對策デアリマシテ、極端ナル醫療機關ノ偏在シテ居ル所ニハ、國家公共團體ノ統制力ヲ用ヒマシテ、醫療機關ヲ普及シタイト云フノデアリマス、少クトモ此計畫ヲ全部實現致シマスレバ、醫療ニ全然事缺ク地方ハ、マア吾々ノ考ヲ以チマシテハ、我國ニハナクナ

ルト云フ考デアアルノデアリマス、唯ソレ以上ノ統制ヲドノ程度マデ用フルカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ我國醫療制度ノ根幹ニ觸レル大キナ問題デアリマスノデ、慎重ニ考慮シテ進ミタイト考ヘテ居リマス

○三宅委員 モウ少シ私ハ大局ニ立ッテ御答辯ヲ期待シタノデアリマスガ、甚ダ御答辯ニ付テハ不意デアリマス、要スルニ兎モ角今カラ十年前ニ於テハ、日本ニ於キマシテハ無醫村ハ二千位シカナカッタ、ソレガ最近ニ於テハ三千五百ヲ超シテ——最近ノ統計ハ三千四百トナツテ居ルノハ、三井報恩會等ノ金ニ依リマシテ、内務省ガ無醫村對策ヲ立テラレタ結果デアリマス、然ルニ後カラ私ハ質問シタイト考ヘマスルガ、其無醫村對策ト云フモノガ補助金ニ依ッテ建物ダケハ出來タガ、醫者ハ逃ゲ歸ッテ居ラナイト云フ實情ガ非常ニ澤山アル、是ハ今衛生局長ノ言ハレタ原因ダケデ、解決ガ著カナイ點ガアルノデアッテ、開業醫制度ノ本質ニアリマス所ノ不合理ナル點、竝ニ醫療技術ノ變遷ノ結果來マス所ノ此二ツガ、大キナ原因トシテアルト考ヘテ居ルノデアリマス、此二ツノ原因ヲ私共ハ捕捉スルニアラザレバ、此問題ハ解決シナイと思フノデアリマス、ソレデ都市部ニ於キマシテ、町ニ於

キマシテ一萬四千四百人醫者ガ殖エタ、而モ年々二千乃至三千ノ者ガ醫學校カラ無統制ニ放出サレル、是ガ今後我國醫療制度ニ良イ影響ヲ與ヘルカ、惡イ影響ヲ與ヘルカト云フコトニ付キマシテ、現狀ノ開業醫制度ノ下ニ於キマシテハ、共倒レニナルト云フ危險ガ非常ニアル、今日ニ於テハ——私ハ第二ノ質問ニ移リタイガ、其結果私ハ醫師ノ「サラリーマン」化ト云フコトガ非常ニ大キナ原因ニナルト思ヒマス、私ハ是ハ開業醫制度ニ對スル第二ノ批判ト考ヘマス、最近ニ於ケル醫師ノ「サラリーマン」化ハ、内務省衛生局ノ調査ニ依リマスレバ、昭和十一年八月ニ於キマシテ官公立ノ診療所ニ從事シテ居ル醫者ガ八千一百十一人、總醫師數ニ對スル一・五％、醫療組合其他非醫師ノ經營スル醫療機關ノ醫師ガ五千六十四人、九・四％、開業醫ニ雇ハレテ居ル醫者ガ五千九百七十四人、一一・五％、斯ウ云フ勘定デアリマシテ、一萬九千二百十八人、約二萬人ノ醫者ガ今日ニ於テ俸給生活者デアアルノデアリマス、診療ニ從事シテ居ル醫者ガ……而シテ自分デ病院ヲ持ッテ開業シテ居ルノハ三萬四千人デアッテ、二萬人ハ「サラリーマン」デアアル、此二萬人ノ「サラリーマン」ニナツテ居ル醫者ニ付キマシテハ、

是ハ共濟施設其他ニ付テ十分ニ考ヘテヤラ
ナケレバナラス、醫者ノ如キハ患者ニ接シ
マシテ、肺病ナドニナル機會モ多イ劇職デ
アリマス、是ニ於テ十年モ經テマシテ病氣
ニナリマシテ退職致シマシテモ、二萬、三
萬位ノ退職金ヲ貰ヘルヤウナ共濟施設ヲ考
ヘテヤルト云フコト、本當ノ保險施設ト云
フヤウナコトガ必要デアルト考ヘル、又今
日ノ開業醫制度ノ下ニ於テ、又日本醫師會
制度ノ下ニ於キマシテ、斯ノ如キ問題ハ放置
サレテ顧ミラレテ居ナイ、唯、今マデ基礎
ノアル開業醫ニ於キマシテハ、藥價規定ヲ
維持スルコトニ依ッテ、自分ノ位置ヲ擁護シ
ヨウトスル、基礎ヲ持タザル「サラリーマ
ン」醫師、竝ニ新シク大學ヲ出タ醫者ハ、
農村ニハ實際ニハ行ケナイ、而シテ町ニ於
キマシテハドン／＼醫師ガ剩ッテ來ル、然ル
ニ最近ニ於ケル醫師ノ現狀ハ「レントゲン」
其他ノ機械ヲ持タナケレバ開業ガ出來ナ
イ、「レントゲン」ハ聽診器ノ代リデアルト
云フコトハ明白ナル事實デアアル、所ガ私ガ
本會議ニ於テ質問シタ如ク、客ガ來ルカド
ウカト云フコトハ、自由開業醫制度ニ於テ
ハ、信濃川ニ釣糸ヲ垂レルト同ジコトデア
ル、危險千萬デアアル、隨テ大部分ハ資本ノ
奴隸ニナッテ居ル、門戸ヲ張ッテ居ルケレド

モ、執達吏ニ押ヘラレテ資本ノ奴隸ニナッ
テ居ル、醫療ト云フ天職ニ從事スルコトハ、
最近ニ於テハ出來ナイ狀態デアアル、斯ウ云
フ事實ヲ考ヘナケレバナラス、ノミナラズ
第二ニハ地盤ヲ持タザル新シイ醫者ノ生活
ト云フモノハ實ニ不安デアアル、私ハ大阪ニ
於テ開業醫ノ御用聞ト云フモノガ最近澤山
出來テ居ルト云フ事實ヲ聞キマシテ、膚ニ
粟ヲ生ズル思ヒガシタノデアリマス、即チ
靴ヲ提ゲテ八百屋ヤ酒屋ト同ジヤウニ、御
用ハアリマセヌカト言ッテ廻ル、病氣ガアリ
マスレバ患者ノ脈ヲ診ルヨリハ、遂ニハ財
布ノ脈ヲ見ルト云フコトニナル、サウ云フ
コトニナリマシタナラバ非常ニ憂慮スベキ
コトデアアル、ダカラ開業醫制度ソレ自體ヲ
今日放置シテ置キマシテ、此基礎ノ上ニ日
本ノ保健衛生ノ制度ヲ持ッテ行カウト御考
ニナルナラバ、私ハ是ハモウ腐リ掛ケタ糞
土ノ牆ヲ塗ラレルト同ジコトデ、是デハイ
カヌ、併ナガラ私ハ本會議デモ申シマシタ
通り、ソレハ過渡的ニハ現狀ニ於キマシテ
開業醫ト云フモノガ相當ナ數ヲ占メテ居ル
デアアルカラ、是ガ生活ノ安固ヲ圖リツ、
一方ニ於キマシテ其弊害ヲ是正スル制度ヲ
一ツ作り上ゲテ行カナケレバ、我國ノ醫療
制度ト云フモノハ駄目ダ、其點ニ付テハ、

私ハ今日マデノ衛生局ノ態度、特ニ最近ニ
於ケル挾間局長、龜山課長ナドハ新シク迭
ラレマシテ、私ハ其御識見ニ付テ敬意ヲ表
シテ居リマスケレドモ、今日マデハ殆ド醫
師會ノ出店ノ觀ガ衛生局ニアッタノデアリ
マス、斯ウ云フ醫療制度ノ病根ニ付テ、之
ヲ爬羅剔抉致シマシテ、サウシテ今アリマ
スル醫者ニ付テハ、之ヲ保護スルケレドモ、
惡イ點ハ惡イ點トシテ直シテ行クト云フ醫
療制度ノ根幹ニ付テノ是正ニ關スル御意見
ガナケレバ決シテ行カナイ、例ヘバ卒業生
ノ數ニ付キマシテモ、二千、三千ト出マシテ
醫者ガ實際ニ於テ食ヘナイ、患者モ今ノ制
度デハ掛カレナイト云フナラバ、私ハ卒業
生ノ數等ニ付テモ、ヤハリ一定ノ計畫ヲ以
テ制限サレルコトガ必要デアルト考ヘル、ノ
ミナラズ、私ハ後カラ質問シタイと思ヒマス
ガ、保健所法案ニ於キマシテ、今ノオ醫者
サンデ保健所ナドハ出來ハシナイ、社會衛
生學ノ知識ガナク、統計學ノ知識ガナクテ、
ドウシテ出來ルカ、最初簡易保險局ガ健康
相談所ヲ作りマシタケレドモ、結局ハ脈ヲ
診テソレデヤ藥ヲ出サウト云フコトニナル
ノデアリマシテ、保健所ガ集團衛生ノ指導
デアルトカ、生活環境ノ指導デアルト云フ
ヤウナコトハ、私ハ今ノオ醫者ヲ以テハ出

來ナイ、寧ロ法學士ニヤラシタ方ガ出來ル
ト考ヘル、醫育教育ヲ改善シナケレバ出來
ナイト考ヘル、デスカラ例ヘバ三千人ヅツ
出マス今日以後ノ醫者ニ付キマシテ、其半
分ニ對シテハ所謂臨床ニ對スル學問ノ外
ニ、社會學、經濟學、統計學等ヲ教ヘマシテ、
保健衛生指導官トシテノ方面ニ醫者ヲ持ッ
テ行キマシテ、開業醫ノ生活ヲ脅サナイヤウニ
スルトカ、兎ニ角斯ウ云フヤウナ點ニ付テ、
纏ッタ大局的ナ一ツノ方針ヲ持タレナケレ
バ、私ハ醫療行政ヲバラ／＼ニオヤリナリ
マシテモ、何等ノ意義ヲナサスト考ヘルノ
デアリマス、此所謂醫師ノ「サラリーマン」
化ノ大勢、之ニ對スル對策デアルトカ、卒業
生ニ對スル對策デアルトカ、開業醫ニ對スル
統制デアルトカ——獨逸醫師法ハ御承知ノ
通り醫師ノ分布ニ付テ、醫者ガ足ラヌ所ヘ
開業ヲ命ズルト云フヤウナ統制權ヲ持ッテ居
ルノデアリマスガ、開業醫ニ對スル統制、是
等ノ點ニ付テ如何ナル御考ヲ御持チニナッ
テ居ルカト云フコトニ付テ、私ハ大局的ナ
御答辯ヲ願ヒタイト考ヘルノデアリマス
○挾間政府委員 只今ノ御質疑色々ノ點ニ
觸レテ居リマス、漏レテ居ル所ガアリマシ
タラ更ニ補足致シマシテ御答ヲ申上ゲマ
ス、第一ノ醫師ノ「サラリーマン」化ト云フ

點デゴザイマス、是ハ從來個人ノ開業醫デ
アッタ者ガ、漸次大キイ組織ノ下ニ診療所ガ
出來マス、ソレニ一定數ノ醫師ガ勤務スル
ト云フコトニナリマスノハ、コレハ集團
生活ヲ致シテ居リマス地方ニ於キマシテ
ハ、自然サウ云フ組織ノ診療所ガ出來
マスコトガ能率ノ上カラ見マシテモ、又
經濟上ノ方面カラ見マシテモ、ヨリ效果
デアリマスノデ、所謂綜合診療ト申シマス
カ、綜合的ノ醫療組織ト申シマスカ、ソレ
ガ經濟上乃至能率ノ上カラ申シマシテ效果
的デアルノデ、サウ云フ風ニナッテ來ル、サ
ウスルト其經營者ト醫師自身トガ、別個ノ
人格ニ依ッテ管理サレルト云フコトハ、是
ハ今日ノ一般ノ社會組織ノ大勢デアルト思
フノデアリマス、唯サウ云フ所ニ勤メマス
醫師ノ共濟組織ト云フヤウナコトハ、是ハ
醫師ノミニ特有ナ問題デハナイノデアリマ
シテ、無論醫師ノ共同組織デアル所ノ醫師
會等ニ於テ、十分考慮スル必要ガアルト思
ヒマス、又衛生當局ト致シマシテモ、左様
ナ點ハサウ云フ方ニ誘導誘掖スル必要ガア
ルト思ヒマスガ、是ハ一般的ノ醫師ニ關ス
ル問題デ、一般的ノ問題トシテ考慮スベキ
モノデヤナイカト思ッテ居リマス、更ニ醫師
ノ供給過剩ノコトニ付テノ御尋デゴザイマ

ス、此點ハ數千人ノ醫學士ガ毎年出テ參リ
マス、ソレニ對シテドウ云フ風ニ考ヘテ居
ルカト云フコトデゴザイマシタ、此點ハ吾
君ト致シマシテモ、文部當局ト十分連絡ヲ
取ッテ居ル所デアリマスガ、唯將來只今御話
ノ保健所等ガ出來マス趨勢ニナリマシタノ
デ、今日衛生當局ノ態度トシマシテハ、治
療醫學——治療ノ方面ト指導衛生ノ方面、
此兩者ニ醫學ヲ修メタ者ガ進出スルト云フ
コトガ、今日ノ社會ニ於テ最モ必要デア
ル、從來我國ノ衛生行政ガ、動モスレバ指
導衛生ニ餘リ力ヲ入レナカッタ云フ此缺
陷ヲ補充スル爲ニ、醫師ガ相當數指導衛生
ノ方ニ進出スルヤウニ導キタイト思ッテ居
リマス、「ロックフェラー」財團カラ寄附ヲ
受ケマシタ公衆衛生院ガ昭和十三年度ヨリ
活動ヲ開始致シマス、是ハ専ラ社會衛生ト
申シマスカ、豫防指導ノ衛生方面ニ於テノ
教育機關ナル譯デアリマシテ、此處ニ於
テ醫師ノ補助教育ヲ致シマシテ、之ヲ全國
ニ向ッテ指導衛生ノ技術者トシテ配置シテ、
保健所等ノ活動ト相俟ッテ體位向上ノ方面
ニ活動サセタイ、是ハ將來ニ於キマス一ツ
ノ衛生行政ノ大キナ方向トシテ、茲ニ申上
ゲテ置キタイト思フノデアリマス

○三宅委員 只今ノ御答辯ヲ承リマシテ、
尙ホ一ツ其點ニ付テ承ッテ置キタイト思フ
ノデアリマスガ、開業醫制度ノ長所トシテ
主張サレテ居リマスル點ハ、家族的デア
ルカ、患者ト密著スルトカ、サウ云フ點ガ開
業醫制度ノ長所デアルト考ヘラレテ居ル、
是ハドウシタッテ慾ト隣合セデアリマスカ
ラシテ、開業醫制度ナラバ、夜中ニ行ッテモ
往診料ガ出マスレバ夜中ニモ出ラレルト云
フコトニナリマシテ、其長所ノアルコトハ
吾々ハ之ヲ認メマスガ、營利的開業醫師ノ
下ニ雇ハレテ居ル六千人ノ所謂俸給醫師ト
云フモノニ付キマシテハ、是ハモウ斯ウナ
テ來ルト、所謂營利病院ニ雇ハレテ居ル「サ
ラリーマン」トシテノ醫師ト云フモノハ、
開業醫制度ノ長所ナドト云フモノヲ發揮出
來ハシナイト思フノデアリマス、是ハ最モ
惡イ資本主義的ナ醫療ノ惡質ヲ暴露スルコ
トニナル、醫師ガ俸給生活者ニ段々トナリ
マスレバ、非營利ノ機關ニ於テ、立派ナ機
關ノアル所ニ於テ、非營利ノ立場ニ於テ、
良心ノ命ズル所ニ依ッテ診療ニ應ズルコ
トガ最モ肝腎ノコトデアッテ、營利ノ觀念
ニ立ッタ營利病院ニ於テ、而モ執達吏ニ
脅カサレテ居ル開業醫ノオ醫師サンガヤ
テ居ラレマシテ、ソレハ御年寄デアッテ、其
處ヘ雇ハレテ月給ヲ貰ッテ、サウシテ病院

ノ收入ガ殖エテモ、別ニ其人ノ收入ハ殖エ
ナイト云フヤウナ資本主義ノ下ニ於テ、而
モ最モ惡イ所シカ殘ラナイ所ノ醫師ノ「サ
ラリーマン」化ト云フ現象ガ、段々ト多ク
ナリツ、アルト云フコトニ付テハ、私ハ我
國ニ於ケル醫師ノ生活、竝ニ保健衛生ノ大
局ニ立ッテ、醫師ガ保健衛生ノ治療及ビ指導
トシテ非常ニ重要デアルト云フ見地ニ立テ
バ立ツ程、今日ノ開業醫制度ニ付テ、私ハ
深刻ナル再檢討ヲ遂ゲラレナケレバイカ
ス
ト思ヒマス、モウ醫師會ノ勢力ニ抑サレテ
御追從バカリシテ御機嫌ヲ取ラレルヤウナ
コトヲヤラル、コトハ、私ハ非常ニ遺憾ニ
思フ、社會局長官ノ御答辯ナドヲ聽イテ見
マシテモ、衛生局長モサウデアリマスガ、
内務大臣ノ御答辯ヲ聽イテモサウデアリマ
ス、摩擦ヲ避ケラレルト云フ御苦心カラデ
アリマセウケレドモ、極メテ其開業醫制度
ニ對シマシテ追從輕薄ヲヤルヤウナ御答辯
バカリサレテ居ル、私ハ良イ所ハ認メル、
效果ハ效果トシテ認メナケレバナラヌ、況
ヤ醫師ノ生活ガ立タヌヤウニスルコトハイ
カスノデアリマスカラ、ソレ等ノ點ニ付テ
考慮スルコトニ於テハ人後ニ落チナイノデ
アリマスガ、惡イ點ハ惡イ點トシテ制度ノ
改革ヲ考ヘラレナケレバ、庶政一新ハ出來

ハシナイ、庶政一新ト云フモノハ、都合ノ惡
イ所ガアツテモ、摩擦ガアツテモ押通スコト
デアルカラ、サウ云フ點ニ付テ、私ハ毅然
タル態度ヲ以テヤツテ戴キタイと思フノデ
アリマス、此點即チ醫師ノ「サラリーマン」
化ノ大勢ニ於テ、而モ所謂自由營利主義ノ
開業醫制度ノ下ニ於テ、醫師ガ「サラリー
マン」化スルト云フコトハ、是ハ醫療ノ上
ニ於テ最モ危險ナリト考ヘルガ、之ニ對シ
テ衛生局長ハドウ云フヤウニ御考ニナルカ
ト云フコトヲモウ一遍承リタイ

○**挾間政府委員** 開業醫制度ノ長所、短所
等ニ付キマシテ御述ニナリマシタ所モ其通
リデアルト思ヒマス、無論開業醫本人ガ治
療ニ從事シマス場合ニ於キマシテハ、最モ
其長所ヲ發揮サレルト思ヒマス、併ナガラ
其處ニ雇ハレテ居ル、其處ニ勤務シテ居ル
醫師ニ付キマシテモ、ヤハリ其精神ハ私ハ

一ツノ延長トシテ存在シテ居ルモノデア
ルト思ヒマス、是ハ決シテ私ガ現在ノ組織ト
云フモノガ、絶對不可侵ノモノデアルト云
フヤウナ考ヲ以テ言フノデハナイノデア
リマスガ、サウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、併
ナガラ未來永劫ニ此制度ハ一指モ觸レルベ
カラザルモノデアルト云フヤウナコトハ考
ヘテ居ナイノデアリマス、正スベキ所ガア

リマスレバ、ソレハ十分將來是正致シマシ
テ、ソレニ依テ國民利福ヲ増進スルヤウ
ニ致サナケレバナラヌと思フテ居リマス、唯
我國古來ノ制度ニ付キマシテハ、度々申上
ゲマスヤウニ、國民性ニ相當適合シテ居ル
分子ガ多イノデアリマシテ、之ヲ根幹トシ
テソレヲ是正匡正シテ、足りナイ所ハ他ノ
制度デ補足スルト云フコトニ依ッテ進ムノ
ガ、適當デハナイカト思ッテ居リマス

○**三善委員長代理** 三宅君ノ質疑ハ留保サ
レルコトニ致シマシテ、午前ハ色々都合
ガアリマスノデ、是デ議事ヲ止メマシテ休
憩致シマス、午後ハ一時カラ開會致シマス
午前十一時二十五分休憩

午後一時五十八分開議

○**青木委員長代理** 開會致シマス——三宅
君

○**三宅委員** 午前中御都合ニ依リマシテ、
私ホンノ質問ノ始マリマシタバカリデ區
切ッタノデアリマスガ、午前中私ガ主トシ
テ衛生局長ニ質問致シマシタ點ハ、醫師ノ
非常ナル偏在ノ點、竝ニ醫師ノ「サラリーマ
ン」化ノ大勢ニ對シマシテ御質問ヲシタノ
デアリマス、之ニ對シマシテ衛生局長ノ、其
原因トシテ指摘サレマシタ點ニ付キマシテ、

私共ハ殆ドヤハリ末節ニ互ッテ居ッテ、肯綮
ヲ衝イテ居ラスト考ヘルノデアリマス、私
ハ徒ラニ本日議論ヲスルノデハアリマセヌ
ノデ、極ク簡單ニ私ノ考ヘル所ヲ申述ベマ
シテ、此點ニ付テ内務當局ハサウ云フ風ニ
御考ヘニナルカドウカ、ヤハリ確ッカリシ
タ原因ヲ把握サレナケレバ、確ッカリシタ
對策ハ立タヌノデアリマスカラ、此點ヲ伺
ヒタイと思フノデアリマス、私ノ考ヘマス
所ニ依レバ、斯ノ如ク醫者ノ激増ニ依ッテ、
而モ農村ニ於テハ四千數百人ノ激減、都市
ニ於テハ一萬四千五百人ノ激増、サウシテ
醫師ノ「サラリーマン」化ノ大勢ト云フコト
ハ、二ツノ原因カラ來ル、第一ハ開業醫制度
ソレ自體ノ持ッテ居ル矛盾カラ發生シテ來
ル、第二ハ醫療技術ノ變遷カラ來ルト、私
ハ考ヘルノデアリマス、御承知ノ通り開業
醫制度ト云フモノハ、此點ニ付テモ私ハ遺
憾ニ感じタノデアリマスガ、衛生局長ノ御
話ニ依レバ、日本古來ノ制度ノヤウナコト
ヲ言ッテ居ラレマスケレドモ、徳川幕府ノ
末期カラ町人ノ發生ト共ニ發生ヲ致シマシ
タ資本主義ニ隨伴スル所ノ醫療制度デア
ル、而シテ營利的ナ醫療制度デアリ、更ニ
無統制的ナ醫療制度デアル、隨テ醫者個人
ガ自分ノ生活ノ責任ヲ負ハナケレバナリ

マセスカラシテ、醫療費ノ負擔ノ及バザル
階級ニハ、恩恵ヲ及ボスコトノ出來ナイ制
度デアル、ダカラシテ如何ニ必要ガアリマ
シテモ、食ヘナイ所デハ開業シナイト云フ
コトガ、醫師ガ都市ニ集ッテ來マシタ大キ
ナ原因デアル、都市ニ於キマシテモ貧乏ナ者
ヲ診テヤルコトノ出來ナイト云フ點ハ、開
業醫制度ニ內在致シマス制度ノ矛盾ナノデ
アルカラシテ、已ムヲ得ナイ制度デアル、
更ニ之ヲ本質的ニ突進メマスルナラバ、病
人ガ殖エナケレバ儲カラナイト云フ制度
デアル、本人ハ主觀的ニハ是非常ナ仁術
ナリト考ヘテ居ラレマスルシ、生活ニ非常
ナ餘裕ガアリマシタ時分ニ於キマシテハ、
只デ診テヤラレマシタ部分モアリマスケレ
ドモ、何ト言ッテ其本質ニ於テ病人ガ出
來ナケレバ儲カラナイ、「インフルエンザ」
デモウント流行レバ倉ガ建ツト云フ制度デ
アル、本質ニ於テ非人道的ナ制度デア
ル、無統制的ナ制度デアル、隨テ其本質カラ行
キマシテ豫防醫學ニ進出シ得ナイ、豫防醫
學ニ進出致シマシテ病人ガ無カッタナラバ
困ル、私ハ醫療制度ノ一番良イト云フ點ハ
何ト申シマシテモ病人ガ減ッテ、醫者ノ收入
ガ殖エルト云フコトニナラナケレバ私ハ噓
ダト思フ、此點ニ付キマシテハ後カラ申上ゲ

マスケレドモ、斯ノ如キ色々ノ缺點ガ資本主義ニ於ケル富ノ都市ニ對スル集中、色々ノ點ト相關聯致シマシテ、斯ノ如キ醫師ノ分布ノ不公平ヲ來シテ、而モソレガ都市ニ於ケル醫師ノヤハリ營業難トナッテ現レテ來タ、斯ウ云フ點ヲ私ハ考ヘルノデアル、隨テ此間モ申シマシタケレドモ、開業醫制度ト云フモノハ投機的制度デアル、流行リサヘスレバ非常ニ儲カルケレドモ、流行ルカ流行ラヌカト云フコトハ全ク投機デアル、隨テ基礎ヲ持ッテ居ラレマス所ノ、地盤ヲ持ッテ居ラレマス古カラノ御醫者サンハ、相當ニ立ッテ行ケルケレドモ、新シイ醫者ハモウ立ッテ行ケナイ制度デアル、是ガ私ハ其醫者ノ非常ナル都市集中ト、サウシテ社會的竝ニ地域のナル醫療ノ偏在ヲ來シタ所ノ大キナル原因デアッテ、開業醫制度ソレ自體ニ依據サレマシテ、決シテ醫療ノ分布ノ公平ト云フコトハ出來ナイノミナラズ、一ツノ網ノ目ノ如ク統制のナ醫療行政ヲオヤリニナッテ、國民體位ノ改善ヲ御圖リニナルト云フヤウナコトハ是ハ出來ナイ、其古イ考ヲ棄テラレマシテ、或ル政治的勢力トノ摩擦ハアッテモ何デモ、ヤハリ醫者自體ノ大局ノ上ニ立チマシテ、醫療制度ヲ統制のナ醫療制度ニ轉換サレヌト駄目デアル、非營利的ナ統

制的醫療制度ニ轉換サレナケレバ出來ナイト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、此點ニ付テ簡單デゴザイマスガ、ソレヲ承認サレルカサレナイカ、一寸御尋ヲ致シマス

○**挾間政府委員** 御述ニナリマシタ諸點ニ付キマシテハ、一々御同感デアリマストハ申シ兼ネル點モアルノデアリマス、意見ニ互ル點ハ避ケタイト思ヒマスガ、經濟上ノ問題ガ開業醫ヲシテ都市ニ集中セシメル原因トナッテ居ルト云フコトハ、一ツノ理由デアラウト思ヒマス、併ナガラ其外ニモ――私此前申述ベタノハ單ニ一例ヲ申上ゲタノデアリマスガ、或ハ交通機關ガ整備シテ參リマシテ、其結果必シモ村落ニ居ナクテモ宜イト云フヤウナコトガ、都市ニ集中スル原因ノ一ツニナッタコト、モ思ヒマスシ、又綜合診療ヲ致シマスコトガ、自分ノ技術の才能ヲ立テマス上ニ於テ便宜デアルト云フコトガ、都市ニ集中スル原因ニナッタコトモアルダラウト思ヒマス、尙ホ醫師トシテ研究スベキ各種ノ對象ガ、都市ニハ非常ニ多イノデアリマス、其結果研究ノ便宜ヲ得ル爲ニ、都市ニ醫師ガ集中スルト云フコトモ考ヘ得ルノデアリマス、其外經濟上ノ問題ト云フヤウナコトガ考慮セラレルノデアリマス、併ナガラ開業醫全體ヲ豫防

醫學ノ方ニ進出セシメルト云フコトハ、是ハ可ナリ困難ナ問題デアルト思ヒマス、無論豫防醫學ノ方面ニ協力ヲ求メルコトガ必要デアルト思フノデアリマスガ、此豫防醫學、即チ指導衛生ノ方面ニハ、國家又ハ公共團體ノ設備ヲ以テ合理的ニ進メルト思ヒマスルノデ、此委員會ニ付議サレテ居リマス保險料等ヲ通シテヤルコトガ適切デハナイカ、ソレニハ無論醫師會、開業醫等ニ協力ヲ求メルト云フコトガ必要デアルト思フノデアリマス、御述ベニ相成リマシタ點ニ付キマシテハ、同感ナ點モゴザイマスガ、俄カニ贊成シ難イ點モアリマスノデ、併セテ考ヘテ居ル所ヲ申上ゲルノデアリマス

○**三宅委員** 時間ガゴザイマセヌカラ私ハ議論ヲ致シマセヌ、開業醫制度ノ結果ト共ニ、第二ニハヤハリ私ハ交通機關其他ノ點モアリマスルガ、ソレヲ含メマシタル醫療技術ノ、ヤハリ變遷ノ結果デアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、醫療技術ガドウシテ變遷シタカト申上ゲマスルト、昔ハ檢溫器ト聽診器サヘアリマスレバ醫者ハ開業出來タ、然ルニ最近ニ於キマシテハ「レントゲン」ヲ要シ、又其他ノ機械ヲ非常ニ澤山要シマスル爲ニ、病院ガ而モ専門化シタ、専門化シタガ爲ニ、耳鼻科ガ耳鼻科ダケ開業シ

テ居タンデハ、完全ナ治療技術ヲ發揮スルコトハ出來ナイカラ、ソレデ各科ヲ綜合シナケレバイケナイ、専門化シタ技術ヲ綜合化シテ、而モ莫大ナル資本ヲ要スル、是ガ即チ今日ノ私ハ個人開業醫カラ株式會社ノ病院トナリツ、アル所ノ原因ダト思フノデアリマシテ、斯ウ云フ點ニ於テ、農村ニ於キマシテハ個人一人デ以テ各科ヲヤッテ居タンデハ、現在ノ醫療技術ガ満足スルヤウナ診療ガ出來ナイト云フ點、是等ノ點ガ都市ニ綜合病院ヲ發生サセ、而シテ其處ヘ醫者ガ吸收サレテ「サラリーマン」トナリ、更ニ綜合病院ノ門戸ヲ開イテ見タケレドモ、今日デハ何人ノ人口ガアッテ、何人ノ醫者ガアッテ、是ダケノ必要ガアルカラヤルト云フ計畫のナ醫療制度デナイカラシテ、流行ルカ流行ラヌカト云フコトハ、全ク博奕ヲスルト云フコト、同ジコトデアル、隨テ開業醫ノ中ニ於テ、相當ナル設備ヲ持ッテ各科ノ診療ニ應ゼラレテ居ル所ガ澤山アリ、一方ニ於キマシテハ路頭ニ迷ッテ、殆ド顯微鏡一ツモ持タズニ開業シテ居ルト云フ人モアル、ドッチニ致シマシテモ、モウ私共ハ今日ノ段階ニ至リマシテハ、醫療技術ノ轉化、技術ノ變遷、竝ニ其資本的の制度ノ弊害カラ來マシタ所ノ大衆ノ貧困化、及ビ

開業醫制度ノ持ッテ居ル無統制、斯ノ如キ色々ノ點ヲ考慮致シマシテ、今日以後ニ於キマシテハ、我國ノ開業醫制度ヲ中心トシテオヤリニナルノデハイケナイ、隨テ今回ノ國民健康保險法ニ於キマシテモ、是ダケニ依據スルト云フ立場ニ於テ、之ヲ通ス爲ニ社會局等ノ相等遠慮サレタル御答辯ヲ爲サルコトニ付テ、其御苦心ヲ諒ト致シマスケレドモ、其信念ニ於テハ開業醫制度ダケデ行ッタンデハ、日本ノ醫療ナドハ解決スルコトハ出來ナイト云フ其一點ニ於テ、深ク確信ヲ以テオヤリニナラナケレバ駄目デアルト云フコトヲ、私ハ感ズルノデアリマス、ソコデ内務大臣ハ何時マデ居ラレカ分リマセヌノデ、此機會ニ醫師ノ「サラリーマン」化ト同時ニ、私ハ内務大臣ニ御伺シテ置キタイ點ガアルノデアリマスガ、醫師ガ非常ニ「サラリーマン」化シタト云フ點ノ外ニ、現代ノ一般「サラリーマン」ノ生活ガ、非常ニ今日困窮シテ居ル、聽ク所ニ依レバ「サラリーマン」健康保險ト申シマスガ、職員健康保險案ヲ既ニ準備シテ、本議會ニ御提出ノ豫定ダッタサウデアリマスガ、國民健康保險法案ト一緒ニ出シテハ萬一競合致シマシテ、サウシテ却テ旨ク通ラナクテハ惡イト云フヤウナ御苦心ノ點カラ、今議會ニ

職員保險ハ御提出ヲ見合セタト云フ風ニ、私共ハ承知シテ居ルノデアリマス、言フ迄モナク「サラリーマン」ノ窮乏ハヒドイノデアリマシテ、而モ勞働者ハ何ト申シマシテモ勞働組合ヲ作ル一ツノ力ヲ持ッテ居リ、サウシテ農民ハ農民デ產業組合等一ツノ自ラヲ守ル堡壘ヲ持ッテ居リマスケレドモ、悲シイ哉「サラリーマン」ニハサウ云フヤウナコトハ一ツモナクテ、實ハ今日「サラリーマン」ノ生活位不安定ナモノハナイ、サウ云フ關係ニ於キマシテ、私共ハ「サラリーマン」健康保險法案ト云フモノハ、「サラリーマン」ノ生活安定ノ上ニ於テ、是ハ根本的ナ對策デアルトモ考ヘナイケレドモ、併シ「サラリーマン」大衆ノ生活安定ノ上ニ於テ、此法案ヲ急速ニ實現サレマスコトハ、私共非常ニ切望シテ居ル所ナノデゴザイマス、其點ニ付テ政府ハ來議會ニ必ズ御提出ニナル意思ガアルカドウカ、此點ハ特ニ内務大臣カラ責任アル御答辯ヲ願ヒタイ、而モ今度ノ國民健康保險法案ガ、萬一其立前カラ行キマシテモ改惡サレテ、骨抜きニナルト云フヤウナコトニナリマスレバ、私共ハ「サラリーマン」健康保險法ニ付キマシテモ、影響ノ惡イコトヲ考慮致シマシテ、非常ニ憂慮シテ居ルノデアリマス、此點ニ付キマシテ本法

案ノ通過ニ付テモ、ヤハリ政府ハ相當ナル決意ヲ以テ戴キタイト考ヘルノデアリマスガ、ソレハ別トシテ兎モ角職員ノ「サラリーマン」健康保險法案ヲ、御提出ニナル意思ガアルカドウカト云フコトヲ、此際承ッテ置キタイと思ヒマス

○河原田國務大臣 「サラリーマン」ノ保險ニ付キマシテ、只今三宅サンカラ御述べニナリマシタコトニ付キマシテハ、洵ニ御同感ニ思フノデアリマス、就キマシテハ此國民健康保險法案ガ成立シタ曉ニハ、續イテ「サラリーマン」ノ健康保險組合ノ制度ニ付キマシテ早速研究ヲ進メマシテ、出來得ルナラバ次ノ議會アタリニ提出致シタイと思ヒマス、唯此處デ必ズト云フコトヲ申上ゲマスマデニ至ッテ居リマセヌガ、出來ルダケサウ云フ御希望ヲ達スルヤウニ致シタイと思ッテ居リマス

○三宅委員 私共ノ承知シテ居ル所デハ、モウ大體ニ於テ基礎的ノ調査トカ色々ナコトニ付テハ、成案ヲ持ッテ居ラレヤウニ拜承シテ居ルノデアリマスガ、持ッテ居ラレマスナラバ、斯ウ云フ適切ナルモノハ急イデ出シテ戴キタイと思ヒマス、無論今議會ニ出ルコトヲ私共ハ待チ望ンダノデアリマスガ、次ノ議會ニハ必ズ出シテ戴キタイ、勿

論必ズト云フコトニ付キマシテハ、大臣ニ於キマシテモ申サレナイデアリマセウケレドモ、必ズト言ハレナクとも、自分ガ居ル限リドウシテモ出スト云フヤウナ點ニ付テ、大抵熱意ヲ見レバ分リマスカラ、其點ニ付テモウ一應御答ヲ願ヒタイノデアリマス

○河原田國務大臣 實ハ私ハ任ヲ受ケマシタノハ二月早々デアリマシテ、既ニ前内閣ニ於テ計畫セラレタル諸種ノ事業自體ニ付テモ、中々多岐多端デアッテ、實ハ私今ノ「サラリーマン」ノ健康保險制度ニ付テモ、調査其他ニ付テ十分承知シテ居ラナイノデス、隨テ內容調査等ニ付テ眼モ通シテ居リマセヌノデ、其邊ノ經緯ハドウナッテ居リマスガ、私ハ實ハ餘リ能ク承知シテ居ラヌ位デアリマスガ、唯事柄自體ニ付テハ洵ニ御尤モト存ジ、私共モ其必要ヲ痛感致スノデアリマス、出來ルダケ一ツ奮發ヲ致シマシテ、御希望ニ副ヘルヤウニ勉強ヲ致シタイと思ッテ居リマス

○三宅委員 私ハ本會議デモ申上ゲタノデアリマスケレドモ、日本ノ國ニ於キマシテモウ二十年位前ニ、斯ノ如キ制度ガ全體ニ互ッテ出來テ居リマシタナラバ、私ハ日本ノ國民ノ體位ニ致シマシテモ、生活ニ致シマシテモ、ウント違ッテ居ルト思フノデアリマ

シテ、日本ニ於テ政治的ノ「テロリズム」ナ
ドヲ出シマス大キナ原因ト云フモノハ、ヤ
ハリ社會政策ノ缺陥ト云フ點ニアルコトハ、
内務大臣モ十分ニ知ッテ居ラレル所デアリ
マシテ、私共ガ河原田内務大臣ニ期待致シ
マスノハ、協調會等ニ居ラレマシテ、勞働
者ノ實情等ニ付テモ能ク御承知ニナッテ居
ル、社會政策ニ付テノ權威デアルト云フ點
ニ於テ、私共ハ非常ニ期待ヲシテ居ルノデ
アリマスカラ、必ズ御提出ヲ願ヒタイト云
フコトヲ希望シテ置キマス

ソレカラ次ニ先刻ノ醫療制度ノ問題ニ關
シマスル質疑ノ繼續ト致シマシテ、斯ノ如
キ所謂醫療ノ偏在ト云フ點ニ付キマシテハ、
醫療技術ノ變遷ノ結果デアルト云フコトヲ
考慮シナケレバイケナイト云フ立前カラ致
シマシテ、今日マデノ政府ノ無醫村對策ト
云フモノハ、其點ニ付テハ私ハ非常ナ失敗
ヲシテ居ラレルト考ヘルデアリマス、大
體ニ於テ今日以後ノ無醫村對策ハ別トシマ
シテ、今日マデノ政府ノ無醫村對策ト云フ
モノハ、三菱ガ診療所ノ建設費ノ一部ヲ寄
附サレマシテ、サウシテ醫者ヲ配置サレル
ノガヤリ方デアッタ、所ガ先刻モ申シマシタ
通り、ドウシテモソレデハ醫者ガ洛付カナ
イ、現ニ診療所ガ出來マシテモ逃ゲテ來タ

醫者ガ澤山アル、是ハ技術家デアアル醫學士
ノ良イ所デアアルト考ヘルデアリマス、自
己ノ良心ニ満足シナイ診療所ニ行ケナイト
云フノハ當然デアリマス、給料ヲ餘計出シ
テモ行カナイ、今日内科、外科、産科、婦
人科等各分科ヲ置キ、「レントゲン」其他ノ
機械ヲ持タナケレバ、最高ノ醫術ハ行ヒ得
ナイト云フコトニナリマスレバ、村ニオ醫
者ヲ配置シタト云フコトダケデ以テ、無醫
村對策終レリト考ヘルコトハ、農民ニ對シ
テ侮辱ナリト考ヘル、現代ニ於ケル最高技
術ヲ、農村ニ對シテヤルト云フコトガ當然
デアリマシテ、單ニ三井、三菱其他ノ寄附金
ニブラ下ッテ、村ニ診療所ヲ存置シタダケデ
ハ、醫者ガ逃ガ歸ッテ來ルト云フコトハ當
然デアリマス、此點ニ付キマシテ醫療技術
ノ變化ヲ考慮ニ入レテ、「メデカル・セン
ター」ト云フモノガアッテ、綜合病院ガ中心
ニナッテ、ソレトノ連絡ノ下ニヤラナケレ
バ、唯一人ノ醫者ヲ配置スルト云フ行キ方
デアリマシテハ、良心的診療ガ出來ナイカ
ラ誰モ山ノ中ニ行ク譯ハナイ

ソレカラ第二ハ、私ハ醫藥國營ノ問題ニ
モ關係致シマスケレドモ、醫療組織ト云フ
モノハ、官僚的ナ醫療組織ハ本當デナイ、
民衆ト「タイアップ」シタル所ノ、民衆ノ創意

ト「タイアップ」シタル所ノ醫療制度デナケレ
バイカスト思フノデアリマシテ、斯ウ云フ
點ニ付テ、醫者ガ官吏トナッテ農村ニ入りマ
シテ、サウシテ見下スヤウナ態度ヲ執ルト
云フコトデアッテハ仕樣ガナイノデアリマ
スカラ、此點ハ開業醫制度ノ良イ點ト、サ
ウシテ公ノ醫療制度ノ良イ點ト、ソレト現
代ニ於ケル高度化シタ醫療ノ技術ノ良イ點
トヲ統合致シマシテ、辨證法的ノ統一ヲ致
シマシタ、サウ云フヤリ方デナケレバイケ
ナイト考ヘルノデアリマス、今日マデノ無
醫村對策ト云フモノハ、其點ニ於テ失敗シ
テ居ルト考ヘルノデアリマス、其點ニ付テ

衛生局長ノ御答辯ヲ願ヒマス
○挾間政府委員 最近マデ實施シテ居リマ
シタ無醫村對策トシマシテハ、三菱ノ寄附
ニ依ル診療所ノ開設モゴザイマス、是ハ只
今御述ニナリマシタヤウナコトモ、絶無ト
ハ申シマセスケレドモ、併ナガラ府縣ニ於
テ補助規定等ヲ設ケマシテ、相當ノ成績ヲ
擧ゲテ居ルモノモアルノデアリマス、尙ホ
今回計畫ヲ致シマシタ無醫村對策、即チ國
費補助ニ依リマス公共團體ノ經營ニ依ル、
無醫村ニ醫療機關ヲ普及スルト云フ方針ニ
付キマシテハ、只今マデ醫療機關ノ及ブコ
トガ出來ナカッタ原因ヲ篤ト調べマシテ、此

度計畫致シマシタノガ、最モ醫療機關ヲ普
及スルニ困難ナ地方ニ、診療所ヲ設ケル臨
機ノ手段デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、
是ハ又實例モアルノデアリマス、東北ノ縣
又關西地方ノ縣ニモ、此度計畫致シタト大
體同様ナ方針ヲ立テマシテ、十分成績ヲ擧
ゲテ居ル實例等モ參酌シテ計畫致シマシタ
ノデアリマス、將來ハ之ニ依ッテ十分此無醫
村對策ノ實ヲ擧ゲルコトガ出來ルト思フノ
デアリマス、「メデカル・センター」ノ問
題ニ付キマシテハ、尙ホ十分考究ヲ致シテ
居ル所デアリマス

○三宅委員 尙ホ突キ進ンデ承リタイノデ
アリマスガ、時間ノ關係ガアリマスノデ次
ニ入りマスガ、私共ハ我國ノ開業醫制度ガ
今マデ申述ベマシタヤウナ點ニ於テ、ヤハ
リ色々ナ缺陷ヲ暴露シテ來タノデアッテ、其
是正ト致シマシテ現ハレマシタノガ、公立
ノ診療所デアリマスルトカ、實費診療所ト
カ、色々出來テ來テ居ルノデアリマスガ、
其中ニ於キマシテ最モ發展性アル醫療組織
トシテハ、私ハヤハリ醫療組合ノ運動ダト
思フノデアリマス、是ハ單ニ産業組合法ニ
依ッテノミ醫療組合ガ出來ルノデハナクシ
テ、醫療同盟ノ運動ナドモ、其範疇ニ入ル
ノデアリマスケレドモ、是ナドハ規模モ小

サイシ、財力モ弱イノデアリマスルカラシテ、從來ノヤウナ「メデイカル・センター」トシテノ病院トシテハ、十萬圓位ノ資金ヲ要スルノデアリマスカラ、相當ナ聯合組織ヲ持チマシタ産業組合ニ依ル外ナイト考ヘマスルケレドモ、兎ニ角將來はガ私ハ日本ノ國ノ醫療國營ニ參リマスル基礎體ヲ成ス一ツノ制度デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、即チ開業醫制度ノ弊害デアリマスル點ヲ除去シマシテ、非營利的ナ組織デアルト云フコトガ第一ノ一ツノ強イ點デアル、共同的ナ組合的ナ組織デアルト云フコトガ第二ノ強イ點デアル、而シテ計畫的組織デアノガ第三ノ強イ點デアル、即チ人口ト罹病率ト、ソレ等ノ必要ヲ考慮致シマシテ作ルノデアリマスルカラシテ、計畫的デアルト云フコトガ強イ點デアル、而シテ更ニ強イ點ハ、民衆ガ自發的ニ作りマシタ相互扶助ノ制度デアルト云フコトガ強イ點デアルト思フノデアリマス、醫藥ヲ國營ニ致シマシテ、市町村ニ醫者ヲ配置サレマシテ、公立醫院ニナツテモ巧ク行カヌ、赤十字醫院ノ弊害ヲ見テ居ル吾々トシテハ、ヤハリ民衆ノ協力ト、自治ニ依ル所ノ如キ計畫的醫療制度ガ、將來ノ醫療國營制度ニ於ケル根幹トナル、醫療國營ト云フコトハ天降

リデヤルト云フコトデハナイ、相互扶助ニ依ッテ十分ニ運用スルコトガ、醫療國營制度ノ一番宜イ點デアルト考ヘルノデアリマス、「フアッシュ」的ノモノハ決シテ宜クナイ、デアリマスカラ私ハ此意味ニ於テモ、醫療組合運動ト云フモノハ、一ツノ非常ニ大キナ將來ノ日本ノ醫療制度ヲ喚出ス所ノ運動デアリ、大キナ發見デアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、之ニ付テ數日前カラノ委員會ニ於ケル質問ニ於キマシテ、國民健康保險組合ガ出來レバ、醫療組合ガ要ラヌヤウニナルトカ、色々ノ御答辯ガアリマシタガ、是モ或點ニ於テハ摩擦ヲ防グ意味ニ於テ、御考ニナツテ居ル點モアラウト思ヒマスルケレドモ、私ハサウハ考ヘナイ、サウ云フコトデ自然的ニ行クモノデハナイ、過日ノ本會議デモ申上ガマシタケレドモ、醫師會ガ一度起タレタナラバ、政府ガ御出シニナツテ輿論ガ全部之ヲ支持シテ居ル今回ノ法案ヲ、之ヲ握潰サレ、或ハ改惡サレル形勢ニアル、ソレ程強イ醫師會ノ反對ヲケシ飛バシテ、地方ニ於テ醫療組合ガ相當ノ勢ヲ以テ出來ツ、アルト云フコトハ、已ムニ已マレヌ必然性ガアル、醫師會ノ反對ノ中ニ殉教者ノ如キ心ヲ以テ闘ッテ居ル諸君ガ多イ、ソレヲ一ツ見ナケレバイケナイ、

ノミナラズ醫療組合ガ出來マシタ歴史ヲ調べテ見ルト、茲ニ一ツノ醫療ト云フモノ、本質ト、其必然性ガ見出セルト思フノデアリマス、御承知ノ通り醫療組合ノ運動ト云フモノハ、最初ニ出來マシタノハ二十年、三十年前ニ島根縣ニ於キマシテオ醫者サンガ死ンダ、開業醫ガ死ンダ、後ニ醫者ガ見付カラナイ、仕方ガナイノデ産業組合デ金ヲ出シテ、相當ノ金ヲ拂テオ醫者サンニ來テ貰ヒマシタケレドモ落著カナイ、ドウシテ落著カナイカト言ヘバ、醫療ノ器械モナイ、專門醫ノナイ所デハ、近代のオ醫者サンハ完全ナ治療ガ出來ナイカラ落著カナイ、ソコデ是デハイカヌ、ヤハリ綜合病院ガアツテ、其地方ニ於ケル一流ノ設備ヲ持チ、或ハ「レントゲン」等モ持ッテ、而モ各科ノ權威ヲ網羅シタ中央ニ一ツノ本院ガアツテ、其分院トシテ無醫村ニ醫者ヲ配置サセラルナラバ、村ニ於テ其人ハ專門的醫療ガ出來ル、今日村ノ開業醫ニ掛リマスト云フト、大體ニ於テ自分ノ所デ診タイモノデアリマスカラ、外科ノ患者デアリマシテモ、或ハ產婦人科ニ持ッテ行カナケレバナラヌ患者デアツテモ、一月位自分ノ所ニ置イテ、手遅レニナツテカラ專門醫ノ所ニ行ク、是デハイケナイ、ソレデ先ヅ最初ハ無醫村ニボ

ツボツ出來タ醫療組合ト云フモノガ、今度ハ醫療制度ノ本質カラ云フテ、綜合病院ヲ造ッテ、農村ニ「プランチ」ヲ出スト云フ制度ヲ以テ發達シテ參リ、其地方ニ於テ醫療組合病院ト云フモノハ、一流ノ設備ヲ持ッテ居リ——最高ノ設備ヲ持ッテ居ル赤十字病院ガアル場合ハ、ソレニ劣ルモノガアリマスケレドモ、醫療組合ノ綜合病院ナルモノハ、其地方ニ於テ最高ノ設備ヲ持ッテ居ルノデアリマス、而シテソレガ而モ醫療費ガ非常ニ低廉デアル、診療ガ向上シテ居ル、此點ニ付テ田中養達君ハ青森縣ニ於テ醫療組合ガ出來テ、醫療費ノ下ツタト云フコトハ、醫療内容ノ低下デアルト言ハレタガ、青森ノ東青病院ナドノ例ヲ見マシテモ、是ハ東北帝國大學カラ七八千圓ノ醫者ガ來テ居リマス、其人ハ何等醫療ニ付テ良心的ナ制裁ヲ受ケナイ、醫療ニ關スルコトハ總テ其醫者ニ任セテ居ル、サウシテ何モ配當ヲ當テニシテ居ル譯デハナイ、設備ハ組合ガ金ヲ出シテ造ッテ居ル、ソレモ貧乏人ハ一口五圓デアリマシテ、ソレヲ十箇月位ニ五十錢ヅツ分ケテ納メサセル、金持ハ五十株モ持ッテ居リマシテ、中ニハ四百圓モ出シテ居ルト云フヤウニ、力ニ應ジテ相互扶助ニ依ッテ金ヲ出シテ居ル、配當ナドハ當テニシテナ

イ、ソレガ病院ヲ造テ其處ニ最高ノ設備ヲシテ居ル、或ハ又製藥ニ付テモ病院ガ薬局ヲヤッテ居リマスシ、藥ヲ買込ムニシテモ共同購入等ヲシテ、極メテ原料ヲ安く買フ、斯ノ如ク合理化ヲシテ、診療ニ於テ斷然優レタ診療ヲヤッテ居リ、自動車モ持ッテ居テ、往診ニモ應ズル、又巡回ニモ出ルト云フ譯デアリマス、然ラバソレニ依ッテ開業醫ガ食ヘヌヤウニナツカト言ヘバ、決シテサウデヤナイ、益切磋琢磨シテ、却ッテ良クナッテ居ルト云フ狀況デアル、議會ニ於テハ二年位遅レテ居リマスカラ、或ハ醫療組合ノ方ハ粗診濫療デアルトカ、診療ノ低下デアルトカ云フ議論ガ出ルカモ知レナイガ、吾々ノ見ル所デハ此醫療組合ト云フモノハ非常ニ宜イ、ノミナラズ斯ノ如キ制度デアリマスルガ故ニ、豫防醫學ニドン／＼進出スルニハ、大キナ效果ガアリマス、東京醫療組合ノ如キ母ノ會ト云フモノヲ作ッテ、育兒ノ上ニ於テ前東京市ノ兒童衛生掛長ノ廣瀨博士ガ院長トナッテ、育兒ノ指導ヲシテ居リマス、或ハ輕井澤ニ於テ林間學校ヲヤリ、或ハ千葉縣ノ海岸ニ連レテ行ク、診察料ヲ無料デヤッテ居リマスカラ、早期ニ診斷ガ出來ル、ソレカラ訪問看護婦ナドヲ置キマシテ盛ンニヤッテ居リマス、是ハ農村ナ

ドニ於テモ訪問看護婦ガ色々ナ方面ニ於テ效果ヲ擧ゲテ居ル、從來ニ於テモ例ヘバ訪問看護婦ガ行キマス、育兒ニ付テモ母乳ノナイ母親ガ、子供ニ「ミルク」ノトモ濃イノヲ飲マセテ居ル、ソレヲ胃腸ヲ惡クスルカラ飲マセテハイケナイト幼兒ノ成長ト乳ノ濃度ヲ訪問看護婦ガ注意シテ教ヘルカラ、直グ又健康ヲ回復スル、或ハ又住宅ノ工合ガ惡クテ、濕ッポイカラ脚氣ノ患者ヲ出ス、ソレヲ訪問看護婦ガ行ッテ調べ見テ、窓ヲ一ツ開ケテヤッタ所ガ脚氣ガ無クナッタ、斯ウ云フヤウニ豫防醫學ニ於ケル進出ト云フモノハ、非常ニ大キナモノガアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ於テ醫療組合運動ト云フモノハ、次ノ時代ヲ背負ッテ立ッテ居ル一ツノ醫療制度デアナイカト思フ、更ニオ醫者サンノ立場ト致シマシテモ、私ハ此產業組合運動ハ、小賣商人ノ生活ナドニ付テハ、其生活ヲ奪ハヌ様、或ル程度ニ於テ政治的考慮ヲシナケレバナラヌ、自省ヲシナケレバナラヌと思フ、所ガ醫療組合ハドウシテモ醫者ヲ雇ハズニハ出來ナイノデアリマス、俸給生活者トシテノ醫者ヲ雇フカ、然ラズンバ個人開業醫ノ力ニ依ラネバナラヌノデアリマス、秋田縣ノ山本醫療組合病院ニ於テ、愛知醫大カ

ラ來マシタ田代博士ハ斯ウ云フコトヲ言ッテ居ル、自分ハ組合病院ニ於ケル勤務ニ付テハ相互扶助組織ニ於ケル同志ト考ヘテ居テ、使用人ト云フ感じハ持タナイ、サウシテ自ラ五十株ヲ持ッテ、五百圓モ出資ヲシテ、農村保健運動ノ同志ノ一人ノ心持デ働イテ居ル、病氣ヲ追拂フト云フ一ツノ社會運動ノ同志トシテ田代博士ハ働イテ居ル、今日ノ醫者ハ大學ヲ出マシテ、學位ヲ取リマシテ、病院ヲ開クト云フコトニナリマスレバ、數萬圓ノ金ガ掛ル、ソレガ償還出來ルカ出來ナイカト云フコトハ全ク疑問デアナル、ダカラ資本ノ奴隸ニナラナケレバナラナイ時ニ、組合ガ最高ノ病院ヲ設置シテ、其地方ノ最モ優レタ病院ニ來テ、自分ハ大學ヲ出テ學位ヲ取ッタバカリデアアルガ、三百圓、三百五十圓ノ月給ヲ取ッテ食フコトニ心配ガナイ、食フコトニ困ラナイデ立派ナル設備ヲシテ貰ッテ、醫療ノ天職ニ協力專念ガ出來ルナラ、是位良イ制度ハナイト、オ醫者サンガ言ッテ居ラレルノデアリマス、ダカラ私共ハ、今日ハ醫療組合ガ色々ナ迫害ヲ被リマシテ、缺點ガナイトハ申上ゲマセヌケレドモ、其持ッテ居ル精神ニ於テ、其組織ニ於テ、是コソハ將來ニ於ケル日本ノ國ノ醫療國營ノ本體ニナル制度デアルト、私ハ

考ヘルノデアリマシテ、私ハ此點ニ付テ國民健康保險ガ出來タラ、醫療組合ガ要ラヌヤウニナルトカ、一部ノ摩擦ヲ惧レテノ御議論ト云フモノニ付キマシテハ、私ハ此際御訂正ヲ願ヒタイと思フ、庶政一新ヲヤッテ行カレル立場ヨリ、サウ云フ點ニ付テハ斷乎タル態度ヲ執ラレテ、良イモノハ獎勵シテ、惡イコトハ直シテ良イ方向ニ向ハセルト云フコトデナケレバナラヌと思フ、ノミナラズ開業醫ノ立場カラ考ヘマシテモ、私ハ將來開業醫制度ト云フモノハ、是カラ先開業醫ヲ殖ヤシタノデハ却テイカヌノデアルカラ、俸給生活者ノ立前ニシテ、俸給生活者トシテ後ガ旨クヤッテ行ケルヤウニ考ヘサセルト同時ニ、更ニ開業醫ハ個人的ノ顧問醫トシテ、家庭顧問醫トシテ開業醫ガ殘ラレルト云フコトデ、段々ト日本ノ醫療行政ガ、此二本立デ行クコトガ必要デアル、私共ガ第九條ヲ頑張ルノハ、モット廣イ意味デヤリナサイト言ッテ居ルノデアリマス、内務省ガ言ハレルノモ、此醫療制度ト云フ立場デ行カナケレバナラヌ、何モ開業醫ノ生活ヲ脅カスノデナクシテ、アルモノハアルモノトシテ急激ニ脅カサナイケレドモ、併シ變ルモノハ變ルモノトシテ、變ッテ行カナケレバナラヌト云フ精神ノ上ニ立ッ

テ、而シテ醫療制度ヲ樂ニシテヤラウト云フ意味ニ於ケル保險制度トシテ、實ハ意義ガアルト思フノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付テハ其精神ヲ失ッデシマッテ、唯藥價支拂組合ダケ作ッテヤッタ宜シイ、ソナコトデ醫療ハ農村ニ普及シナイ、組合ヲ作ッテ所ガ、其醫者ガ官僚的デアッテ、民衆トビッタリシナイト云フコトデハ仕方ガナイ、是ハ衛生局モ、社會局モ、農林省モ相協力シテ、而シテ伸ブベキモノハ伸バシテ行クコトガ必要デアルト考ヘルノデアリマシテ、此醫療制度ノ改革ト云フ點ヲ考慮セズニ、單ニ漫然ト開業醫ニ任セルト云フダケノコトデアリマシテハ、何等ノ意義ヲ持チ得ナイノデアッテ、醫療制度ノ合理化ト、開業醫制度ノ弊害是正ノ上ニ立脚シナケレバナラナイト考ヘルノデアリマシテ、此點ニ付テ一ツ當局ノ御答辯ヲ願ヒタイト考ヘマス

○廣瀨政府委員

色々御意見ヲ承リマシタガ、今回國民健康保險法ヲ制定スルニ當リマシテハ、繰返シテ申上ゲマシテ居ルヤウニ、開業醫ノ制度ヲ基本ト致シマシテ、サウシテ醫療保護ニ關スル政策ヲヤル、サウシテ其趣意トスル所ハ、ヤハリ本法ガ成立ノ曉ニ於キマシテハ、醫療法ニ關シテハ根幹トシテ國民健康保險組合ヲ以テ進ム、併

ナガラ國民健康保險組合ハ、只今ヤハリ御話ニナッテ居ル所ノ相扶共濟ノ精神、サウシテ地方ノ實情ニ基ク自治ノ精神、是等ヲ採リ容レマシテ、サウシテ國民健康保險組合ヲ根幹トシテ進ムト云フ趣旨デアリマス、ソレニ付テハ別ニ今マデ御話申上ゲタノト何等變タ所ハナイノデアリマス、隨テ醫療制度ヲ變ヘヨウト云フコトヲ目的トシテ此案ヲ作ッタノデハナイノデアリマス、其點ハ一ツ御承知置キヲ願ヒマス

○三宅委員

私ハ內務省ガ醫療制度ニ付テ、急激ナル變化ヲ與ヘナイト云フ御用意ヲナサレマシタコトハ、政治的摩擦及ビ、開業醫ニ急激ナル生活上ノ變化ヲ與ヘナイト云フ立前ニ於キマシテ、其御用意ニ付キマシテハ敬意ヲ拂フノデアリマシテ、私共モ其點ハ同感デアリマススケレドモ、唯制度ト致シマシテ、今ノ制度ガ持つテ居ル色々ノ弊害ニ付キマシテ、ヤハリ相當ナル見識ヲ以テ指導サレナケレバイカナイト云フコトニ付キマシテ、私共ハサウ云フ確信ヲ持つテ居ルト云フ點ヲ申上ゲルノデアリマス、尙ホ私共ハ徒ニ刺戟スルコトヲ省キマシテ、質問ヲセヌデ置カウト考ヘマシタケレドモ、例ヘバ昭和九年ニ日本ヲ訪問致シマシタ英吉利ニ於ケル社會問題ニ付テノ相當

ノ權威者デアアル「ミリエル・レスター」ト云フ女子ノ市會議員ガ、保險組合ガ直接經營ヲスル所ノ病院、又ハ診療所ヲ持タナケレバ、被保險者ノ權利ト云フモノハ擁護サレナイ、モウ必ズ諸外國ニ於キマシテモ、開業醫ニ於テ勝手ナコトヲサレテ擁護サレナイト云フコトヲ吳々モ注意シテ歸ッタ、ソレハ日本ニ於ケル勞働者健康保險ニ於テモ、明白ニ現レテ居ル事實デアッテ、私共ハヤハリ醫療組合ノ農村ニ於ケル使命ト云フモノハ、開業醫ト開業醫ノ間ニ點在致シマシテ、サウシテ開業醫ガ經營ノ立前カラ不正ヲヤル時ニハ、醫療組合ニ於テ標準診療ヲヤリマシテ、其程度ナラバ開業醫ノ生活モ立ツト云フコトニ致シマシテ、此醫療ガ民衆搾取ノ機關ニナルトカ、單ナル藥價ノ支拂機關ニナルトカ云フコトデナシニ、農村カラ疾病ニ依ル貧困ヲ除去シヨウト云フ社會保險本來ノ精神ガ、實現出來ルヤウニシナケレバイカヌト私ハ思フノデアリマスガ、此點ニ付キマシテハ時間ヲ取リマスカラ、別ニ御答辯ヲ求メマセヌケレドモ、ソレダケ申上ゲテ置キマス

次ニ私ハ今度ハ勞働者國民健康保險其他結核豫防等ニモ入リマスガ、今回ノ保險諸法案ヲ檢討スルニ付テハ、勞働者健康保險ニ於ケル實例ヲ、私ハ本會議ニ於テモ十分ニ參酌サレタカドウカト云フコトヲ伺ッタノデアリマスガ、ソレヲ參酌シテヤラナケレバ、私共ハ是ハ意義ヲナサヌト考ヘルノデアリマス、第一ハ勞働者ノ健康保險制度ガ出テ居リマシテモ、今ノ勞働諸立法、社會諸立法ヲ以テ致シマシテハ效果ハ舉ッテ居ラス、其尻拭ヒヲヤッテ居ルノガ今日ノ勞働者健康保險ノ實體デアルト、私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、第一ハ我國ニ於キマシテ、例ヘバ幼年工ノ問題デアリマス、我國デハ十二歳デ以テ、工場勞働ニ従事スルコトヲ許シテ居ルノデゴザイマススケレドモ、苟モ専門家ガ考ヘテ見レバ分リマス通り、十二歳カラ十六七歳ト云フモノハ發育盛リ、之ヲ工場勞働等ニ使ヒマスルコトハ、高等科ヲ出タ者ト尋常科ヲ出タ者トハ、徴兵検査ノ體格ガウント違ッテ居ルコトニ依ッテ分リマスルガ如ク、ソレハモウ身體ヲ伸スコトガ一ツノ大キナ勞働デアリマスカラ、別ニ勞働ニソレヲ使フナラバ、營養不良ニナッタリ、虛弱ナ體質トナルコトハ明白デアリマス、私ハ公共の見地ニ於キマシテ、今日斯ノ如キコトヲ社會局等ガ考ヘラレテ居リナガラ、勞働立法トシテ中々成立シナカッタト云フ苦衷ハ察スルノデアルケ

レドモ、其點ニ於テ何處マデモ之ヲヤラナケレバナラス、議會ガ否決スルノハ、議會ガ惡イノデアルカラヤラナケレバйкаスト云フコトニ付キマシテノ前提條件トシテ、所謂幼年工ノ問題ニ付テ御考ニナッテ、十二歳デ以テ勞働工場デ使ヘルト云フコトニ付テ、小クトモ國際勞働會議ガ決メマシタ程度ハ、先ヅ勞働年限ニ付テ制限スルコトが必要デアルト云フ點ヲ御考ヘニナッテ居ルカドウカト云フコトガ第一、之ニ關聯致シマシテ義務教育ヲ尋常六年トセズ、高等科マデオヤリニナルコトガ必要デアルト考ヘマスガ、此點ハ如何デアリマスカ、更ニ工場法ニ於キマシテハ、勞働時間ノ制限ガナイノデアリマス、私ハ後カラ實例ヲ以テ政府ノ御認識ヲ促シタイト考ルノデアリマスルケレドモ、十六七歳、十八九歳ノ若い女子供デアッテモ、例ヘバ本所ニ於キマスル精工舎ト云フ今ノ東京市長ノ親父服部金太郎ノヤッテ居ル會社ノ如キ、朝ノ七時カラ夜ノ九時、十時マデ、ヒドイ時ハ十二時マデ使ッテ、其爲ニ其工場ニ於テハ殆ド其何割ト云フモノガ肺病ニナッテ居ル、ナルノガ當然デアル、吾々ガ一週間徹夜ヲヤレバ參ルコトハ明白デアリマス、極端ナ低賃銀デ、極端ナル長イ勞働時間ヲ使ヒマシタナラバ、

是ハ肺病ニナルノハ當然、然ルニ健康保險デ肺病ニナッタ時ハドノ位診テ呉レルカト云フト百八十日デ、後ハ診テ呉レナイ、是ハ救護法ニ依ッテ國家ノ御厄介ニナル、資本家ガ低賃銀ヲ以テコキ使ヒ、過長ナル勞働時間ヲ以テ國民ヲ病人ニ致シタモノヲ、國家ガ救護法ニ依ッテ其尻ヲ拭ッテヤルト云フヤウナ筈棒ナ話ハナイト私ハ考ヘルノデアリマス、斯ノ如キコトニ付テ、即チ勞働時間ノ問題、幼年工ノ問題、ソレカラ低賃銀ニ關スル問題及ビ工場設備ニ關スル問題デアル、今日ハ傳染病デアルトカ寄生蟲ト云フヤウナ病氣ノ脅威ヨリモ、國民ノ産業生活ニ基因スル産業衛生ニ關スル脅威ト云フモノガ、國民ノ體位ヲ著シク引下ゲテ居ルコトハ明白ト考ヘマス、是等ニ對スル用意ナクシテ、國民健康保險、殊ニ勞働者ノ健康保險ハ決シテ效果ヲ擧ゲ得ナイト考ヘルノデアリマス、此點ニ付キマシテ議會ガ否決スルナラ議會ノ責任デアル、政府ト致シマシテハ公益ヲ護リ、國民ノ體位ヲ維持スル上ニ於テ、斯ノ如キ點ニ付テ一部資本家ノ反對ガアリマシテモ、斷乎トシテ勞働立法、社會立法トシテ、勞働者保護ノ最低賃銀法案、工場法ノ改正ヲ御ヤリニナル意思ガアルカト云フ點ヲ、是ハ内務大臣カラ

承リタイ

○河原田國務大臣 洵ニ傾聽スベキ御話ヲ段々承ッタノデアリマスルガ、御話ノヤウニ日本ノ勞働者ノ勞働時間ノ問題、或ハ幼年工ノ問題ト云フモノハ、是ハ段々解決シナケレバナラス重點ガ非常ニアルヤウニ思ヒマス、併シ又一方ニ於キマシテ、例ヘバ幼年工ノ問題モ、義務教育ノ問題トモ關聯シテ來マス、ソレカラ又例ヘバ勞働ヲ制限シ、或ハ勞働ヲ禁止スレバ、ソレニ伴ッテヤハリソレヲ扶養スルト云フコトモ考ヘナケレバナラス、是ハ單ニ勞働問題バカリデナク、國家ノ全體ノ經濟問題、或ハ産業上ノ問題ト云フヤウナコトヲ、總テ綜合的ニ研究ヲ致サナケレバナラスノデアリマス、是ハ私ガ申ス迄モアリマセヌ、併シ一方ニ於キマシテ將來ノ日本ヲ建設スル上ニ於テ、只今御述ベニナリマシタヤウナ事ハ、非常ニ重要ナ基礎トナルコトデアリマスカラ、私共ハ十分ニ研究ヲ遂ゲテ參リタイト思ヒマス

考ヘマス、第一ニ私ハ斯ウ云フ點ヲ御調べニナッテ居ルカドウカ、申上ゲテ見タイト考ヘマスガ、本所ノ錦糸堀ノ一丁目カラ四丁目ニ菓子屋街ガアリマス、三人カラ五人ヲ使ッテ居ル小工場ガ百八十軒バカリアリマスガ、極端ナ低賃銀ト、仕事場ガ狭クテ不潔デ、勞働時間ガ非常ニ長イ爲ニ、此百八十軒ノ數百入ノ勞働者ガ、全部慢性ノ肺核ト消化器病ニナッテ居ルト云フ事實、是ハ其町全體ガ肺病デアリマス、ソレカラ本所太平町一丁目カラ三丁目ニ掛ケテ、ソレカラ柳原町一帯デ、「ミシシ」掛、「メリヤス」カガリノ内職ヤッテ居ル、是ハ非常ニ其數ガ多い、其邊デ外國デ謂フ所謂「スウェッチング・システム」全クノ搾取制度ガ行ハレテ居ル、極端ナル低賃銀ニ依ッテ纔ニ生キテ居ル程度デアリマスガ、是レ亦慢性ノ肺結核ト消化器病ニ侵サレテ居ル者ガ非常ニ多い、是ハモウ方面委員ナドモ見チャ居ラレヌト言ッテ居ル、之ヲ一ツ私共ハ日本ノ紳士、有力者ノ諸君ニ展覽デモシテ見デ戴キタイ、斯ウ云フ状態ヲ殘シテ置イテ、一體日本ガ文明國ダノ何ダノト口幅ッタイコトガ言ヘルカドウカト云フコトヲ、私共ハ痛憤シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付キマシテ、私ハ吳々モ河原田内務大臣ガ社會

○三宅委員

私ハ具體的ノ實例ニ付キマシテ、資本家ノ低賃銀及ビ長時間ノ勞働虐使ニ依リマス責任ヲ、國家ノ救護施設ニ轉嫁シテ居リマス實例ヲ申上ゲマシテ、斯ウ云フ點ニ付テノ内務大臣ノ御所見ヲ承リタイト

問題ノ專門家トサレマシテ、此點一ツヲ解決サレマシテモ、私ハ大臣ニナラレタ意義ガアルト考ヘル、一ツ頑張、テ戴キタイト思フノデアリマスガ、更ニ私ハモット具體的ナ實例ヲ申上ゲマス、是ハ方面委員等ノ報告書ニ現レテ居ル實例デアリマシテ、私ガ書イタノデハゴザイマセヌ、例ヘバ印刷工ノ例デアリマス、本所ニ於ケル二十九歳ノ柳井孝ト云フ男ノ肺病ニナッタ例デアリマス、右ノ者ハ昭和三年以來品川方面ノ印刷工場ニ就勞シテ居ッタガ、會社ニ保險組合ガナク、健康保險事務ハ官廳管掌デアルト云ツテ、會社ハ直接責任ヲ回避シテ居ッタ、昭和十一年九月以來病臥ノ爲休職トナリ療養中デアッタガ、肺結核ト決定シタル爲會社ヨリ解職サレテ、退職手當金ニテ下谷杉山病院ニ入院加療中ナリシモ、金ニ窮シ、同十月方面委員ヲ通ジテ醫療救護ヲ申請シ來ッタ、方面委員ヨリ雇主小島印刷會社ニ、健康保險ニ關スル救助程度ヲ問合セタルモ、言ヲ左右ニ託シ、上述ノ官廳管掌ヲ口實トシテ、會社トシテハ他ニ醫療、生活扶助ノ從業員福利施設ナキコト判明セル爲、東京市費ニ依ル委託患者トシテ、東京市療養所ニ入所ノ手續ヲ完了セルモ、十箇月後ニアラザレバ入院出來ザル豫定ナルヲ以テ、居宅

醫療救護中ナリト云フノガ一ツノ例デアリマス、ソレカラ第二ノ例ハ是ハ精工舎デアリマス、精工舎女工、丸山フクト云フ十七歳ノ娘デアリマス、是ハ昭和八年小學校修業ト共ニ、直チニ精工舎ノ女工トシテ就役シテ居リマシタガ、先刻申シマシタ通り、非常ナ長イ勞働時間ノ爲ニ、昭和十一年三月初メニ肺結核ト決定シタ、ソコデ精工舎ノ健康保險組合ノ規定ニ依ッテ、同三月二十日ヨリ四月六日迄、江戸川病院ヘ入院シタ、其後費用ノ都合デ、入院費ノ低廉ナル淨風園病院ヘ四月六日ヨリ轉院サセタガ、七月三十一日、健康保險ノ治療有効期間ガ滿了トナッタ故ヲ以テ、方面委員ヲ通ジテ公費ニ依ル醫療救護ヲ申請シ來ッタ、ソレデハ月十七日東京市療養所ヘ入院申請セルモ、十箇月後ニ非ザレバ入院不可能ナルヲ以テ、退職手當ノ金ヲ以テ、方面委員ノ貧困證明ニ依リ、目下下谷杉山病院ニテ輕費受診者トシテ加療中ナリ、之ニ依リ精工舎ハ、幼年女工ノ勞働強化ニ因ル身心疲勞ニ依リ、罹病率甚ダ多キニ拘ラズ、附屬ノ診療所ヲ一ツモ有セザル實情ニ在リ——精工舎ノ如キ大キナ工場デ診療所ノ一ツモナイ、尙ホ同舍ハ軍需工業會社ノ被傭者ニシテ、當然會社ノ負擔トスベキ疾病者ガ、方面委

員ノ手ヲ通ジテ、公費ノ醫療救護ヲ受ケツツアルモノ多數ノ實例ニ富ミ、現行健康保險法ノ資本家ニ依ル非法的適用ト、受給者ノ憐ムベキ狀態ハ言語ニ絶スルモノアリ、健康保險ノ適用範圍擴張ト、其實行程度ノ監督ガ、大工場ニ於ケル勞働者保護ノ爲ニ最モ要請セラル、所以ナリ、右ニ類スル例ハ正確ニハ直チニ明示シ得ザルモ、同工場使用者ノ長期疾病ニ罹ル者ノ八〇%ハ、究極ニ於テ公費ノ醫療救護ヘ轉嫁サレ居ル實情ニ在リ、斯ウ云フコトヲ方面委員ガ報告書ニ書イテ居ルノデアリマス、精工舎ノ如キブレダケノ財閥ガヤツテ居リマス會社ニ於テ、而モ軍需工業デウント儲ケテ居ルニ拘ラズ、續々肺病患者ヲ出シマシテ、而モ百八十日ダケハ健康保險組合デ見テヤルケレドモ、其後ハ結局公費デ以テ、國家ノ費用ニ於テヤラナケレバナラス、東京市ノ費用ニ於テヤラナケレバナラスト云フコトニナリマスルナラバ、私共ハ資本家ノ責任ヲ國家ニ轉嫁シテ、其尻拭ヒヲ勞働者健康保險ガヤツテ居ルダケデアッテ、ドウシテモ最低賃銀法ノ制定デアリマスツカ、工場法ノ改正ニ依リマシテ、是等ノ點ニ付テハ十分ノ御對策ト御考慮ガナケレバ、勞働者健康保險ノ折角ノ制度ガ、何等ノ效用ヲ成サスモノ

デアルト考ヘルノデアリマスガ、此點ニ付テ内務大臣ハ如何ニ御考ニナリマスカ、承リタイト思フノデアリマス

○河原田國務大臣 只今御例示ニナリマシタ事項ニ付キマシテハ、十分調査ヲ致シタイト思ヒマス、大體ノ御趣旨ハハナイト思ヒマス、私共異議ヲ申立テル筋ハナイト思ヒマス、大體ノ御趣旨ハ結構ト思ヒマス、唯之ヲ如何ニ實際ニ合セテ實行シテ行クカト云フコトガ、必要ナ事ニナルノデアリマスガ、私ハ會社モ申上ゲマシタヤウニ、所謂從業者ノ立場ニ於テハ、一階級一個人ノ利害ト云フコトデナク、國家全體、其事業全體ヲ念トシテ行クト共ニ、事業主側ニ於テハ、是ハ事業者ノ私利私慾ノ爲デハナイ、國家社會ノ爲デアルト云フコトヲ念トシテ事業ヲ經營シナケレバナラス、サウシテ從業者ノ幸福ト云フモノハ、何處マデモ考ヘテ行カナケレバナラスト云フコトガ、今日ノ時代ニ一番必要デハナイカ、サウ云フ立前ニ於テ勞働行政ノ實行ニ當リタイト思フノデアリマス、一ツ十分ニ諸種ノ點ニ付テノ研究ヲ遂ゲタイト思ヒマス

○三宅委員 私ハ其次ニ資本家ノ責任ヲ農村ヘ轉嫁シテ居ル事實ニ付キマシテ、内務大臣ニ御所見ヲ承リタイト考ヘルノデアリ

マス、ソレハ農村ニ於ケル結核ハ、一體何カラ發生シテ居ルカト云フコトニ付テ、内務大臣ハ如何ニ御考ニナッテ居ルカ、私共ノ觀ル所ヲ以テ致シマスレバ、農村ニ榮養不良デアルトカ、寄生蟲デアルトカ、トラホームト云フヤウナ諸種ノ病氣ガ蔓延シテ居ルガ、是レハ農村ノ生シダ病氣デアアル、然ルニ肺結核ニ至リマシテハ、是ハ農村ノ出稼労働者ガ工場ヘ出マシテ、女工其他ノ労働者ガ農村ヘ持ッテ歸ッテ居ル病氣ナノデゴザイマス、農村ニ蔓延シテ居ル所ノ結核ト云フモノハ、都會ノ工場カラ持ッテ歸ッテ居ルモノデアアル、然ルニ工場カラ歸シマスル時ニ何ト云フテ歸スカ、健康保險ノ労働者ガ工場ニ於キマシテ結核ニナルト云フト、長ク掛ルカラ家ヘ歸ッテ療養シタラ宜カラウト云ッテ、僅カナ金ヲヤッテ歸ス、肺病ダト言ハナイ、風邪ダカラ歸レト云ッテ歸ス、是ハ神戸市ノ東山病院ノ院長岩田博士ノ御調査デアリマスアレドモ、斯ノ如ク致シマシテ工場ニ發生致シマシタ結核ト云フモノ、四分ノ三ト云フモノハ田舎ヘオッカブサレル勘定ニナル、サウシテ田舎ヘ歸ッテ來テ續々ト死ンデ居ル、私共ノ郷里等ニ於キマシテ知ッテ居ル貧農ノ狀況ヲ見マスルト、娘ガアレバ必ズ女工ニナル、女工ニナッテ、七

人ノ娘ガアッタノガ皆肺病デ死ンダ、斯ウ云フ事例ハ實ニ澤山アル、然ルニ現在ノ健康保險デハ百八十日シカ掛レナイノミナラズ、百八十日掛ケルノデナクシテ、其前ニ風邪デアルトカ何トカ云フ名前デ歸シテシマフ、ソレデモ慢性氣管支炎デアルトカ、肋膜炎トカ云フ病名デ歸スナラバマダ分ッテ居ルケレドモ、病名ハ皆風邪デアルトカ何トカ言ッテ歸ス、ドウシテ工場ニ於テサウ云フ病氣ガ出來ルカト云フコトニ付キマシテハ、工場設備ノ問題モアルシ、色々アリマスルケレドモ、農村ノ環境トハウント違ッテ居ル、農村ニ於キマシテハ家ハ貧弱デアリマスルカラシテ、外ト内トノ狀態ガ殆ド同ジガラシテ、外デモ内デモ同ジ風ニ當ッテ居ル、處ガ町ノ工場ハ工場ト寄宿舎トハ建テ方ガ違フ、ダカラシテ工場デ薄著ヲスル、寄宿舎ハ「バラック」デアアルカラ風邪ヲ引ク、發育盛リニアル子女、皆是ハ幼年工デアリマス、未婚ノ處女デアリマス、斯ノ如キ女工ハ榮養關係ガ惡イ、集團榮養ニ關スル指導ガアリハシナイ、サウシテ工場ト致シマシテハ農村ガ貧乏シテ居ルカラ郷里ヘ送金サセナケレバナラヌ、送金サセルト云フニ付テモ餘計送金サセルコトガ、纏デハ工場トシテハ女工ヲ誘引スル原因ニナルカ

ラシテ、食物ヲ粗末ニシテモ送金サセルコトニ努メル、ソコデ發育盛リノ女工ガ、惡イ設備ノ工場ニ於テ長イ時間働イテ風邪ニ罹ッテ、榮養關係ガ惡イカラ肺病ニナル、肺病ニナルト結局ハ此病名ヲ隠シマシテ、風邪デアルトカ何トカ言ッテ歸ス、私ハ労働者健康保險ノ施設ニ付キマシテ、今マデノ社會局ノ御苦心ニナッテ居ル點ニ付キマシテハ感謝スルケレドモ、今ノ儘デハドウモイカヌ、是ハ斯ノ如キ問題ニ付キマシテハ、農村ヘ歸ッテ——家ヘ歸シマスカラシテ、東京ニ置キマシテ病氣ヲ他人ニウツシテモ仕様ガナイカラ、歸スコトハソレハ宜シイ、家ヘ歸ッたら一ツ其病氣ヲ癒シテ戴ク必要ガアルト考ヘルノデアリマス、ソレニ付キマシテハ今度社會局ガ考ヘテ居ラレマスル結核ニ付イテノ健康保險ノ「ベッド」ヲ千四百圓ノ金ヲ「ベッド」ニ付テ、豫算ヲ立テ、居ラレルケレドモ、斯ノ如キコトヲ農村ノ醫療組合病院ガヤッタナラバ、二百圓一「ベッド」ニ付テ補助サレマスルナラバ、農村ニ於キマシテ坪八十圓ナラバ立派ニ出來ルカラシテ、二百圓宛補助サレテ、アノ七倍ニシテ私ハ農村ヘ結核「ベッド」ヲ殖ヤサセタイト云フノデアリマス、サウスレバ私共ノ近所ニ於キマシテモ社會局ノ御支援ニ依ッテ、

工場ニ於テ肺病ニナリマシタノガ、直グ隔離シテ之ヲ治スト云フコトガ出來ルト思フノデアリマス、衛生局ノ仕事ナドモ、斯フ云フ點ニ付テ自分ノコトダ、自分ノ繩張デアアル、衛生局ノ繩張デ結核ハヤルト云フコトデナシニ、農村ニ於テ赤十字ヲ利用サレルノモ宜シイ、醫療組合ガアレバ助成ナサレルノモ宜シイ、總テラ使ハレマシテ、斯ノ如キ結核ガ農村ニ轉嫁サレテ、ドン／＼蔓延スルト云フコトニ付テハ、一ツ御對策ヲ願ヒタイト考ヘルノデアリマシテ、此點ニ付テノ内務大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

○河原田國務大臣 至極御尤ナ御意見ト思ヒマスノデ、是等ニ付テハ十分研究ヲ遂ゲタイト思ヒマス

○三宅委員 次ニ私共ハ……

○青木委員長 一寸三宅君ニ申上ゲマスガ、アナタハ丁度豫定ノ一時間ニナリマスカ、マダ長イノデスカ

○三宅委員 マダ長イデス、只今ハマダ序論デアリマス、併シナルタケ急イデヤリマスカ、内務大臣ニ此點ニ付テ御伺シタイト考ヘルノデアリマスガ、若シ何デゴザイマスレバ社會局政府委員デモ宜シウゴザイマス、是ハヤハリ醫師團體契約ノ問題ニ關聯

スルノデゴザイマスクレドモ、労働者ノ健康保險ニ付テ吾々ガ考ヘナケレバナラヌ點ハ、産業労働者ノ健康ト云フモノト、一般市民ノ健康ト云フモノトハ、是ハ別ニ考ヘナケレバナラヌ、ソレハ産業労働者ハ集團的ノ工場ニ於テ働イテ居リマスル關係ニ於キマシテ、非常ニ罹病率ヤ色々ナ點ニ於キマシテ、ヤハリ高イ點ガアル、其一例トシテ私ハヤハリ岩田博士カラ承ツタ實例ヲ申上ゲタイト思フノデアリマスガ、例ヘバ神戸ノ製麻會社ニ於キマシテ、「チフス」ガ爆發的ニ出タ、是ハ産業労働者ノ豫後ニ如何ナル影響ヲ受ケルカト云フコトヲ考ヘテ、特ニ最善ノ力ヲ注ガレタサウデアリマスガ、五十七名製麻會社デ「チフス」ガ出來タ、然ルニ其中デ三十七名ハ脚氣ヲ併發シテ居ル、六五%ハ脚氣ヲ併發シテ居ル、是ダケノ患者ノ中デ十二名ダケガ到頭死シダサウデアリマスガ、死シダ中デ十一名マデハ脚氣ヲ併發セルモノデアアル、ソレデ産業労働者ガ其際ニ於キマシテハ、死亡率ガ二%ニナッテ居ルガ、同ジ年齡階級ノ中デ、一般市民ノ中ニアッテ、病院ニ入ッテ居リマシタ者ノ死亡率ハ一五・八%デアッテ、非常ナ差ガアル、即チ産業労働者ガ同ジ「チフス」ノ中デ、脚氣ノ潜伏狀態ニアッタト云フコトハ

明白ナ狀態デアアル、獨リ是ダケデハナクシテ、鐘紡ノ高砂工場ニ於キマシテ、昭和十年八月カラ九月ノ候ニ於テ、非常ニ爆發的ニ百八十四名モ「チフス」ガ同工場ノ寄宿舎ニ於テ出タ、而モ其死亡率ハ三三%七、高砂町ニ於ケル「チフス」ノ死亡率ハ一七%四、即チ其半分シカ死ナナイ、産業労働者ノ「チフス」等ニ於ケル死亡率ガ如何ニ多イカ、而シテ脚氣ヲ持ッテ居ルトカ、居ラヌカト云フコトハ發表シテ居ラヌクレドモ、「オリザニン」「ウイタミン・ビー」劑ニ於テ最モ良イ「オリザニン」ヲ、其際千三百三十一圓モ買ッテ居ルト云フコトデアリマスカラ、脚氣ノ治療ニ付テモ相當注意ヲシテ居タコトハ明瞭デアリマス、其脚氣ノ治療ニ付テ鐘紡ガ不親切ダト申ス者デハナイケレドモ、即チ工場ニ於ケル産業労働者ノ環境ノ結果ヨリシテ、一般外ニ居ル者ヨリモ、脚氣トカ何トカ色々特殊ナ病氣ガ非常ニ多イノデアリマス、之ヲ唯普通ノ者ト同ジニ、其事前ノ症狀ニ付テ何モ知ラナイ所ノ健康保險醫ノ所ニ行ッテ診テ貰ッテモ、適切ナル治療ガ出來ル譯ノモノデハナイノデアアルカラシテ、團體自由選擇主義ト云フ醫師會ノ請負契約ナント云フコトハ、工場労働ニ關シマスル限りニ於キマシテハ、斯ウ云フ點

ニ付キマシテハ、私共ハ非常ナル疑問ヲ抱クノデアリマス、是ハ偶々八幡製鐵所ガ制限選擇主義ヲ採リマシテ、今ハ民間事業ニナッテ居リマスルガ、政府ノヤッテ居リマシタ事業ト致シマシテ、公益的ナ立場ニ立ッテ居ル八幡製鐵所ガ、制限選擇主義ヲ採ッテ居ルト云フ立前ヲ考ヘマシテ、或ハ産業労働者ニ關スル專門ノ團體ハ、ヤハリ是ハ專屬主義ガ宜イ、労働者ノ健康保險ニ關シテ、團體的自由選擇主義ナント云フコトハイカナイ、實際ニ於テ斯ノ如キ實狀ガアルカラシテ、ヤハリ工場醫局、鑛山醫局主義即チ團體自由選擇主義ヨリハ、産業醫局主義ガ宜イ、斯ウ云フ立前ヲ進言シテ居ル事實等ガアリマスルノデアリマシテ、斯ウ云フ點ニ付テモ私ハ相當ナル御注意ヲナサラナケレバ、折角ノ法ガ生キテ來ナイト思フノデアリマス、然ルニ今日ノ日本醫師會ノ態度ハドウデアアルカト申上ゲマスレバ、例ヘバ一昨年媛路ノ大同燐寸工場ニ於キマシテハ、七百人ノ被保險者ヲ持ッテ居ル、ソコデ平田ト云フオ醫者サンガ、其處ニ工場醫局ノ性質ヲ持ツ出張所ヲ作リマシタ、然ルニ日本醫師會ハ、保險規定第二條ニ依ッテ非醫師ノ經營スル醫局デアルト云フ故ヲ以チマシテ、之ニ對シテ止メロト云フ

壓迫ヲ平田醫師ニ加ヘテ來タ、七百人ノ被保險者ハ自分ノヤハリ事前ノ症狀ヲ知り、工場ノ狀態ヲ知り、豫後ヲ知ッテ居ル所ノ專屬ノオ醫者サンニヤッテ貰ッタ方ガ宜イト云フ立前デ、全部連名ノ上醫師會ノ保險醫トシテ認メテヤッテ裁キタイト云フ嘆願書ヲ提出シタニ拘ラズ、醫師會ハ之ヲ排除シテシマッタノデアリマス、是デハ保險醫ガ主デアルカ被保險者ノ爲ノ健康保險デアルカ分ラナイト思フノデアリマス、私ハ一ツ政府ニ資料ヲ要求シタイト考ヘルノデアリマスルガ、工場醫局ノ査定ニ付キマシテハ、日本醫師會ハ査定スル時ニ五割位引クノデアアル、普通ノオ醫者サンノ査定トハウント違フ、私ハ全國各縣ニ於キマシテ工場保險醫ト、一般ノ保險醫ノ醫局ノ査定費ノ各縣別ノ御調査ヲ願ッテ、社會局カラ御提出ヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、斯ウ云フコトヲシテ居ルノデアリマシテ、此點ニ付テハ如何ナル反對ガアッテモ、一ツ斷乎トシテ労働者ノ利益ノ爲ニ、被保險者ノ利益ノ爲ニ、私ハ改革シテ裁カナケレバ意義ヲナサヌト思フ、十年ノ歴史ト云フモノハ無駄ニ過ゴシタ歴史デハナイノデスカラシテ、是ハ直シテ貰ハナケレバイカナイト思フ、而モ岡山縣ノ或ル工場ニ於キマシテハ、工場

診療所ヲ認メル爲ニ一定ノ寄附金ヲ取ツテ居ル、頭ヲ撥ネテ取ツテ居ル、單價ガ安イノ何ノト云ツタテ頭ヲ撥ネテ取ツテ居タノデハ何ニモナラヌデヤナイカ、勞働者ノ保險料ヲ醫師會ガ頭ヲ撥ネテ居ルトハ飛ンデモナイ話、岡山縣ノ工場診療所ニ於テハ其例ガアル、若シモ之ヲ一般ノ診療費ニ加ヘテ居タトスレバ、是ハ違法デアルシ、寄附金ナドヲ取ツタトスレバ、單價ガ安イナント云フコトハ言ハレナイ譯デアリマスルノデ、此點ニ付テ政府ガドウ云フ風ニ御考ニナツテ居ルカ、是モ一ツ細カイ點ハ政府委員、大綱ニ付キマシテハ内務大臣カラ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○春木委員長代理 三宅君、今總理大臣ノ御出席ヲ立川委員カラ御依頼デアッタノデ、總理大臣ハ御忙シイ中ヲ一寸御出席ヲ願ッタノデスカラ、立川君ノ總理大臣ニ對スル質疑ヲ許シタイト思ヒマスカラ宜シクドウゾ……

○三宅委員 一寸其御答辯ダケドウゾ願ヒマス

○廣瀨政府委員 一寸私カラ簡單……御話ノ資料ニ付テハ何レ取調べマシテ提出致シマス、尙ホ此醫療組織ニ付キマシテ、健康保險事業ニ關スル點ニ付テノ色々御意見

ヲ伺ヒマシテ、此點ニ付キマシテハ當局ニ於テモ色々研究致シテ居リマス、尙ホ引續イテ研究ヲ續ケマシテ、現在ノ制度ニ缺陷ガアリ、之ヲ是正スベキモノガアレバ是正シ、適當ナル方法ヲ執リタイト研究ヲ續ケテ居ル次第デアリマス

○春木委員長代理 ソレデハ立川君、總理大臣ガ御出ニナリマシタカラ……

○立川委員 總理大臣ニ一寸御尋致シタイト思フノデアリマスガ、此國民健康保險法案デ、今マデ問題ニナツテ最モ論ジラレテ居ルノハ第九條デアリマス、此九條ガドウシテ斯ウ云フヤウニ問題ニナツテ居ルカト申シマス、農林省ガ非常ニ獎勵シテ居リマス産業組合ガ、此國民健康保險法案ノ中ヘ入ッテ來テ、産業組合ノ力ガ非常ニ強クナルト云フヤウナコトカラ——ソレバカリデハアリマセヌガ、言換ヘレバ大分反産運動ノ如キ傾キガアルノデハナイカト思フノデアリマス、是ハマアドウデモ宜シイガ、私ガ總理大臣ニ御伺致シタイト思フノハ根本ノ問題デアリマス、我國ノ國民保健衛生ヲドチラニ重點ヲ置カレテ、ドウ云フ方向ニ向ケテ行カレヨウト云フ御考デアルカ、之ヲ御承リシタイト思フノデアリマス、軍部ハ我が國民ノ體位ガ年々劣惡化スル趨勢ガア

ルト指摘致シマシテ、世人ニ警告ヲ與ヘタヤウニ思フノデアリマス、其劣惡化ノ原因ト云フモノヲ色々考ヘマスルノニ、明治維新以來我が國民ノ生活環境ガ非常ニ急激ニ變化致シマシテ、其急激ナ變化ニ當然伴フ所ノ國民健康ニ對スル惡影響、其惡影響ヲ防止、豫防スルト云フコトニ付キマシテ、我國ノ爲政家ガ永ラク無關心デアッタヤウニ世間デ謂ハレテ居ルノデアリマス、其爲ニ科學ヤ、産業ヤ、軍事ナドニ付キマシテハ飛躍的ノ進歩ヲシテ居リマスガ、之ニ反比例シテ國民ノ健康衛生ト云フ點ガ、比較的ニ顧ミラレナカッタト、斯ウ云フ所ニ原因シテ、國民ノ體位ガ年々劣惡化スル趨向ニア

ルヤウニ思ハレルノデアリマス、サウシテ此國民體位ノ劣惡化ヲ防止シ、體位ノ向上ヲ圖ルト云フコトガ、總テノ政策ノ根幹デナケレバナラスト、私ハ思フノデゴザイマ

スガ、總理大臣ハ此點ニ付テ如何ナル御意見ヲ御持チデゴザイマスカ、一寸御伺致シマス

意ノヤウデアリマスガ、大體ニ於テ私モ御同感ニ存ジマス、殊ニ今日ノ情勢ニ於キマシテ、國民ノ體位ガ年々劣惡化スルナント云フコトハ、寒心スベキ重大ナ問題デアルト存ジマス

○立川委員 軍部ハ此國民體位ノ劣惡化ノ趨勢ヲ阻止改善スルノニハ、國民生活ノ安定ヲ圖ルト云フコトガ、最モ必要デアルト唱ヘテ居ルノデアリマシテ、私ナドモ其通リト考ヘテ居リマス、又軍部ハ國防ノ充實ヲ圖ル爲ニハ、其人的要素デアル所ノ國民ノ保健健康ト云フコトガ、何ヨリ大切デアルトモ申シテ居リマス、其爲ニハ第一番ニ保健行政ノ統一、第二番目ニ保健、豫防施設ノ擴大強化、三、勞働條件ノ合理化、四、國民榮養ノ改善、五、體育運動ノ振興ト其合理化指導、六、其他一般生活ノ改善等ヲ舉ゲテ居ルノデアリマス、私ハ至極大賛成デアリマシテ、總テノ方モ皆賛成デアラウト思フノデアリマスガ、總理大臣ノ御意見ハ如何デゴザイマセウカ、承リタイト思ヒマス

○林國務大臣 只今ノ國民生活ノ安定ガ國防ノ觀點カラモ極メテ必要デアルト云フコト、竝ニ是ガ爲ニハ保健行政ノ伸展ヲ圖ルト申シマスカ、サウ云フ點ニ付テ一般國民

ノ體格ヲ向上スルト云フコトニ努力シナケレバナラスト云フコトニ付テハ、全ク御同感デアリマス

○立川委員 總理大臣モ御賛成下サイマシタ以上ハ、私ハ更ニ其中ノ一二ニ付テ御尋致シタイと思フデアリマス、其第一番ハ保健行政ノ統一強化ト云フ點デアリマス、内閣官制第二條ニハ「内閣總理大臣ハ各大臣ノ首班トシテ機務ヲ奏宣シ旨ヲ承ケテ行政各部ノ統一ヲ保持ス」ト規定シテ居リマス、又第三條ニハ「内閣總理大臣ハ須要ト認ムルトキハ行政各部ノ處分又ハ命令ヲ中止セシメ勅裁ヲ待ツコトヲ得」ト規定シテ居リマス、是ハ内閣總理大臣ハ各省ノ行政ヲ統一シテ、五ニ其權限領域ヲ侵サシメナイデ統一ヲ保持セシムル爲ノ條文デアルコトハ明デアリマス、總理大臣モ此點ニ付テハ御異存ガナカラウト思フデアリマスガ、尙ホ御同致シマス

○林國務大臣 只今ノ御質疑ノ意味ハ保健行政ノコトデ、各省關係ノ事柄デアッテ、ソレガ統一ヲシテ居ラヌ場合ニ於テ、總理大臣ニ於テ、是ガ統一ヲ圖ルベキデアルト云フヤウナ御意味ノヤウデアリマスガ、大體ニ於テ、私モソレハ各方面ノ施設其他ニ於テ、若シ重複ヲ致シテ居ルトカ、或ハ矛盾

ヲシテ居ルトカ云フヤウナコトデ、ソレガ十分ニ進展ヲシテ居ラナイト云フヤウナ場合ニハ、總理大臣ニ於テ相當ニ之ヲ統一シ、強化スルダケノ手段ヲ講ズベキダト考ヘマス

○立川委員 總理大臣ハマダ御尋致サナイコトヲ、今御答下サッデ——私ハ是カラモウ少シ詳シク御尋致シタイと思フデアリマスガ、内務省官制第一條ニ「内務大臣ハ神社、地方行政、議員選舉、警察、土木、衛生、都市計畫、地理、出版、著作權及拓殖ニ關スル事務ヲ管理シ」云々トアリマシテ地方行政ト共ニ衛生保健ニ關スル行政ハ、内務大臣ノ主管事項デアルコトハ明デアリマス、同第八條ニ「衛生局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル」ト定メテ、其第一ニ「一、傳染病及地方病ノ豫防種痘其ノ他總テ公衆衛生ニ關スル事項」ト規定シテ居ルデアリマス、ノミナラズ國民全體ノ我國ノ保健衛生ニ關スル事項ハ、總テ内務省ノ主管デアルト信ジテ居ルデアリマス、又現行官制ヲ改正スレバ兎モ角モ、現在ノ儘デハ國民衛生ニ關スルコトハ、官制上内務省ガ當然之ヲ掌ラナケレバナライコトデアルト思フデアリマス、然ルニ現在ノ狀況ヲ見マスルノミ、國民ノ保健衛生ニ關スル事項デアッ

テ、本來自分ノ所屬省デナイ所ノ各省ニ於テ施設サレテ居ルモノガ甚ダ多イノデアリマシテ、國民ハ其何レニ適從シテ宜イカラ知ラナイ狀態デアリマス、國民ノ保健衛生ハ國家ノ基礎的要件デアッテ、國防ヲ初メ、産業モ、科學モ、教育モ、歸スル所ハ其人的要件ニ左右サレル最モ大切ナ事柄デアリマス、内閣總理大臣ハ各省ノ官制ニ從ヒマシテ、現行ノ儘ナラバ、ドウシテモ内務省ニ於テ、之ヲ統一シテ行カレルカ、サウデナケレバ保健衛生省ト云フヤウナ、別ナ一省ヲ將來設ケラレテ、此處ニ統一サレルカ、何レカサレナケレバイケナイト思フデアリマスガ、内務省ニ統一スル御考デアリマスカ、又ハ一省ヲ設ケテモ統一スル御考デアリマスカ、又ハ不統一ノ現在ノ儘ニ放任シテ宜イト御考ニナッテ居ラレルノデアリマセウカ、此點ニ付テ一寸御同致シタイト思ヒマス

○林國務大臣 只今ノ御話ノ衛生ノ問題ハ、當然内務省ノ——國民衛生ト云フ上カラ言ヘバ、内務省ノ統一ニ屬セシムベキモノト云フ御考ハ、大體ノ御考ハ私モ左様ニ考ヘテ居リマス、是ガ只今ドウ云フ風ニ各省區々ニナッテ居ルカ、如何ナル狀態ニ於テ統一ニナッテ居ルカト云フ狀態ニ付キマシ

テハ、私今存ジテ居リマセヌ、今後十分是等ノ點ヲ研究致シマシテ、是ガ内務省ノ下ニ統一シタ方ガ便利デアルカ、或ハ特別ノ——衛生、保健ト云フヤウナ一ツノ特別ノモノヲ設ケル方ガ宜イノデアルカ、ソレ等ノ點ニ付テハ十分ニ研究シタ上デ定メタイト存ジテ居リマス

○立川委員 尙ホ進ンデ農林省ノ官制ヲ見マス、第一條ニハ「農林大臣ハ農、林、水産、畜産、及米穀統制ニ關スル事務ヲ管理ス」ト規定シテゴザイマシテ、官制第一條カラ第十六條ニ至ル迄、何レノ部分ヲ見マシテモ、國民ノ保健衛生ニ關シテ努力セイト云フ規定ハ少シモナイノデアリマス、産業組合ハ農林大臣ノ主管事項デアリマスガ、其産業組合ヲシテ、國民ノ保健衛生ニマデ容喙セシメテ、内務大臣ノ主管領域ニマデ立入ルト云フコトハ、私ハ法令違反ノ行爲デアルト思ッテ居ルデアリマス、但シ農林省官制ニ於キマシテモ、農林大臣ニモ保健衛生ノ事務ヲ掌ルコトヲ許サレテハ居ルデアリマス、ソレハ家畜ノ改良、増殖、衛生保健ニ關シテバアリマシテ、單ニ家畜ニ關シテノミハ衛生、保健ニ立入ルコトヲ許サレテ居ルノデアリマスガ、國民ノ一般ノ衛生保健ニ立入ルコトハ、官制上許サレ

テ居ナイノデアリマス、然ルニ産業組合法ヲ利用シテ、醫療利用組合ヲ作ラシメ之ヲ

助長シテ、現在醫療利用組合數ハ、昭和十年ノ末ニハ二百五十七アルト云フコトデア

リマス、尙ホ十一年ノ現在ニ於キマシテハ三百以上ニ達シテ居ルトモ承テ居リマス、

而モ年々其數ガ増加スル趨勢デアリマス、内務省社會局ハ内務大臣ヲ補助スベキ機關

デアリマス、内務省ノ爲スベキ國民衛生ニ關スル事項ヲ、他ノ官省ノ官吏ノ侵略スル

ノニ任シテ置クノミナラズ、陰ニ陽ニ之ヲ助長シテ居ルノデハナイカト思ハレル節モ

アルノデアリマス、各省各局ガ堂々ト法令ニ違反シテ、内務大臣ノ領域ニ喰入リ、農

林大臣マデモ牛ニ曳カレテ善光寺詣リト云フヤウニ、醫療利用組合ヲシテ、國民ノ保健

衛生ニ關與スルコトガイケンイト、頭カラ否認サレテ居ナイノデアリマス、斯ノ如ク

シテ國家ノ保健行政ハ、今ヤ内務省ガヤルノカ、農林省ガヤルノカ、内務省ハ無論厄介

ガッテ居ッテ、サウ云フコトハ農林省ニヤッテ貰ッタ方ガ都合ガ好イヤウニ考ヘラレテ居

ルノデハナイカト迄、世人ヲシテ疑ハシメテ居ルノデアリマス、内閣總理大臣ハ速ニ

保健行政ノ統一強化ヲ圖ラレテ、斯ノ如キ官紀紊亂ヲ嚴重ニ取締ッテ、保健行政ヲ強化

ナサル御考ガアルカナイカ、ソレヲ伺ヒマ

ス
○林國務大臣 只今ノ御質問ハ果シテ内務省ガ此問題ヲ厄介視シテ居ルカドウカ、又

農林省ガ果シテ此領域ヲ超エテ侵入シテ居ルカ、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ、私ハマ

ダ十分研究ヲ致シテ見タ上デナケレバ何トモ申上ガ兼ネマス

○立川委員 逓信省ノコトニ付テモウ一ツ御伺ヒシテ見タイト思ヒマス、逓信省官制

第一條ニ「逓信大臣ハ郵便、小包郵便、電信電話及航路標識ヲ管理シ發電水力及航空

ニ關スル事務ヲ掌リ電氣、造船、水運ニ關スル事業及航路、船舶、海員ヲ監督ス」ト

云フヤウニナッテ居リマシテ、第一條ノ二ニハ「大臣官房ニ於テハ通則ニ定ムルモノ、

外従事員ノ養成保健及逓信博物館ニ關スル事務ヲ掌ル」ト規定シテ居リマス、逓信省

ノ從業員ノ保健衛生ニ關シテ、逓信省ガ之ニ重キヲ置カレルト云フコトハ當然デアリ

マスガ、其外一般國民ノ保健衛生ト云フコトニ關シマシテハ何等ノ規定、權限ガナイ

ノデアリマス、然ルニ最近簡易保險事業ニ關聯シテ、被保險者ノ福利施設トシテ、健康

相談所ヲ全國ノ各都市ニ開設サレマシタ、被保險者ノ健康相談ニ與テ居ルノミナ

ラズ、簡易ナ手當ヤ處方箋ヲ發行シテ居ルノデアリマス、ノミナラズ被保險者ノ爲ニ

低廉診療契約ヲ、日本醫師會トノ間ニ締結サレタコトハ、普ク人ノ知ル所デアリマス、

更ニ進ンデ疾病保險制度ヲ計畫シテ國民ノ大多數ヲ此制度ノ下ニ糾合シヨウトシツ、

アルノデアリマス、何レニシテモ本來ノ行政官廳ノ範圍ヲ逸脱シテ居ルモノデアリマ

シテ、國民ノ保健衛生ハ農林省モヤレバ、逓信省モヤル、内務省モ之ヲヤッテ居ル、何

レモ保健ト云フコトノ立場カラ勝手ニ思ヒ思ヒニ、斯ウ云フコトヲシテ居ルト云フコ

トデハ、衛生行政ノ統一ト云フコトガ圖リ得ナイノミナラズ、強化ナドト云フコトハ

到底行ハレナイコト、私ハ考ヘルノデアリマス、總理大臣ハ軍部ガ希望シ、國民ガ熱

望シテ居ル所ニ從ヒマシテ、我國ノ保健行政ノ中樞機關ヲ明ニシテ、之ヲ統一強化シ

テ、サウシテ無醫村ノ人々、貧困階級ノ人々ノ爲ニ醫療ノ普及ヲ圖ッテ戴カナケレバナ

ラナイノデアリマス、今マデハ積極的ニ國民ノ保健衛生ノ爲ニ、軍部ガ主張シテ居ル

ヤウナ、先程申上デマシタ保健豫防施設ノ擴大強化トカ、勞働條件ノ同一化トカ、國民

ノ榮養ノ改善トカ、體育運動ノ振興及ビ其合理化トカ、指導トカ、其他一般生活ノ改

善ト云フコトニハ、一向力ヲ注イデ居ラレナイヤウデアリマシテ、今度幾ラカ、保健

所法案ヲ出サレテハ居リマスガ、斯ウ云フコトデハ全く不徹底デアリマシテ、都會地

ニバカリ斯ウ云フコトガ出來ルヨリカ、寧ロ貧弱町村ト申シマセウカ、其方ニ先ヅ第

一番ニ重キヲ置イテ戴キタイト、吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、保健所ハ大抵縣

廳ノ所在地カ、其縣ノ中心地ニ出來ルノデアリマシテ、其縣ノ縣廳ノ所在地、中心地ト

云フ所ニハ、醫者ガ現在ニ於テモ非常ニ澤山アリ、又諸種ノ衛生設備モ大體備ハッテ

居ルノデアリマシテ、寧ロ之ヲ郡部ト申シマセウカ、農山漁村ノ方ニ重キヲ置ク設備

ヲシテ戴イテ、初メテ效果ガアルト思フノデアリマスガ、此點ニ對シテ總理大臣ノ御

意見ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス
○林國務大臣 只今ノ御意見ノ中ニアリマ

シタ各省ニ於テ色々ナコトヲヤッテ居ル、ソレデ統一ヲ害シテ居ルヤウナコトハナイカ

ト云フ御意見デアリマスガ、是ハ詳シク調べテ見ナイト能ク分リマセヌケレドモ、各

省ハ其各省ノ立場々々デ、色々保健上ノ施設ヲスルト云フヤウナコトハアリ得ルコト

デアリ、又甚シク妨ゲノナイコトデナイカ、大體ノ目的ニ向ッテ一般ガ同一ノ方向ニ進

ンデ居ルト云フナラバ、是ハ各省ノ施設ヲ
必ズ統一セナケレバナスト云フ風ニハ考
ヘラレヌコトモアルノデヤナイカト思ハレ
マスガ、併シ大體ニ於テ醫療ノ普及デアル
トカ、サウ云フヤウナ點ニ付テ、大イニ研
究シテ見ル必要ハアル、斯ウ云フ風ニ考ヘ
マスノデ、先程御答ヘ申シマシタ通り、茲
ニ一ツノ特別ナ機關ヲ設ケテ統一セシメル
カ、或ハ現在ノ或省ヲ更ニ其力ヲ擴大シテ、
サウシテソレニ當ル方ガ宜イカ、サウ云フ
點ニ付テハ將來ニ於テ十分研究シテ見タイ
ト考ヘマス

ソレカラ一番最後ノ御話ノ、保健所ノ如
キハ、都會ヨリモ寧ロ貧弱町村、所謂農山
漁村ノ方ニ效果ノアルヤウニ仕向ケタ方ガ
宜イト云フ御意見デゴザイマスガ、是モ私
マダ保健所ト云フモノ、性質ヲ、十分研究
シテ居リマセヌガ、大體ノ趣旨カラ申セバ、
其方ガ當然ダト思ヒマス、都會地其他ニハ
ソレノ衛生ノ機關ガ相當備ッテ居リマス
カラ、是等ノ不足シテ居ル方面ニ、サウ云
フ機關ヲ設ケルト云フ風ニ努メテ考ヘナケ
レバナスト存ジテ居ル次第デアリマス
○立川委員 總理大臣モ御急ギダサウデア
リマスカラ、私モ極ク簡單ニモウ一箇所尋
ネテ見タイト思フノデアリマス、主管デア

ルベキ所ノ内務省ノ力ガ非常ニ弱イガ爲ニ
ト申シマセウカ、内務省ガ爲スベキ事
ヲマダ十分シナイ中ニ、他ノ省ガ始メタト
申シマセウカ、是ニハ私ハ内務省ノ保健衛
生ヲ掌ッテ居ル所ノ局ニモ、マダ不行届ノ點
ガ非常ニアルト思フノデアリマス、第一番
ニ、一二ノ例ヲ舉ゲテ見マシテモ、鐵道省
ニ於キマシテハ、技師デモ局長トナリ、次
官トナルヤウナ途ガ開カレテ居ルノデアリ
マス、又陸軍ヤ海軍ニ於キマシテハ、軍醫
ガ軍務局長トシテ、軍政上ノ重要ナル任務
ニ就イテ居ルコトハ御存ジ通りデアリマ
ス、然ルニ内務省ノ衛生局ニ於キマシテハ、
如何ニ行政的手腕ノアル技師ト云ッテモ、僅
ニ課長ニナルノニ止マリマシテ、局長ニナ
ルコトハ出來ナイノデアリマス、勅任官ニ
等ノ課長ガ、僅ニ二人アルノミデアリマシ
テ、斯ウ云フヤウナコトデ、ドウシテ日本
ノ保健衛生ノ行政ガ十分ニヤッテ行カレヤ
ウカ、是ハ其技師ガ虐待サレテ居ル證據デ
アリマスガ、私ハ保健行政ヲ十分ニ建直ス
爲ニハ、總理大臣ハ法科萬能ト云フ弊ヲ矯
メラレマシテ、文科デモ、醫科デモ、理科
デモ、農科デモ、工科デモ、各、其専門ノ人
物ヲ適所ニ配置サレテ、文官任用令ノ改
正ガ行ハレテ、初メテ國民保健衛生ノ機構

ガ、十分ニ備ハルト思フノデアリマス、單
ニ是ハ國民ノ保健衛生ニ關シテノミデハア
リマセヌ、現在行政機構ノ改革ト云フ時ニ
ハ、マルデ各官廳ハ自分ノ方ノ主管事項ガ
多クナルヤウニ、仕事ガ多クナルヤウニト
云フ計畫ハ致シテ居リマスガ、根本ニ適材
適所ヲ植付ケルト云フコトニハ、何等ノ考
ヲシテ居ナイヤウデアリマス、私ハ國民健
康保險ノ此問題カラ致シマシテモ、文官任
用令ヲ相當ニ改メラレマシテ、適所ニ適材
ヲ得ルヤウナ方法ヲ執ッテ戴カナケレバナ
ラナイト考ヘテ居ルノデアリマスガ、此點
ニ對シテハ總理大臣ハ如何ナル御考ヲ持ッ
テ居ラレルデセウカ、一寸御伺致シマス
○林國務大臣 此人物任用ノ問題ニ付キマ
シテハ、昨日モ豫算委員會大體同様ナ御
質疑ガアリマシテ、國務ノ全般ニ互ッテ此問
題ハ目下考究中デアアル、斯ウ云フ御返答ヲ
申シテ居リマス、詰リ斯ウ云フ點ニ付テハ、
相當今マデ御説ノヤウナ意見モ、私ハ耳ニ
シテ居リマスノデ、其點ニ付テハ只今十分
研究致シタイト存ジテ居ルノデアリマス
○立川委員 總理大臣非常ニオ急ギノヤウ
デアリマスカラ、私ハ總理大臣ニ對スル質
問ハ、是デ打切りタイト思ヒマス、
○青木委員長代理 諸君ニ一寸御相談致シ

マスガ、昨日委員長ガ、速記者ハ恐ラク午
前中デ宜カラウト云フコトデアッタサウデ
スノデ、速記課ノ方デハ其積リデ居ラレ、
開イタ所、大分アツコッチノ委員會デ齟齬
ヲシテ來タノデ、速記者ヲ返シテ呉レト云
フ催促ガ、大分最前カラアルノデスガ、サ
ウスレバ致シ方ガアリマセヌカラ、是デ暫
ク休憩シタイト思ヒマス、暫ク休憩致シマ
ス

〔「マダ今日ヤルノデスカ」ト呼フ者アリ〕

○青木委員長代理 ソレハ其都合ニシタイ
ト思ヒマスカラ、先ヅ暫ク休憩ト云フコト
ニ御承知ヲ願ヒマス

午後三時三十二分休憩

午後七時二十分閉議

○添田委員長 開會ヲ致シマス——三宅正
一君

○三宅委員 私ハ先程國民健康保險法案ノ
直接ノ質疑ニ入りマスル前提ト致シマシ
テ、労働者ノ健康保險ノ運用ニ付キマシテ、
二三ノ點ニ付テ質疑ヲ試ミタノデゴザイマ
スルガ、尙ホ一ツ其點ニ付キマシテ、私ハ質
疑ヲ繼續致シマシテ、次イデ國民健康保險
ノ問題ニ入りタイト考ヘルノデアリマス、

第一ハ勞働者健康保險ニ於キマスル所ノ、私ハ次ノ問題ハ何デアアルカト云フナラバ、醫療内容ノ低下ニ關スル問題デアルト考ヘルノデアリマス、此點ニ付キマシテハ、勞働者ノ間ニ於キマシテ、非常ナヤハリ憤懣ガアルノデアリマシテ、此點ニ付キマシテ實例ヲ、時間ノ關係ガアリマスノデ、特ニ甚シイト考ヘマスル、私井ガ勞働者カラ實際伺ッテ居リマスル二三ノ實例ニ付テ承リマシテ、是ガ先程申上ゲマシタヤウニ、制限選擇主義ガ宜イカ、若クハ工場專屬主義ニ依ル方ガ宜イノデハナイカト云フ——開業醫ニ委シテ居ルヨリハ、其方ガ宜イノデハナイカト云フ點ニ付キマシテ、私ハ參考資料ニシタイト考ヘルノデアリマス、現行ノ勞働者ノ健康保險ニ對シマシテ、勞働者ノ不平ト致シテ居リマス點ハ、是ハ醫者カラ虐待ヲ受ケル點ニ付テ、非常ナ不平ヲ持ッテ居ルノデアリマス、是ハ恐ラル内務省ニ於キマシテモ、此點ニ付テハ御氣付ニナリマシテ、是ハ一ツ監督ニ付キマシテ、ヤハリ十分ナ御考ガアルコト、思フノデアリマスガ、私ハ或ル工場ニ就テ調べマシタ實例ヲ二三申上ゲタイト思フノデアリマス、是ハ勞働者ガ直カニ私ノ所ニ調ベテ寄越シマシタ手紙デアリマスガ、現在ノ制度ノ下

デ、醫師ノ不親切ト云フコトガ勞働者ノ問題ニナッテ居リ、外科、内科、齒科ヲ問ハズ、手當モ、診察モ、勞働者ノ健康保險ハ極メテ不十分デアアル、健康保險デ買フ藥ハ、現金デ買フ藥トハ異ッテ居ルト云フコトハ、被保險者ノ間ニ於テ言ハレテ居ル公知ノ事實デアアル、其事例トシテ「オー」君ハ耳ヲ患ッタノデアリマスガ、勞働者ノ健康保險ノ被保險者デアアルニ拘ラズ、保險デ診察サレテハ好イ加減ニサレルト云フ心配カラ、第一回ハ現金デ診察ヲ受ケ、第二回カラ保險證ヲ出シマシタラ、醫者ハ何故最初カラ保險證ヲ出シテ呉レナイカト、非常ニ不機嫌デアッタサウデス、第二例ハ、「エヌ」君ガ花柳病ニ罹ッテ或ル醫者ニ掛リ、其療養ノ途中、二箇月程シテ醫者ガ病氣ニナッタ、サウスルト其醫者ハ自分ガ病氣ニナツタカラ、全治ト云フコトニシテ保險證ヲ返スカラ、外ノ醫者ニ掛ッテ呉レト言ッタノデ、「エヌ」君ハ他ノ醫者ニ診察ヲ受ケタ所、前ノ醫者ノ療法ハ切開ヲセズ、塗藥ヲ付ケル、是ハ病ヲ益、却進サセル結果ヲ生ジ、實ニ危險デアッタ、是ハ直グ切開手術ヲシナケレバイカヌト云フノデ、切開ノ手術ヲシテ、約半月デ癒ッタト云フ例デアリマス、第三ハ、「エム」君ハ頭ガフラ／＼スルノデ、附近ノ町醫者

ニ掛ッタコロ、神經衰弱ト簡單ニ診察サレ、其手當ヲ受ケテ居ッタ、併シ餘リヲカシイノデ、本郷ノ帝大病院デ診察ヲ受ケタコロ、塗藥ノ藥ノ中毒、「エム」君ハ塗工デアリ、其作業カラ來タ職業病デアアルコトガ判明シタ、即チ職業病ト云フモノハ、各勞働者ガ持ッテ居ルノデアアルガ、是ガヤハリ專屬醫主義ノ方ガ、遙ニ效果ヲ舉ゲルノデハナイカト云フ實例デアリナイカト考ヘルノデアリマス、其次ニ「デイー」君ハ鼻ヲ患ヒマシテ、醫學博士ト云フ肩書ノアル醫者ノ療養ヲ受ケタコロ、不親切此上モナイノデ、タッタ二日シカ診療ヲ受ケズ其醫者ヲヤメテシマッタ、「ケイ」君ハ足ヲ負傷シ、親指ノ爪ヲ剝取ラナケレバナラヌ時、麻醉注射ヲシナイデ拔取ッタノデ、激シイ痛ミト少カラヌ不便ヲ感ジタ、是等ガ醫者ノ不親切ト云フ例デアリマス、次ニ醫者ノ不正ナ例トシテ勞働者ガ訴ヘテ來タ所デアハ、「デイー」君ガ神經衰弱デ或ル醫者ニ掛リ、全治スル迄ニ一日置キニ三回ノ診察投藥ヲ受ケタコロ、全治ノ日ニ毎日診察投藥シタコトニシ、即チ六回ノ診察投藥ト云フコトニシテ呉レト要求シタ、請負制度ニ依リマス所ノ、是ハ胡麻化シノアル例デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、其次ニ「エヌ」ト云フ懶ケ者ハ、

工場ヘ行クノガ厭サニ、或ル醫者ニ頼ンデ神經衰弱ナル理由デ六箇月モ工場ヲ休ンダ、其醫者ハサウシタ融通ノ利クコト有名ナ醫者デスト云フ手紙ヲ寄越シタ、ソコデ勞働者ハ現在ノ所ドウ云フコトヲ希望シテ居ルカト云フト、此給付金額ヲ増シテ貰ヒタイ、現在私ノ工場ノ、私ノ職場デノ實收賃銀ト標準日額、給付金ノ二ツノ例ヲ示シマス、ト「エー」ノ例ニ於テハ、實收賃銀ガ二圓二十三錢、標準日額ガ一圓九十錢、然ルニ給付金ハ一圓十四錢、「ビー」ノ例ニ於テハ、實收額ガ一圓七十一錢、標準日額ガ一圓三十錢、然ルニ七十八錢ト云フ給付金ニナッテ居ル、標準日額ノ決定ニ付テ胡麻化シガアルヤウニ考ヘルト云フ不審ヲ勞働者ガ懷イテ居ルノデアリマス、ソレカラ公傷等ノ場合ニ於テ、給付金ヲ増加シテ貰ヒタイト云フコトヲ懇ヘテ來テ居ルノデアリマスガ、私ハ國民健康保險ニ直接ノ關係ガアリマセヌカラ、此事例ニ付キマシテハ澤山ノ投書其他ノ資料ヲ持ッテ居リマスケレドモ申上ゲナイ、唯斯ノ如キ事例ハ、一工場ニ於テ勞働者ガ懇ヘテ來ルダケデナシニ、健康保險時報ノ昭和十一年ノ一月五日號ニ、覆面子ト稱シマシテ、保險醫ノ不正行爲ト云フ記事ガ出テ居ル、私共ハ之ヲ拜

見致シマシテ、是ハ恐ラクハ官廳ノ筋カラ
出タ記事ヂヤナイカ、官廳ニ於テ立場上之
ヲ明白ニスル譯ニ行カナイケレドモ、ソレ
ハ労働者健康保險ニ於テ、今日ノ醫師會竝
ニ開業醫ガ、實ニ此精神ヲ蹂躪ッテ居ルト云
フコトニ付テ、痛憤ヲ感ゼラレタ事例ガ出
テ居ルノデアリマシテ、私ハ是モ時間ノ關
係デ恐縮シマスノデ細カイコトニ付テ申上
ゲマセヌケレドモ、ヒドイノデアリマス、
ソレカラ鈴木梅四郎サンガ著書ニシテ出シ
テ居ラレケレドモ、社會局ガ昭和十年ノ
秋、事務官、技師、屬等五十名ヲ派遣サレ
マシテ調査サレマシタモノニ於テ、モウ甚
シキ不正事實ガ簇出シタト云フ事例ガ現レ
テ居ル、斯ノ如キコトハ私ハ後カラ國民健
康保險ニ於ケル一ツノ論議ノ材料ニナルト
考ヘルノデアリマスガ、一ツハヤハリ是ハ
労働者側ニ於ケル共済的訓練ノ缺如ト云フ
コトデアル、而シテ一ツハ、營利主義ト兩
立シナイ保險制度ニ對シテ、營利主義ノ開
業醫ヲ使ッテ居ラレト云フ點ノ弊害デア
ルト私ハ考ヘルノデアリマシテ、斯ノ如キ
點ニ付テ此事實ヲ認メラレカドウカ、認
メラレナラバ、是ガ改善ニ付テ——労働
者健康保險ニ付テ如何ナル改善案ヲ持ッテ
居ラレカト云フコトヲ、先ヅ社會局長官

カラ承リタイト考ヘルノデアリマス

○廣瀨政府委員 只今色々實際ニ付テノ御
話ヲ承リマシタ、澤山ノ中ニハサウ云フコ
トモアラウト思ヒマスルガ、併シソレニ付
キマシテハ吾々ノ方デハ平素カラ十分ノ監
督ヲ加ヘ、尙ホサウ云フコトガアリマスレ
バ、ソレニ對シテハ十分ノ警告ヲ加ヘテ居
ルノデアリマシテ、尙ホ先程モ申上ゲマシ
タヤウニ、健康保險ノ醫療組織ニ付キマシ
テハ、色々研究ヲ致シテ居リマシテ、缺點
ノアルコトニ付テハ、逐次改善ヲ圖ラウト
努力ヲ致シテ居リマス

○三宅委員

モウ少シヤハリ眞實性ノアル
御答辯ガ願ヘマスレバ、私ハ追究ヲ止メタ
イト思フノデアリマスガ、ソナ意味ノ御
答辯デアリマスナラバ、モウ少シ突キ進ン
デ一ツ御答辯ヲ得タイト思ヒマス、鈴木梅
四郎サンノ「醫療ト國民生活」ニ書イテ居ラ
レマス、昭和十年ノ秋社會局デオヤリニナ
リマシタ調査ハ、アレハ嘘デアリマスカ本
當デアリマスカ、オヤリニナリマシタコト
モ事實デアリマスシ、アレニ出テ居リマス
コトモ事實デアルト思ヒマスガ、嘘デアリ
マスカドウデアリマスカ——御答辯アリマ
セヌケレドモ、外ノ方ニ甚ダ御迷惑デスカ
ラ、マサカ鈴木梅四郎サンガ嘘ヲ書イテ居

ル譯デモアリマセヌデセウカラ、一ツ惡イ
點ニ付キマシテ御改善ヲ願フト云フコト
デ、アトヲ進メタイト思ヒマス、私ガ今申
シマシタ點ハ、醫療ノ内容低下ニ關スル問
題デアリマシテ、即チ醫療内容低下ニ關シ
マシテハ、今日團體自由契約主義——團體
契約ヲ國民健康保險法ニ於テ頑強ニ內務省
ガ拒否シテ居ラレマス所以ハ、ヤハリ労働
者健康保險ノ苦イ御經驗カラダラウト考ヘ
ルノデアリマシテ、其點ト、竝ニ開業醫制
度ニ內在致シマスル病弊ト、竝ニ互助的訓
練ヲ經ナイ所ノ労働者側ニ於キマスル、ヤ
ハリ不徳ナル被保險者ノ保險經濟食潰シ、
斯ノ如キコト、竝ニ請負契約制度ノ不合理
ト云フ點ガ、私ハ醫療内容ノ低下問題トナッ
テ現レテ來テ居ルト思フノデアリマシテ、
此點ニ付キマシテハ、一ツドウカ之ヲ改メ
テ、モット完全ナルモノニ、十年ヲ記念ト致
シマシテ、御改正ヲ願ヒタイト考ヘルノデ
アリマス、尙ホ私ハ此點ニ付キマシテハ申
上ゲテ伺ッデ置キタイト思フノデアリマス
ガ、最初ノ労働者健康保險ニ於ケル基準ハ、
一年ニ於ケル疾病日率ハ一七・三ト云フノ
デアルガ、最近ニ於ケル統計ヲ見マスルト、
昭和五年ガ三十八日、昭和六年ガ三十六日、
大體三十日以上ニナッテ居ル、而モ是ハ社會

局ノ調査ノ覆面的發表デアルト考ヘテ居ル
ノデアリマスガ、最モ狹イ所ハ、一箇年ノ
被保險者ノ平均受療日數ガ九十日デアリ、
或ル所ニ於テハ百五日ニ及ンデ居ル、斯ウ
云フコトニナレバ、七圓何十錢ノ單價デ請
負契約ガ足ル譯ハナイノデアリマス、是ハ
足ラナイモノナラバ殖サナケレバイケナイ
ノデアルケレドモ、是ハ實ハ保險精神ヲ解
セザル醫者ト労働者ノ兩方ノ側ニ於テ、保
險經濟ヲ混亂サシテ居ルノデアッデ、足ラナ
イノデアルトハ考ヘナイ、或ル病氣ニ依ッテ
ハ勿論殖サナケレバナリマセヌ、又請負制
度ガ宜イカ、定額制度ガ宜イカト云フ、色
色ノ點ニ付キマシテハ、是ハ十分ニ考ヘナ
ケレバイカヌケレドモ、兎モ角斯ウ云フ數
字ガ現レテ參リマシタコトニ付キマシテ
ハ、保險精神カラ遙ニ離レテ居ルト云フ點
ダケハ、是ハオ互ニ否認スルコトガ出來ナイ
ト思フノデアリマシテ、折角此制度ヲ「サラ
リーマン」ニモ及ボシ、是ヨリ擴ゲヨウト云
フ際ニ於キマシテ、此點ニ付キマシテハ十
分ナル戒心ヲ願ヒタイノミナラズ、之ヲ一
ツ國民健康保險法ニ於テ、此過ヲ二度ト
シナイヤウニ、一ツ私共ハヤリタイト思ヒ
マシテ、後ノ主張等ヲ私ハ其根據ニ立ッテ
申述ベタイト考ヘルノデアリマス、第二ハ、

所謂労働者健康保険ニ於ケル團體契約、即チ日本醫師會トノ請負契約ニ關スル問題デアリマスルガ、今回日本醫師會ガ團體契約ヲ主張シテ居ラレマスル點モ、ソレカラ日本醫師會トノ、労働者健康保険ニ於ケル請負契約ヲ主張シテ居ラレマスル點モ、全ク是ハ其理窟トシテ居ラレマスル點ハ、醫師選擇自由ノ問題ガ理窟ダト思フ、是ハ加藤鎌五郎君ト雖モ、中崎俊秀君ト雖モ、田中養達君モ、皆言ッテ居ラレル、第二ノ大キナ理由ハ、診療費ヲ成ベク高ク契約シタイト云フ點ガアルト思フノデアリマスルガ、併シソレハ第二ノ理由デアッテ、表面的ノ理由ハ、醫師選擇自由ト云フコトハ、是ハ團體契約ニ依ラナケレバ爲シ得ナイト云フ點ヲ、極力主張シテ居ラレルヤウデアリマスルケレドモ、之ヲ私ハ労働者ノ健康保險ノ事例ニ付テ見マスルト、此醫師會トノ請負契約ニ依ッテ、醫師選擇自由ト云フコトガ何等行ハレテ居ラナイノミナラズ、醫師會トノ團體契約ニ依ッテ、醫師選擇自由ノ爲ニ、掛リタイ醫者ニ掛レナイト云フ、非常ナル缺陷ヲ労働者健康保險ハ持ッテ居ルト云フ二三ノ事例ニ付キマシテ、私ハ政府ノ御所見ヲ承リマシテ、之ヲ改正サレル意思ガアルカナイカ、ソレカラ日本醫師會ガ規定シ

テ居リマスル健康保險規則等ニ縛ラレテ居ルナラバ、斯ノ如キ公益ニ反シテ居リマスル規定ニ付テハ、政府ノ權威ヲ以テ公益ノ爲ニ改正ヲ命ジテ下サル意思ガアルカナイカト云フコトヲ、先ヅ第一ニ承リタイト思フノデアリマス、ソコデ私ハ今日ノ日本醫師會トノ團體契約ニ依ッテ、五萬數千ノ開業醫ガアリマスル中ニ於テ、實際三萬二千人位シカ保險醫ニナッテ居ラナイト云フ事實、而モ私ハ此點ニ付テ政府ニ承リタイ點ハ、保險醫ノナイ町村ガ三百九十三箇町村デアッテ、而シテ其處ニハ被保險者ガ一萬八千七十九人アリマス、其工場ノ數ニ於キマシテハ千三百六十アル、サウシテ其處ニ開業醫ガ五百二十二人アルケレドモ、是等開業醫ハ保險醫ヲ承知シナイ爲ニ、被保險者デアッテ掛リ得ナイト云フ事例ガ斯ノ如クアルノデアリマシテ、醫師選擇ノ自由ノ爲ニ被保險者ガ非常ニ困ッテ居ル、此事實ニ對シマシテ、保險醫ノナイ處ノ被保險者ニ對シマシテハ、診療費ヲ金デ以テ御支拂ニナルト云フ規定ガアルサウデアリマスルガ、併ナガラ日本醫師會ト請負契約ヲ以テヤッテ居リマシテ、開業醫ガ居ルニ拘ラズ、日本醫師會ガ怠慢ニ依ッテ、之ヲ保險醫ニシテ居ラナイト云フ事實デアリマスレバ、政府ハ其金ヲ

負擔スベキ義務ハナイト思フ、之ヲ今日政府ハ出シテ居ルカドウカ、七圓幾ラノモノヲ拂ッテ居ルト云フコトデアレバ、其開業醫ニ金ヲ拂ッテ居ラナケレバナラヌ譯デアアルガ、其點ノ收支計算ハ、事實ハドウナッテ居ルカト云フ點ニ付テ、詳シク御説明ヲ願ヒタイト考ヘマス

○清水政府委員 先刻ノ御質問ノコトハ後デ御答ヲ致シマスガ、御話ニナリマシタ調査ト申シマスルモノハ、其内容等ガ能ク分リマセヌデゴザイマスガ、其點ハ御話ガゴザイマスレバ調べテ見タイト思ヒマス、ソレカラ只今ノ保險醫ノ御話デゴザイマシマス、是ハ先刻來モ申上ゲテ居リマシマスガ、惡イ保險醫ニ付テハ、十分ナ監督ヲスルト云フコトニシテ居リマシテ、極ク惡イノガアリマシタ場合ニハ除名處分ヲスル、保險醫ノ指定ヲ取消スト云フヤウナコトヲ致シテ居リマス、又今後ト致シマシテモ、十分斯ウ云フ點ハ取締リマシテ、保險醫方面ニ於テモ、十分健康保險ノ精神ガ分ルヤウニ致シマス、ソレト同時ニ被保險者側ニ付キマシテモ、保險ノ趣旨ガ徹底シマシマス、色々ト方法ヲ講ジテ居リマシテ、宣傳方法モ種々採用シテ居ル譯デアリマス、自然サウ云フ風ナ工合デアッテ居リマス、ト、

段々皆保險ノ思想ト云フコトガ分ッテ參リマシテ、自然的ニ改善セラレデアリマセウシ、又吾々モサウ云フ風ナ努力ヲ致シテ居リマスルカラ、自然其内ニハ制度自體カラ來ル弊害ハ、或ル程度除カレルコトニナルカト思ヒマス、ソレカラ又診療日數等ガ非常ニ長イノガアルト云フ御話デアリマシタガ、是モ偶々サウ云フコトガアリマシテ、保險醫ガ惡カッタト云フコトガアリマシタノデアリマス、隨テサウ云フノハ、先刻申シマシタヤウニ、保險醫ノ指定ヲ取消ストカ云フヤウナ方法デ、改善サレタ部分モアリマシ、ソレカラ尙ホ本質的ノ改善ガ難カシヤウナ部分ニ付キマシテハ、例ヘバ國民健康保險デ採用シテ居リマス一部負擔ト云フヤウナコトモ、採用シテハドウカト云フコトヲ研究致シテ居リマス、ソレカラ更ニ細カイ御話デアリマシタガ、只今御話ノ通り、保險醫ノ數ト云フモノニ付キマシテハ、全國ノ醫師ノ總デガ保險醫ニナッテ居リマセヌコトハ、御話ノ通りデアリマシマス、是ハ現在醫師會トノ契約ト致シマシテハ、已ムヲ得ナイ形ニナッテ居ルノデアリマス、其爲ニ自然保險醫ノ居ナイ町村ト云フヤウナモノガ出來テ參リマシタノモアリマシテ、是等ハ御話ノ通り、保險醫ガナク

テ開業醫ガアルト云フヤウナ町村モアル譯デアリマスガ、是ハ昨年健康保險ノ診療契約ヲ醫師會ト致シマシタ場合ニ、色々ト改善ノ條件ヲ附ケマシテ、ソレニ依ッテ醫師會ト協議ヲ重ネマシタ結果、サウ云フ風ナ町村ニ付キマシテハ、何トカ方法ヲ講ジヨウト云フコトニ致シマシテ、先ヅ開業醫ガアリマスルナラバ、開業醫ヲ保險醫ニシテ貰フコトニ、極力醫師會ノ方ト努メル、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ又全然醫者ノアリマセヌ町村ハ、是モヤハリ改善方法ト致シマシテハ、醫師會ト協議ノ結果、醫師會ニ於キマシテ巡回診療ヲスルカ、或ハ出張所ヲ設ケルトカ云フヤウナコトヲ致スコトニナッテ居リマス、現ニサウ云フ出張所ガ、幾ツカモウ既ニ出來テ居ルヤウナコトニナッテ居リマス、ソレカラ御話ノ療養費ノコトデアリマスガ、是ガ療養費ハ、若シモ實際ニ保險醫ニ掛ルコトガ困難ナヤウナコトニナリマシテ、法令ノ規定ニ依ッテ療養費ヲ支給シナケレバナラヌヤウナ場合ガアリマス、申請ガアリマシタナラバ療養費ヲ支給スルコトニナッテ居リマス、件數等幾ラニナッテ居リマス、サウ云フ風ナ特ニ調ベタモノ、ミデハナイト思ヒマスノデ、ハッキリシタコトハ申上ゲラレマセヌ、

唯其場合ニハ、勿論必要ニ應ジテ療養費ヲ支給シナケレバナラスト云フ立前ニハナッテ居リマス

○三宅委員 只今ノ御答辯ハ、最後ノ所ヲ

暁サレテ居リマシテ不本意デアリマスガ、政府ノ御發表ニ依ッテ三百九十三町村ニ於テ一萬八千七十九人ノ兎モ角被保險者ガアリ、五百二十二ノ開業醫ガアルニ拘ラズ、保險ノ惠ミニ浴スルコトガ出來ナイ事實ト云フモノハ、非常ニ多イノデアリマス、ソレ等ニ付テハ恐ラクハ保險金ハ取ラレテ居ルケレドモ、默ッテ居ルカラ其儘ニシテアルト云フ事例ガ非常ニ多イト思フ、斯ウ云フコトハ全クヤハリ日本醫師會ノ我儘デ以テ、其被保險者ノ利益ガ醫師會ノ爲ニ蹂躪サレテ居ルト云フ事實ノ、私ハ大キナ適例デアルト思フノデアリマス、此點ニ付キマシテハ一ツ公益的の見地カラ、醫師會ノ問題ニ付テハ最後ニ言ヒマスケレドモ、一ツ御改正ヲ願ヒタイト考ヘルノデアリマス、ノミナラズ日本醫師會ニ委シテ居ラレマスルコトニ依ッテ、醫師會ノ反幹部派ト申シマスカ、氣ニ入ラナイ者ハ、保險醫カラ除外サレテ居ルト云フ事例ハ澤山アル、私ハ日本醫師會ガ醫事衛生ノ改善ヲ圖ル爲ノ一ツノ公益法人デアッタナラバ、斯ウ云フコト

ニ付テハ、此間モ本會議デ申上ゲタノデアリマスガ、御改正ヲ願ヒタイト思フ、委員會デアリマスカラ二三ノ事例ニ付テ申シマスカ、例ヘバ三河島ニ於テ耳鼻咽喉科ヲヤッテ居ル梅野信一氏ト云フ開業醫ガアリマサガ、是ハ八王子ノ醫療利用組合ニ晝間勤メテ居ッタト云フヤウナ理由ヲ以チマシテ、昨年八月ヨリ保險醫ヲ病氣ト云フ名義デ以テ辭任届ヲ出サシタ、是ハ荒川區醫師會ノ小澤會長トノ間ニ、若シ自發的ニ辭メレバ、半年後ニ必ズ復活セシムルト云フ條件附デ辭メサシタノデアリマス、此御醫者サンハ三河島ノ勞働者街ニ居リマスカラ、健康保險ノ收入ガ月四百圓デ、全收入ノ七割ヲ占メテ居ル、若シ是ガ半年後ニ復活シナケレバ、此御醫者サンニ取ッテハ死活ノ問題デアル、然ルニ兎モ角夜ハ自分ノ醫院デアルガ、晝間八王子ノ醫療利用組合ニ出タト云フ理由ヲ以チマシテ、之ニ對シマシテ資格ヲ取上ゲルト云フガ如キコトハ、是ハ明ニ其醫師會トシテノ權限ヲ越エマシタル、公益ヲ害スル行爲デアルコトハ、明白デアルト思フノデアリマスカラシテ、此點ヲ第一ニ伺ヒタイ、第二ハ是ハ私本會議デ申上ゲタノデアリマスルガ、吉岡彌生女史ガ東京女子醫專ヲ經營サレテ、其附屬病院ヲ牛

込ニ、飯田橋ニ至誠堂病院ヲ持ッテ居ルコトハ有名ナ話デアルガ、此吉岡彌生女史ガ千歲島山ニ數年前分院ヲ御造リニナッタ、其近所ニハ被保險者ガ千人位居ル、所ガ開業醫ニハ入院設備ノアル者ハアリマセヌ、隨テ警視廳ニ於キマシテモ、被保險者ノ利益ノ爲ニ、早く保險醫指定ヲ得テ取扱ッテ貰フコトヲ、警視廳等モ要求シテ居ル、隨テ吉岡女史ハ數年前ニ分院ガ出來タ時ニ、保險醫指定願ヲシテ居ルニ拘ラズ、之ニ對シテ數箇年間北多摩郡醫師會ガ握リ潰シテ、サウシテ斯ノ如キ立派ナ設備ヲ持ッテ醫師會員デアアル所ノ吉岡氏ノ病院ヲ保險醫ニ指定シナイ、是ハ醫師會ガ惡イダケデナシニ、内務省ノ御監督ノ上ニ於テ甚ダ遺憾ガアルト考ヘルノデアリマス、例ヘバ更ニ大阪等ニ於キマスル事例ト致シマシテ、大阪ノ醫療同盟ノ下ニアル醫師デアリマスガ、桑原ト云フオ醫者サンデアリマス、是ハ醫師ノ「イデオロギー」ヲ持ッタオ醫者サンデアリマスノデ、市電ノ勞働者ガ非常ニ慕ッテ行クノデアリマス、健康保險ノ大阪市市電ノ從業員ガ非常ニ慕ッテ行クノデアリマス、之ニ對シマシテ府ノ醫師會ガ桑原氏ヲ呼出シマシテ、市ノ醫師會ト話合ヲシテ居ルガ、君ニ不正事實ガアルカラ、

自發的ニ保險醫ヲ辭メロト云フ話ガアッタガ、之ヲ拒絕シタ、サウスルト此話ヲ聞キマシテ、市電従業員ハ非常ニ憤慨シマシテ、我等ノ保險醫ヲ取ラレテハ困ルト云フコトヲ以チマシテ談判ニ行ツタ所ガ、市ノ醫師會ハ全然知ラザル所デアッテ、權限外ノ府醫師會ガサウ云フコトヲアルノハ甚ダ不都合デハナイカト云フノデ、是ガ喧嘩ニナツテ居ル事例ガアルノデアリマス、ソレカラ非醫師ノ經營シテ居ル診療所ニ付テハ、先程申シマシタ通り、工場醫局ニ對シテ保險醫ヲ指定シナイ事例ガアル、ノミナラズ醫療組合ニ對シテハ一箇所ト雖モ——岐阜縣ノ山村ニ於テ之ヲ許シテ居ルト云フコトデアリマスガ、立派ナ病院ヲ持ッテ居ルモノニ對シテ許シテ居ナイ、非醫師ノ經營シテ居ル診療所ノ數ハ、内務省ノ調ニ依レバ千七百八十七箇所アル、ケレドモ保險醫ニ指定サレテ居ルノハ百六十四箇所ダケデアリマス、斯ウ云フ筈棒ナ話ハナイノデアリマス、此點ニ付キマシテ、私ハ最モ著シキ不都合千萬ナ事例ニ付キマシテ申上ゲマシテ、此點ニ付テ公益的ノ見地カラシテ、私ハ一ツ内務省ガ監督權ノ發動ヲ御願シタイト考ヘルノデアリマス、ソレハ秋田縣能代町ノ山本醫療組合デアリマスガ、能代ニ於

キマシテハ御承知ノ通り秋田木材株式會社ガアル、此工場ノ他ニ多クノ木材工場ガアリマシテ、健康保險ノ被保險者ガ千五百人モ居ル、此被保險者ガ從來開業醫ノ被保險者ニ對スル態度ニ、非常ニ不滿ヲ懷イテ居タノデアリマスガ、此秋田木材ニ於キマシテ、昭和七年縣ノ保險所ノ命令ニ依リマシテ、同社ノ従業員四百二十人ノ健康保險ノ診斷ヲ行ヒマシタ所、百三十人ノ治療ヲ要スル「トラホーム」ガアッタ、之ニ對シマシテ郡醫師會ニ向ッテ「トラホーム」患者ヲ、健康保險ニ依ッテ直シテ貰ヒタイト云フ要求ヲ致シマシタ所ガ、非常ニ高イ診療費ヲ別ニ要求シテ、言フ左右ニシテ診療ニ應ジナイ、遂ニ工場ニ於テハ自ラ四百五十圓ノ金ヲ別ニ負擔シテ、解決シタト云フ事例ガアル、斯ノ如キ事例ノ爲ニ彼等ハ全ク憤慨致シマシテ、是デハイカヌ、ノミナラズ家族モ掛レナイノデアアルカラ、自分達ノ病院ヲ作ラウト云フコトデ、其健康保險ノ労働者ガ積立金、自分ノ金ヲ出資致シマシテ、能代ニ於ケル醫療利用組合病院ト云フモノヲ作ッタノデアリマス、サウシテ出來マシタノガ昭和八年二月一日デアリマシタ、當時組合員ハ一般市民モ入レテ三千二百八十四人デアリマシタ、ソコデ從來開業シテ居リマ

シタ明石ト云フ開業醫ヲ組合病院ニ招聘致シマシテ、被保險者ノ診療ヲヤラシタ所ガ、明石醫師ノ保險醫ノ權利ヲ保險規則第二條ニ依リマスカ、何ニ依リマスカ、之ヲ剝奪シタノデアリマス、然ルニ其町及ビ其郡ニ於キマシテハ、郡内開業醫三十二名ニ對シマシテ、醫療組合病院ノ醫師ガ十二名デアアル、ソレデ醫師ノ人口當リ分布ガ、從來同郡醫師ノ分布ノ約倍ニナッテ、醫療ノ普及ニ對シテ非常ナ貢獻ヲ爲シマスルト共ニ——其郡ニ於テハ私立病院ニ、醫者三名ノモノガ一ツ、二名ノモノガ二ツアル、然ルニ組合病院ニ於テハ、本院ニ於テ六名ノ醫師、分院診療所ニ又六名ノ醫師ヲ持ッテ居リマシテ、サウシテ郡内ニ於ケル醫療網ヲ張ッテ居ル、此一番完全ナ病院ヲ持ッテ居ル、而モ其病院ハ健康保險ノ被保險者ガ金ヲ出シテ作ッタ病院ニ對シテ、醫師會ガ是カラ其權利ヲ剝奪シタ、一番完全ナ病院ニ掛ルコトガ出來ナイ、自分ノ金ヲ出シタ病院ニ、能代ニ於ケル労働者ガ掛ルコトガ出來ナイト云フ事例ニナッテ居ル、之ヲ見ルニ見兼ねマシテ縣廳ナドニ於キマシテモ、是ハ惡イト云フコトデ、江本健保課長ガ書キマシタ覺書ノ一節ガアリマスガ、是ハ申上ゲル暇ガアリマセヌガ、斯ノ如キコトハ私ハ實ニ

甚シイ不誠意ダト思フノデアリマス、ソレデ日本醫師會ガ所謂請負契約ヲ主張サレマスル所以ト云フモノモ、醫師選擇ノ自由ト云フ見地ヲ、大義名聞トシテ掲ゲラレテ居ル、然ルニ此吉岡彌生女史ノ病院ニ於テ、非醫師ノ經營シテ居ル病院ニ於テ、又山本醫療病院ノ如キ自分ガ金ヲ出シテ作ッタ病院ニ、健康保險ノ患者ガ掛リ得ナイト云フ此事例ニ付キマシテハ、私ハ醫事衛生ノ改善ト云フ見地カラ行キマシテモ、公益法人ノヤリマス仕事ノ見地カラ行キマシテモ、斯ノ如キコトハ直シテ戴カナケレバナラス、此點ニ付テ密カニ話シマス、誰モソレハ醫師會ガ惡イカラ直サナケレバナラヌト言フ、田中養達君モソレハ惡イト言フ、中崎君モソレハ惡イト言フ、加藤君モソレハ惡イト言ッテ居ラレル、斯ノ如キ事例ヲ直サレマシテ、誠意ヲ以テヤラレルナラバ、吾ハ何モ國民健康保險ノ團體契約ニ付テ、無理ニ反對スル理由ハナイノデアリマスガ、斯ノ如キ労働者健康保險ニ於ケル苦キ事例ト云フモノガ、未ダ改善セラレズ、其儘ニナッテ居ッテ直サレナイ、何度社會局ニ陳情シタカ分ラス、何度縣廳ニ陳情シタカ分ラナイ、全國各府縣ニ於ケル醫療利用組合病院、非醫師經營ノ診療組合病院、自分

ノ金ヲ出シテ作ッ病院ニ掛レナイト云フ、

ソナ馬鹿ナコトハナイト言ッテ居ルニ拘
ラズ、斯ノ如キコトヲ今日マデ恬トシテ日
本醫師會ガ顧ミナイ、昨年社會局ニ於テ幹
旋サレマシテ、立派ナ設備ヲ持ッテ者ニハ
ヤラセヨウト云フ覺書ヲ出サレマシタケレ

ドモ、其後一ツトシテ之ヲヤッテ居ル事實
ガナイ、私ハ被保險者ガ此病院ハ良イト考
ヘマスナラバ、醫師選擇ノ自由ノ見地ニ

立ッテ、一面ハ内務省ガ此機會ニ醫師會ニ
話ヲサレマシテ、若シ聽カナカッタナラバ、

公益ノ爲ニ一ツノ權限ノ發動ヲ以チマシテ
デモヤッテ貰ヒタイ、斯ノ如キコトヲ直サナ

ケレバ、國民健康保險ト云ヒ或ハ將來ノ「サ
ラリーマン」健康保險ニ於テモ、皆ク行ク

譯ハナイト思ヒマス、此點ニ付テ一ツ御答
辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○廣瀨政府委員

只今醫師會ト保險醫トノ
關係ニ付テ御話ヲ承リマシタガ、當局ト致シ

マシテハ、常ニソレ等ノ點ニ付テハ醫師會
トノ契約ノ際モ、色々注意ヲ致シテ居ルノ

デアリマス、感情ニ互ッテ不當ノコトノナイ
ヤウニ、又實際必要デアル所ニハ、出來ル

ダケ此病院或ハ醫療利用組合等ニ付テモ、
之ヲ利用スルヤウニト云フコトヲ獎メテ居

リマシテ、御話ノヤウニ昨年ハ特ニ此點ニ

付テ非常ニ強調致シマシテ、醫師會ニ契約

ノ際ニハ十分ニ注意ヲ致シタノデアリマ
ス、併シ尙ホ御話ノヤウナ點ニ付キマシテ
ハ、公益上非常ニ必要ナ點ト認メマスカ
ラ、今後十分ニ注意ヲ致ス積リデアリマ

○三宅委員

尙ホ私ハ此際其點ニ付キマシ
テ、勞働者健康保險ニ付キ、日本醫師會ノ

ヤッテ居リマス事例ニ付キマシテ、公益ノ見
地カラシテ監督權ノ御發動ヲ願ヒタイト考

ヘル點ガ、二三アルノデアリマス、例ヘバ
保險醫カラ冥加金ヲ取ッテ居ルト云フ事例

ガアル、是ハ査定ノ事務費トシテ、數十萬
圓ノ金ガ内務省カラ出テ居ルノデアリマス

ガ、此ニハ保險醫カラ取ッテ居ル、是ハ取消
シマシタ事例デアリマスカラ、死屍ニ鞭ツ

如キモノデアリマスガ、一例トシテ申上ゲ
マスレバ、栃木縣醫師會ガ、百圓ノ健康保

險診療費ニ對シテ——單價ガ安イ——ト
言ッテ居ル其診療費カラ、健康保險醫カラ五

圓ノ冥加金ヲ取ル、是ハ會館建設費、飲食
費、交際費等ノ名目ニ依ッテ之ヲ取ッテ居

ル、是ハ喫驚致シマシテ、日本醫師會カラ
内ケ崎書記長ノ名ヲ以テ、取消ヲサレタト

云フ事例ガアルノデアリマス、是ハ取消サ
レマシタカラ申シマセヌケレドモ、今日現

ニヤッテ居ル事例ガ、大阪府堺市醫師會ニ於

テハ、保險醫カラ五分ノ冥加金ヲ取ッテ居
ルノデアリマス、但シ診療費カラ天引ヲシ
テハ工合ガ惡イカラ、後カラ集金ニ行キマ

シテ、自發的寄附ノ形式ニ依ッテヤッテ居ル
ノデアリマス、ソレヲ何ニ使フカト言フト、

事務費ガ足ラナイト言ッテ居ルガ、皆飲食費
ニ使フノデアリマス、醫師會ノ會計ト健康

保險ノ會計トガ別ニナッテ居ッテ、醫師會ノ
會計カラ二千圓ヲ健康保險ノ會計ニ事務費

補助ノ形デ助成金ヲ出シ、保險醫ヨリ五分
ヅツ天引シタ金ハ、醫師會會計ヘ寄附ト云

フ名目デ入ッテ居ル、其額ガ三千圓ト云フコ
トニナッテ居ル、差引千圓ト云フ金ハ堺市醫

師會ニ於キマシテ、ヤハリ宴會費ニ使ッテ
居ルノデアリマス、之ヲ昭和十二年度ニハ

三分位ニ減ラス積リダト云フコトヲ、堺市
醫師會長ガ自ラ言ッテ居ルト云フコトヲ、私

共ハ耳ニシテ居ル、岐阜ニ於キマシテモ五
分天引シテ居ル、自發的寄附ダト云ッテ所

ガ、査定ニ於キマシテ一寸手心ヲ加ヘラレ
マスレバ、非常ニ痛イノデアリマスカラ、

ソレハ仕方ガナイ、皆取ラレルノデアリマ
ス、是ガ日本醫師會ヲ統制シテ居ル所謂實

力ナノデアル、大阪府三島郡ニ於キマシテ
ハ一點一錢ヲ天引シテ居ル、是ハ一點ニモ

ナラヌデセウケレドモ、約一割近イ天引デ

アル、是ハ驚クベキ事例デアアル、斯ノ如キ
コトハ私共ハ公益ノ見地カラ言ヒマシテ

モ、甚ダ不都合ダト考ヘルノミナラズ、隨テ
團體契約ヲ國民健康保險デアルコトニナリ

マシテ——勞働者ノ健康保險ハマダ勞働者
ニ一部分デアアルカモ知レヌガ、國民健康保

險ガ全國ニ普及致シマシテ、之ニ對シマシ
テ斯ウ云フヤウナ査定ヲヤラレマシタリ、

或ハ醫師會ガ氣ニ入ラスカラト云ッテ、簡單
ニ除名等ヲヤリマス際ニ於キマシテハ、重

大ナ結果ヲ來スト思フノデアリマス、例ヘ
バ今日刑法ノ罪ニ依リマシテ、醫者ガ罰セ

ラレマシタ場合ニ於キマシテモ、醫療ヲ禁
止スルト云フノハ三箇月位デアアル、然ルニ

醫師會ガ健康保險醫ヲ除名スル場合ハ、ソ
レモ勞働者ノ健康保險ダケナラ宜イケレド

モ、是ガ國民健康保險ニナッテ全部ニナリ、
是ガナケレバ喰ッテ行ケナイト云フ時ニ、簡

單ナコトデ除名サレテ、刑法ノ罪ニ於テモ三
箇月位デ済ムノヲ、何時マデモ復活サレナ

イ、賄賂ヲ持ッテ行カナケレバ、復活出來ナ
イト云フコトニナリマシタナラバ、如何ナ

ル弊害ヲ齎スカ分ラナイ、私ハ斯ウ云フ見
地ニ基キマシテ、勞働者健康保險ヲ最モ惡

ノ關與デアッテ、此間モ申シマシタケレドモ、日本醫師會ト云フモノハ、今日ニ於キマシテハ、我國ノ醫事衛生ノ發達ニハ何等ノ貢獻ヲ爲シテ居ラナイ、ノミナラズ害ヲ爲シテ居ル、現ニ私共ハ醫療組合ノ如キ進歩的施設ト云フモノハ、例ヘバ國民健康保險等ニ付キマシテモ、或ハ「サラリーマン」健康保險等ニ付キマシテモ、進ンデ之ニ協力致シマシテ、是ガ成立ヲ熱望スルノデアリマス、然ルニ醫師會ハ其既得權ノ擁護ト云フ立前ニ於テ、新シイ仕事ニハ總テ反對スルト云フ、此一點カラ考ヘマシテモ、私共ハ日本醫師會ノ改組ヲ命ジ、權限ヲ縮小シナケレバ、日本ノ醫事衛生ノ發達ハ爲シ得ナイト考ヘルノデアリマシテ、此點ニ付

キマシテ、此間本會議ニ於キマシテハ、大臣ハ細カイ御答辯モナカッタノデアリマスカラ、一ツ此席ニ於キマシテ政府委員カラデモ宜シウゴザイマスガ、御答辯ヲ願ヒタイト考ヘルノデアリマス

○廣瀨政府委員 醫師會ニ關スル色々ナ點ニ付テ只今御話デアリマシタ、マダ色々細カク伺ハナイト分ラナイコトモアルカモ分リマセスガ、併シ何レニ致シマシテモ、公益上誤ッテ居ルト云フコトガアリマスナラバ、ソレハヤハリ此醫師會ト吾々ガ保險ニ

付テ契約スルニ際シテハ、十分ナ注意ヲシ、又監督スベキ事項ハ十分ニ監督致サナケレバナラヌト思ッテ居リマス

○三宅委員 次ニ私ハ是等ノ労働者健康保險ニ於ケル貴重ナル資料ヲ一ツ基礎ニ致サレマシテ、國民健康保險其他ノ法案ニ付キマシテ、御運用ヲ願ヒタイト考ヘルノデアリマス、ソコデ國民健康保險ニ關スル質問ニ入りタイト考ヘルノデアリマスガ、其前ニ國民健康保險ト労働者健康保險トノ違ヒト致シマシテ、國民健康保險ハ家族全部ニ保險ノ恩惠ガ及ブノデアリマス、労働者健康保險ハ本人一人デアリマスノデ、此點ニ付キマシテ、今日低賃銀ニ悩ンデ居リマスル日本ノ労働者ノ實情ト致シマシテ、ヤハリ家族全體ニ範圍ヲ擴ゲラレルコトガ必要デアラウト考ヘルノデアリマス、此點ヲ家族ニ擴大サレル、即チ労働者健康保險ヲ家族ニ擴大サレル所ノ方針ガアルカドウカト云フコトニ付テ、先ヅ第一ニ伺ッテ置キタイト考ヘルノデアリマス

○廣瀨政府委員 現在ノ健康保險ニ於キマシテハ、労働者ダケデアリマシテ、其家族ニ及ンデ居リマセス、此點ニ付キマシテハ、社會局ト致シマシテハ是非家族マデ擴大シタイト云フコトニ付キマシテ、此健

康保險ノ其他ノ色々ナ點ヲモ改正スルト共ニ、家族マデ擴大スル見込ヲ以テ研究ヲ進メテ居リマス

○三宅委員 ドウゾ是ハ一ツ至急實現スルヤウニ御取計ヒヲ願ヒタイト思フノデアリマス、次ニ私ハ今回ノ國民健康保險法ニ付キマシテ、本會議ニ於テ一寸觸レタダケデ、内容ニ付テハ申上ゲナカッタノデアリマスガ、重大ナル問題ト考ヘル點ヲ四五御質問致シタイト思フノデアリマス、第一ハ醫療費一部負擔ノ問題デアリマス、此醫療費一部負擔ノ問題ニ付テ、内務省ハ弾力性ヲ付ケラレマシテ、大體地方ノ自治ニ委セルト云フ立場ヲ執ッテ居ラレルノデアリマス、併ナガラ私ハ此醫療費一部負擔ノ問題等ニ付キマシテモ、指導ノ方針ダケハ明白ニシテ置キマセスト、私共ハ殆ド效果ガナイコトニナルト思フノデアリマス、労働者健康保險ニ於ケル醫療ノ濫用ヲ防止スル、其經驗カラシテ一部負擔ト云フコトヲ御考ニナツト思フノデアリマスガ、此一部負擔ガ越ケ谷順正會等ニ於キマシテハ、入院等ノ時ニ五割、普通ノ場合ニ二割トナッテ居リマス、斯ノ如キモノハ、何シロ保險ガ強制徴收デアリマスカラ、ヤハリ保險金ノ掛ケ方ガ非常ニ公平デナイト、必ズ不平ガ出

テ來ル、是ハ本會議ニ於キマシテ、中井君カ誰カ言ッテ居ッタガ、反對ノ爲ノ反對ノ演説ヲヤッテモ、一ツヤニツ當ル所ガアルト思ッテ、其點ハ私ハ感心シタノデスガ、兎モ角強制徴收ガ出來ルノデアリマスカラ、平素強制徴收ヲサレル、賣藥カ、若クハ山ニアリマス「ゲンノシヤウコ」トカ、「センブリ」デ以テ濟マシテ居リマス貧農ノ立場カラ考ヘルト、病氣デナイ時ニ幾ラカデモ取ラレルト云フコトハ、相當ノ苦痛デアリマス、ソレデモ其苦痛ヲ忍ンデ拂ッテ置ケバ、病氣ニナツタ時ニハ現金デナクテモ掛レルト云フコトデナイト、私ハ貧農ニ對スル、零細農ニ對スル恩惠ハ及バナイト思フノデアリマス、隨テ少クトモ私ハ水藥、散藥等ヲ一日カ二日貰フ程度ノモノハ、二割程度取ラレテモ差支ナイト思フノデスガ、唯、入院デアルトカ、手術トカ云フ時ニ對シテ、本人ノ一部負擔ヲ五割ニスルコトニナツタナラバ、是ハ私ハ非常ナ弊害ガ及ブト思フノデアリマス、ノミナラズ是ハ醫師會トノ契約ニ於キマシテ、現在ノ醫師會ノ藥價規定、若クハ手術規定ト殆ド變リガナイト云フコトニナツテ居リマスレバ、是ハ五割負擔ヲサレルト、今ノ醫療組合ニ掛ルト同ジヤウニ取ラレルカラ、保險ノ妙味ハ殆ドナクナル

ノデアリマス、デアリマスカラ、私ハ一部
負擔ヲ指導サレマス方針ニ付テ承リタイ
ト思フノデアリマスガ、時間ガアリマセ
カラ、私ハ私ノ意見ヲ先ヅ申上ゲテ、當局
御意向ヲ聽キタイト思フノデアリマス、本
人負擔ハ通院ノ際ニ於ケル藥價負擔ト致シ
マシテハ、ヤハリ最高ニ割、ソレカラ入院、
手術等ノ如キ多額ニ要シマスルモノニ付テ
ハ、最高一割、若クハ五分ト云フ程度ニ一ツ
御止メヲ願ヒタイ、是ハ保險經濟ノ上カラ
言ヒマシテモ、重大ナ問題デアリマスガ、
效果ヲ舉ゲル意味ニ於テハ、ドウシテモ必
要ナコトダト思ヒマスノデ、醫料ノ一部負
擔ノ問題ハ、サウ云フ點ニ原則ヲ置イテ行
クコトガ、私ハ民衆ノ怨嗟ヲ受ケズ、民衆
ニ歡喜ヲ以テ迎ヘサセル爲ニハ必要ナリト
考ヘルノデアリマス、此點ニ付テ如何ナル
方針ヲ執ラレルカト云フコトヲ、伺ッテ置キ
タイト思フノデアリマス

○清水政府委員 御答致シマス、只今御話
ノ一部負擔デアリマスガ、是ハ大體ノ方針
ト致シマシテハ、只今御話ニナリマシタ療
費ノ二割程度ニ致シタイト思ッテ居リマス、
ソレカラ御話ノ入院、手術等多額ノ費用ヲ
要シマス場合モ、ヤハリ同様ニ二割程度ニ
致シタイト思ッテ居リマス、ソレカラ尙ホ貧

農ニ付テ御話ガアリマシタガ、貧農等ニ付
キマシテハ、資力ニ應ジテ一部負擔ノ減額
ト云フコトモ宜シカラウト思ッテ居リマス、
ソレカラ尙ホ實際ノ場合ト致シマス、一
部負擔ヲ出スコトニ困難ヲスル場合モアラ
ウト思ヒマスノデ、或ハ場合ニ依ッテハ後
デ纏メテ納メルトカ、或ハ物納ニスルトカ
云フヤウナコトモ認メテ宜シカラウト思ヒ
マス

○三宅委員 第九條ヲ活サナケレバイケナ
イト云フ私共ノ考モ、ヤハリサウ云フ所カ
ラ出デ來ルノデアリマス、三百ヤ四百ノ村
ニ於キマシテ、後カラ納メタラ宜シイナン
ト言ッテ所ガ、オ醫者サンノ方ヘ拂フモノハ
サツサト拂ハナケレバ或ル程度マデ現狀ノ
醫師會ノ藥價規定ヲ下ゲテ戴クコトガ不可
能ニナリマス、醫師ガ民衆ヲ搾取スルト云
フ立場デナク、醫師モ宜イ、民衆モ宜イト
云フ立場デ保險契約ヲスル時ニ、サウ云フ
際ニ於テ私共ハ産業組合ガ持ッテ居リマス
ル資力ヲ利用致シマシテ、出來秋ノ米等ヲ
當ニシテ、ドン／＼醫者ノ方ニ拂ハシメテ
ヤル、其代リ單價ニ付テハ安クシテ呉レナ
ケレバ困ル、勞働者ノ方モ樂ニシテヤルト
云フ點ガ非常ニ必要ダト考ヘルノデアリマ
シテ、社會局ガサウ云フ方針デ、サウ云フ

痒イ所ニ手ガ届クヤウナ方針デ行クナラバ、
何ガ故ニ之ヲ協同組合全體ニ代行サセルガ
宜クナイト云フ其御信念ガ分ラナイノデア
リマス、是ハ外ノ問題デアリマシテ、後カ
ラ纏メテ申上ゲマス

第二ハ保險金負擔方法ニ關スル問題デア
リマス、ソコデ只今醫療費本人負擔ノ限度
ニ付テ、私ハ拜聽致シマシテ大變安心シタ
ノデアリマスガ、保險金負擔ノ方法ニ付キ
マシテモ自治ニ任セルト云フデモ、日本ノ
農村ノ實情ニ於テ、或ル場合ニ於テ宜イカ
モ知レマセヌガ、動モスルト非常ニ危險ナ
狀態ヲ來スノデアリマス、ソレハ私ガ先程
申シタヤウニ「ゲンノショウコ」「センブリ」
デ堪ヘテ居ッタ、秋拂ノ富山ノ配置賣藥デ堪
ヘテ居ッタノガ、兎ニ角強制徴收デ殆ド同
ジヤウニ取ラレル、二十五圓ニ付テ補助金
ガ五圓、醫師會ノ藥價規定ヲ負ケサセテ五
圓、七圓減ルトシテ、ソレヲ平等ニ取ラレ
テハ堪ラナイ、平等ニ取ラレル意思ハナイ
ヤウデスケレドモ、私ハ此點ニ付キマシテ、
ヤハリ相當ニ指導ニ付テ徹底ヲ期セラレヌ
ト云フト、飛ンデモナイコトニナル、例ヘ
バ病氣ニナルノハ同ジダトカ、オ前ノ所ハ
餓鬼ガ多イカラト云フノデ、貧富平等ニ近
イヤウナ振當ヲスル村ガ屢アル、人頭稅的

ナ取立ヲスルコトガ屢アル、是ハ越ケ谷
ニ於テハ非常ニ段階ヲ付ケテ居ラレルコト
ハ、實ニ面倒デアアルケレドモ、納稅組合ノ
實體ニ立タレテ良ク行ッテ居ルト考ヘルノ
デアリマシテ、此點ハ十分ナ段階ヲ付ケテ
戴キタイ、ノミナラズ農村ニ於ケル實情カ
ラシ申マシテ、都會ニ於キマシテハ勞働者
ガ百分ノ三、資本家ガ百分ノ三、場所ニ依
テハ資本家ガ全額負擔ヲシテ居ル場所ガア
ル、農村ニ於テ小作、地主ノ關係ニ於テハ、
ヤハリ是ガ一種ノ請負勞働者ノヤウナ關係
ニナッテ居リマシテ、勞働者ト資本家ノ關係
ニ稍、似テ居ル、隨テサウ云フ點ニ付キマシ
テモ、勞働者ノ健康保險トノ比率カラ考ヘ
マシテ、私ハ負擔ノ點ニ付キマシテ、一ツ
ノ均衡ヲ圖ッテ、有產階級ガ相當ニ喜ンデ餘
計負擔スル、而モ有產階級ニ任意加入ト云
フコトデナク、總テ入ル、不在地主ニ付テ
モ、小作人ヲ使ッテ其村カラ相當收穫ヲ取
テ居ルノダカラ、不在地主モ加入シテ貰ッ
テ、不在地主ハ都會ノ資本家ト同ジヤウニ
相當ニ負擔スルト云フコトガ必要ダト思
フ、斯ウ云フ點ニ付テ一ツ適切ナル指導ヲ
ナサラヌト、殆ド平等ニ近イ掛金トナッテ
一番上ノ者ハ月三圓ノ保險金デ、一番下ノ
者ガ月一圓五十錢ノ掛金ト云ブコトニナッ

タラ飛ンデモナイ、先程私ノ戴キマシタ負擔事例ニ於テハ、其點ガ相當考慮サレテ居ルコトヲ見マシテ、私ハ安心シテ居ルノデアリマスケレドモ、此點ノ公平性ガナイト云フト、貧農怨嗟ノ的ニナル危險性ガアル、貧農ト雖モ近代醫療ニ掛リタイト云フコトハ分リ切ッテ居ル、ケレドモ金ガナイカラ、ソレヨリハ「センブリ」デ片附ケタ方ガ

宜イト云フ者ガアル實情ヲ考慮シナケレバナラス、デアルカラ其點ニ付テ指導力ガ自治的デアレバアル程、指導力ガ非常ニ確ッカリシテ居ラナケレバナラスノデアリマシテ、貧農ノ負擔ノ限度ヲ超エナイ、貧農怨嗟ノ的トナラザルコト、不在地主カラモ必ズ取ルコト、金持ダケガ組合員ニナラヌト云フコトヲ改正スル等ノ指導方針ニ付テ、如何ナル考ヲ持ッテ居ラレルカ、一ツ内務省カラ伺ヒタイノデアリマス

○廣瀨政府委員 保險料ノ問題ニ付テハ當局ニ於キマシテモ、ヤハリ相當ナ段階ヲ付ケマシテ、サウシテ貧困ノ者ニハ少ク、富裕ナ者ニハ比較的多少負擔セシムルト云フ大體ノ方針ヲ決メマシテ、十分ニ指導ヲ致ス積リデアリマス、尙ホ此種ノ保險料ノ徵收ニ關スル規定、其按配ヲドウスルカト云フヤウナコトニ付キマシテハ、ヤハリ規定

等ニ定メマシテ、知事ノ承認ヲ受ケルト云フコトニ致シマシテ、過チナキヲ期シタイト思ヒマス、又有產者等ニ付キマシテモ、農村ノ事情等ヲ見マシテ、出來ルダケ入ッテ貰ヒタイ、詰リ健康保險ノヤウニシテ入ッテ貰ヒタイト云フ希望デアリマス、唯強制ハ有產者ニ付テハ社會保險ノ性質上避ケル積リデ居リマス

○三宅委員 次ニ此制度ガ屢、内務省ガ言ッテ居ラレル通り、醫者ニ對スル生活ノ安定ニナル、是モ一ツノ大キナ效果デアル、併ナガラ兎モ角農村カラ見マシテ、疾病ニ依ル所ノ貧困ヲ除去シヨウト云フコトガ、社會保險タル本制度ノ目的タルコトハ明白デアル、結果ニ於テ醫師ガ民衆ヲ搾取スル機關ニナリマシタノデハ、是ハ重大ナルコトニナルト思フノデアリマス、其點ノ用意トシテ團體契約ニ斷固トシテ反對サレテ居ルコトハ、私共ハ分ッテ居ルノデアルガ、尙ホ其點ニ付テ私ハ其指導方針ヲ伺ッテ置ク必要ガアルト思フノデアリマス、第一ハ何ト申シマシテモ、農村ニ於ケル醫療費不拂、多イ所ハ七割、八割、少イ所デモ二割、三割アル、醫師會ノ調べタ岡山縣勝田郡、是ハ五割ト云フ未拂ガアル、併シ醫者ハ飲倒シ患者ガアッデモ、ソレヲ見込ンデ醫療費、

藥價規定ヲ決メテ居ル、ダカラ私ハ必ズ勞働者ノ健康保險ノ單價ノ程度マデ下ゲロト云フノデアリマセヌガ、假ニ五割ノ不拂ガナクナルト云フコトニナルト、醫者ハ收入ガ倍ニナル、醫師會カラ出シタ「パンフレット」ニ依ルト、收入ハ倍ニナッデモ仕事ガ多クナッテ叶ハヌト言フガソレハサウハナラナイ、ソレト共ニ私ハ本會議デ申上ゲタガ、賣藥デアルトカ、或ハ其地方ニ於ケル藥草等ニ依ッテ辛抱シテ居リマシタ農民諸君ガ、藥ニ醫者ニ掛レルト云フコトデ早ク行ク、是ハ大キナ效果デ、越ケ谷ニ於テ傳染病ガ十分ノ一ニ減ッタト云フコトハ、是ハ私ハ好イ事例ダト考ヘテ居リマス、患者ガ殖ヘル、醫者ノ不拂ガナクナル、醫者ノ收入ガ殖ヘル、從ッテ醫者ノ生活ガ安定スル、ケレドモ今ノ藥價規定デ決メルト云フコトニナルト、飛ンデモナイコトニナル、ダカラ相當ノ程度ニ於テ醫師會ノ藥價規定ヲ下ゲテ貰フコトガ必要ダ、而モ藥價規定ヲ下ゲタカラト言ッテ、醫療内容ヲ低下サレテハ困ルカラ、醫療内容ヲ低下セナイデ、而シテ醫師ノ藥價規定ヲ下ゲテモ醫師モ宜イ、農民モ之ニ依ッテ助カルト云フ限度ニ於テ、相當ノ御指導ヲ爲サルコトハ極メテ必要デアルト思フノデアリマス、其點ニ付テドノ

邊ニ一體目安ヲ置イテ居ラレルカ承リタイノデアリマス、私ハ此點ガ醫療利用組合ガ一ツノ標準ヲ作り、醫療利用組合ガ良心ノアル治療ヲシテ、大體ニ於テヤッテ行ケル程度、大體ニ於テ開業醫モヤッテ行ケル程度ニナルト思フノデアリマシテ、當局ハ一體下ノ邊ニ標準ヲ置イテ指導サレル方針デアルカ、醫師ガ民衆ヲ搾取スルヤウナ結果ニナラスヤウニスル爲ニハ、如何ナル用意ヲ持ッテ居ラレルノデアルカ、此點ニ付テ一ツ御答辯ヲ承リタイ

○廣瀨政府委員 藥價ニ關スル問題デアリマスガ、御説ノヤウニ此保險ガ圓滑ニ行ハレマスレバ、患者モ殖ヘル、隨テ又不拂ト云フコトモナクナル、隨ヒマシテ醫師トシテハ其點ハ非常ニ宜イコトデアルト思ヒマス、ソコデ藥價ノ問題ニナリマシテ、藥價ヲドウノ程度ニ下ゲルカト云フコトニ付テノ御質問デアリマスガ、是ハ私モ何時カ此會議デ申上ゲマシタヤウニ、ソレハ縣醫師會ノ規定モ參照シナケレバナラス、又永年ソレ等ノ規定ヲ根據ニシテ、地方々々ニハ慣習モアルカラ、是等ノ地方ノ事情モ參照シテ、合理的ナ藥價ヲ縣廳ニ於テ監督シテ決メル、斯ウ云フヤウナコトニ進ム積リデアリマス、隨ヒマシテ藥價ニ付テ何割トカ何

トカ云フコトヲ、豫メ御話スル譯ニハ參リ
マセヌガ、是ハヤハリ縣ニ於テ監督官モ配
置セラレル譯デアリマスカラ、地方ノ事情
ヲ參酌シテ、合理的値段ヲ決メタイ、サウ云
フ方法ニ依リマシテ、所謂搾取ノヤウナ問
題ノ起ラナイヤウニ、十分ナ注意ヲ致ス積
リデアリマス

○三宅委員 私ハ此際伺ッテ置キタイノデ
アリマスガ、地方ヘ配置サレマスル監督官
等ノ位置ハ、一體ドレ位ナモノデアルカ、
私ハ地方ニ於ケル醫師會ノ勢力ハ非常ニ強
イモノダト思フ、必ズ醫師會ノ會長ナリ幹
部ガ縣會議員ニ入ッテ居リ、或ハ縣知事ト飲
ミ友達デアル、大體ニ於テ縣知事ノヤウナ
所マデ行クト——社會局出身トカ特殊ノ人
ハ別デアルガ、醫療ノ問題ニ付テハ殆ド興
味モ持タナイシ、無見識デアル、縣知事ノ
仕事ガ勤モスレバ外交官ノヤウナ仕事ニ
ナッテシマツテ、飲ムコトガ仕事デアツテ、料
理屋デ、外交折衝デ飲ムコトバカリヤル、サ
ウ云フコトデ府縣ノ衛生課長ガヤハリ醫師
會ト屢々機會ガアル、サウ云フ點ニ於
テ、民衆ノ利益ヲ擁護スル立前ヲ執ラナ
イ、私ハ社會局ガ國民健康保險ヲ普及サレ、
是ガ效果ヲ舉ゲルニ付テハ、餘程氣骨ノア
ル、而モ其任免ニ於テハ本省ガ扱ハレルト

云フ役人ヲ配置サレテ、是ガ鐵筋トナツテ、
民衆ノ友トナツテ、國民大衆ノ友トナツテ、正
義ノ友トシテヤル、時ニ依ッテハ知事トモ喧
嘩スルト云フ位ノ氣魄ヲ持ッタ官吏ヲ配置
セラレナケレバ、效果ガ舉ラヌト思フノデ
アリマス、其點ニ付テノ御用意トドレ位ノ
者ヲ配置サレル積リデアアルカト云フコト
ヲ、一ツ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○廣瀨政府委員 只今地方官ノ御話ガアリ
マシタガ、決シテ地方官ハ飲ンデバカリ居
ルト云フモノデハナイノデアリマス、決シ
テ知事ハサウ云フモノデハナイト私ハ信ジ
テ居リマス、今回派遣致シマスル者ハ技
師、是ハ醫者デアリマス、ソレカラ屬等ヲ
出シマスガ、併シ其所屬ハ社會課長ノ下ニ
屬シマス、學務部長ノ下、知事ノ下ニ屬ス
ルト云フ組織ニナツテ居リマス、サウシテヤ
ハリ本當ニヤル平素ノ仕事ノ中心ハ社會課
長デアリマス、其下ニ醫師ガ技師トシテ働
ク、尙ホ屬ガ働ク、大キナ問題ニ付テハ長
官ノ指揮ヲ受ケテヤルト云フコトニナリマ
ス、常ニ地方官ハ縣民ヲ友トシテ縣民ノ爲
ニ働クモノデアリマス

○三宅委員 私ハ今日ノ地方ノ社會課ト云
フコトニ付キマシテハ——是ハ全部ノ例デ
ハアリマセヌ、先刻ノ知事ニ付テモ、全部
ノコトヲ申上ゲタノデアリマセヌカラ、誤
解ノナイヤウニ願ヒタイト思ヒマスガ、全
ク社會課ト云フモノハ、地方ノ豫算ニ於ケ
ル千分ノ何ト云フ豫算シカ取ッテ居ナイ、全
ク伴食ノ伴食ノ伴食デアリマシテ、ソレハ
社會課ガ實際ニ於テハ方面委員會ノ指導ニ
於テモ不完全デアルシ、氣魄ヲ以テ社會政
策ヲ斷行スル推進力ハ、市役所ニ於ケル社
會課モ、縣ニ於ケル社會課モ實ハナイノデ
アリマス、内務大臣モ丁度居ラレルノデア
リマスカラ、此點ニ付テ私ハ今日以後、我
國ノ政策ト云フモノガ勞働政策ニ於キマシ
テモ、農民政策ニ於キマシテモ、醫療政策
ニ於キマシテモ、單ナル醫療技術、農業技
術ノ開發ト云フ問題デナシニ、分配ノ問題、
保險ノ問題、福祉ノ問題等社會課ヲ中心ト
シタモノガ非常ニ必要デアルト思フノデア
リマシテ、社會課ノ使命ト云フモノヲ非常
ニ重大ニ評價シテ居ルノデアリマシテ、此
問題ニ付テハ御考慮願ヒタイト思フノデア
リマス、其次ハ最モ重大デアリマス第九條
ニ關係シマスコトヲ、御質問致シタイト考
ヘルノデアリマス、ソレカラ私ハ國民健康
保險組合ガ成功スルカシナイカハ、國民健
康保險組合ノ經營ノ主體ヲ何處ニ置クカト
云フコトニ岐レ路ガアル、保險組合經營ノ

主體ニ關スル點デアリマス、保險ガ成果ヲ
舉ゲルカ舉ゲヌカニ付キマシテハ、勞働
者健康保險ヲ見ルマデモナク、基本的條件
トシテ、相互扶助ノ精神ニ燃エタ自主的組
合ヲ基礎トスルコトガ、基本條件デアリマ
ス、即チ組合員ノ共同精神ガ缺如セル保險
組合ハ「ナンセンス」ニ過ギナイ、ガカラ勞
働者ノ健康保險組合ノ者ハ、病氣デナイノ
ニ病氣ダト言ッテヤッタリ、醫者ノ食潰シニ
ナッテシマッタリシテハ問題デナイ、ガカラ
組合ニ對スル共同精神ガ缺如シテハイカ
ス、其意味ニ於テ、私ハドウシテモ國民健
康保險組合ノ基礎ト云フモノハ、外國ニ於
イテモ訓練アル組合、即チ勞働組合、農民
組合、或ハ共濟組合、或ハ其他ノ共同組合ノ
基礎ノ上ニ立ッテ、始メテ成功シテ居ル實例
ヲ忘レテハイカヌト思フ、日本ノ國ニ於キ
マシテハ、勞働組合ハ全面化シテ居ラナ
イ、農村ニ於テモ農民組合ハ全面化シテ居
ラナイ、共濟組合ガ普遍化シテ居ラナイ、
隨テ私共ハ農村ニ於テ產業組合、漁業組合、
都市ニ於テハ工業組合、商業組合等ノ共同
組合ヲ基礎トサレルコトガ必要デアルト云
フ議論ヲシテ居ルノデアリマス、是ハ私ハ
此保險組合ガ成功スルカシナイカノ「キー・
ポイント」ダト思フノデアリマス、例ヘバ越

ケ谷ノアレガ、ア、云フヤリ惡イ所デ成功シテ居ルノハ、是ハ税金ノ組合、納税組合ト云フ互助組合ガ一ツアツタカラ、此基礎ノ上ニ立ツタカラ旨クヤレタノダト思フ、社會局ノ御指導モアルガ、ソレガ旨ク行ッテ居ルノハ、サウ云フモノ、爲デアルト思フ、勞働者健康保險ニ於テ旨ク行ッテ居ルノハ、工場、鑛山等ニ於テ、此勞働者共濟組合ノ訓練ガアル所ニ於テハ旨クヤレタ居ルガ、此訓練ナキ所ニ於テハ健康保險ト云フモノハ無駄ナモノデアルト云フコトハ、御認メ願ヘルト思フ、隨テサウ云フ意味ニ於テ、私ハ第一ニヤハリ保險ヲ成功サセル爲ニハ、新シク組合ヲ作ルト云フノデヤナクシテ、

互助的訓練ノアル基礎ノ上ニ御立ニナルト云フコトガ、保險組合ヲ發展サセル意味ニ於テ絶對必要デアアル、産組トカ何トカト云フテ世間デハ批評シテ居ルガ、私共今日産業組合ガ缺點ガアツテ、本會議場デモ、農地法等ニ於テ産業組合ノ攻撃ヲシタガ、此際ヤハリ共同組合ニ基礎ヲ置カナケレバナラヌト云フコトヲ申シマスノハ、保險組合ガ成功スルカシナイカ、此制度ガ本當ニ無産者ノ爲ノ制度ニナルカナラヌカ、不徳ナ醫師ト不眞面目ナ被保險者ノ爲ニ、保險經濟ガ攪亂サレテ、眞面目ナ被保險者ガ不利

ナ所ニ立タサレルト云フコトニ付テ、私ハ共同組合ヲ基礎ニ置カナケレバナラヌト云フ堅キ信念ノ下ニ、第九條ニ對シテモット廣イ解釋ヲ取ラナケレバナラヌト思フ、併ナガラ是ハ色々都合デ葬ラレルト云フ危険性ガアルナラバ、不満足ナガラ第九條ヲ狹イ解釋ニ依ッテ、原案ヲ通サナケレバナラヌト云フノデ、九條ヲドウシテモ存置シナケレバナラヌト云フコトヲ主張スルノハ、其點デアリマス、其點ニ付テノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○廣瀨政府委員

此保險ノ制度ニ付キマシテ、保險組合ヲ何處ニ置クカト云フ問題ニ付テ今御話デアリマスガ、是ハ私共ハヤハリ地方ノ實情ニ應ジテ保險組合ヲ作ル、町村ヲ單位ニシテ作ル、町村ノ自治ヲ單位ニシテ作ル、即チ隣保相扶ノ觀念ハ町村ニモ十分ニアアル、町村自體ガ既ニ隣保相扶ノ觀念ニ於テ出來テ居ル、其町村ヲ單位トシテ作ルト云フ立前デ進ンデ居ルノデアリマス、固ヨリ産業組合モ隣保相扶ノ觀念デアリマセウガ、併ナガラ此町村ト云フ方ガ尙本根的、沿革的ニ隣保相扶ノ觀念デ生レテ居ルモノデアアル、此町村ヲ單位トシテソコニ特別ニ組合ヲ作ル、サウシテ大體ノ立前トシテハ、町村長ヲ組合長ニシテ進ミタイ、

斯ウ云フ譯デアリマス、隨テ今アナタノ御話トハ多少違フノデアリマシテ、私共ハ町村ノ自治體ヲ單位ニシテ、之ヲ隣保相扶ノ觀念ヲ求メテ進ハ、斯ウ言フノデアリマス

○三宅委員

私ハ議論ニナリマスケレドモ、地方町村自治體ト云フモノガ隣保相助ノ組織デアアル、ソレハ廣イ意味ニ於キマシテハサウカモ知ラヌケレドモ、私ノ解釋スル所ニ依リマスレバ、地方ニ於テ部落ニ殘ッテ居リマシタ隣保相助ノ色々ノ組織ト云フモノハ、資本主義ノ波ト共ニ、獨逸ノ協同組合ノ精神、竝ニ二宮尊徳ノ報徳ノ精神ガ、産業組合ニ生キテ居ルノデアッテ、自治體ニ生キテ居ラス、寧ロ自治體ニ於ケル選舉制度ノ弊害デアルトカ、色々ノ弊害ニ依ッテ生キテ居ラヌト思フノデアリマシテ、訓練アル互助的精神ト云フモノハ、ドウシテモ協同組合デアルト考ヘルノデアリマス、ノミナラズ私共ガ實ニ遺憾ニ考ヘマス點ハ、今日農村ニ於テハ團體ノ數ガ多過ギル、是ガヤハリ農村ニ於テ重大ナ問題デアアル、而モ同ジ方向ニ向ッテ居リマス農會ト産業組合デモ機構ヲ別ニスルト、同ジヤウナ人ガヤッテ居ッテモ、屢々對立スルト云フヤウナ事例モアル、是ガ圓滑ナル發達ヲ圖ル爲ニ、私共

ハ農村ニ於ケル色々ナ組合ヲ統一シナケレバいかヌト考ヘルノデアリマシテ、健康保險組合ハ、ドウシテモ私ハ其意味ニ於テモ、此協同組合ヲ基礎トシテオヤリニナルコトガ必要ダト思フノデアリマスガ、ソレハ議論ニナリマスカラシテ、第二ノ點ニ於テ私ハ御意見ヲ承リタイ、第二ノ點ハ廣ク貧弱ナル農村地區ニ町村單位ノ國民健康保險組合ヲ設立シマシテモ、ソレガ能ク醫者ニ組合ガ支拂ヒシ得ルカドウカト云フ點ガ心配デアリマス、是ハ土屋君モ言ハレ、加藤君モ言ッテ居ル、醫師會ノ人モソレデアアル、私モ確ニソレハサウダト思フ、三百軒、四百軒ノ村ニ組合ヲ作ルト云フコトガ一番必要デアアル、斯ノ如キ寒村ニ於キマシテ——是ハ私後カラ聽キタイト思ヒマスガ、大藏省ニ於テ第一回ニ此査定ヲ削ッタ、ソレデ私共ハ此問題ハ非常ニ必要ダト云フ觀念ノ下ニ、私ハ地方ニ居リマシテ行キマセヌデシタケレドモ、吾々ノ先輩デアアル賀川豐彦氏ガ、態々大藏大臣ニ御會ヒニナリマシテ、是ハ内務省カラ頼マレタ譯デモ何デモナイ、道ノ爲ニ御會ヒニナリマシテ、龜井代議士ト共ニ大藏大臣ト深夜特ニ時間ヲ割イテ戴イテ御會ヒニナッタ、其際大藏大臣ガ一體三百ヤ五百ノ寒村ニ於テ、國民健康保險

組合ヲ作ッテ、ソレデ保險經濟ガ持ツカ、再保險ハドウスルカ、持チハシナイデヤナイカ、ダカラコソナモノハ駄目ダ、牛ヤ馬ノ保險ト同ジデアッテ駄目ダト云フ話ヲサレマシタ時ニ、農村ニハ産業組合ガアル、産業組合ガアルカラシテ、出來秋ノ米ヲ引キ當テニシテ、立替ヘルコトモ出來ル、或ハ部落ガ好クナリサヘスレバ宜イノデアアルカラシテ、信用組合ガ千圓ヤ二千圓ノ金ヲ保險組合ヘ繰入レルノハ何デモナイ、假ニ其村ニ「インフルエンザ」ガ流行ッテ、保險金ノ幾月分ヲ拂ハナケレバナラヌト云フ場合ガアッテモ、産業組合ナラ拂ヘルデヤナイカ、之ヲ基礎ニシナサイ、サウスレバ出來ル、而モ系統機關ガアッテ縣ニ信用組合聯合會ガアリ、國ニ中央金庫ガアルカラ再保險ガ自ラ出來ル、若シ足ラナイナラバ——毎年「インフルエンザ」ガ續ク譯ノモノデハナイカラ、足ラナケレバ國庫ノ金ガ出ナイ前ニ於テ、信用組合ノ系統機關ニ於テ、二萬圓ヤ三萬圓ノ金ヲ融通シテ、病氣ガナクナッタ五六年後ニデモ取ルコトガ出來ルカラ、再保險ノ制度モ可能デアル、斯ウ云フ話ヲシタ結果ト致シマシテ、サウカ、ソレデヤ一編實例ヲ見タイト云フコトデ、川越大藏次官ガ越ヶ谷ノ實例ヲ御覽ニナリマシテ、サ

ウシテ陸軍カラモロ添ヘガアッタサウデアリマスケレドモ、内務省ガ御奮闘ニナリ、斯ウ云フヤウナ色々ノ總掛リノ結果出來タ、ソレガ私ハ第九條トシテ醫師會等ガ文句ヲ言ハレルニ拘ラズ、忽然トシテ出テ來タコトノ實際上ノ裏面ノ理由デハナイカト思フ、モウ少シ深イ話モ私トシテ聞イテ居リマスケレドモ、斯ウ云フ席上デ申上ゲルコトガ善イカ悪イカ分リマセヌカラ申上ゲマセヌケレドモ、是ハ私ハ大藏省ノ見方ト云フモノハ、急所ニ觸レテ居ルト思フ、其再保險ノ問題ニ付テハ、東京朝日新聞ナドガ全幅ノ熱意ヲ以テ此問題ヲ支持サレテ居ル、新聞社ガ社説デ心配シテ注意シテ居ルノデアアル、是ハ私ハドウ社會局ガ強辯サレマシテモ、今直チニ百五十バカリ組合ヲ御作りニナッテモ、各府縣ニ二ツ三ツババラニ作ッテ、之ニ再保險ヲサセル譯ニモ行カナイシ、豫算ノ關係デ縛ラレテ居ル内務省ニ行キマシテモ、再保險ノ必要ガ發生シタ場合ニハ金ガ出セナイ、出セナイナラ本當ニ私ハ産業組合ヲ基礎トシテヤラセル方が、數十年ノ歴史ヲ持ッテ居リ、眞ノ相互扶助ノ共同精神ヲ以テヤッテ居ル此産業組合ノ基礎ノ上ニ立ッテヤラセルナラバ、私ハ御醫者サンニ對スル支拂能力ノ點カラ言ッテ

モ、再保險ノ點カラ言ッテモ、私ハ之ニヤラセナケレバイカヌト思フ、之ヲヤラセルカ、ヤラセヌカト云フコトガ、保險組合ガ生キルカ生キヌカノ結論ニナルノデアアリマシテ、是ハ區々タル官廳ニ於ケル所管ノ爭デアルトカ、色々ノ問題デハナクシテ、社會局ガ農村ニ進出サレル上ニ於テ、農村社會事業ヲ産業組合ヲ基礎トシテオヤリナサル上ニ於テ必要デアルト思フ、此點ヲ私ハ強く主張致シマス、此點ニ付テハ再々ノ質問ニ對スル廣瀬長官其他ノ御答辯ハ承服出來ナイ、ドウ云フ御答辯ヲナサルカ、モウ一遍拜聽致シタイ、ソレデモ私ハ多分承服出來ナイト思フガ、此點ニ付キマシテハ私ハ確信ヲ以テ、協同組合ヲ以テ基礎トサレルコトガ、有ユル意味ニ於テ正シイト思フ、ダカラ此九條削除ト云フ問題ハ根本ノ問題デアアル、之ヲ削除スレバ此法ハ死ンデシマフ、吾々ハ二十年ノ間ニ徐々ニ之ヲ作ッタラ宜イト云フノデハ遲イ、モウ今カラデヤ遅イノデアアル、三年位デ普及シテ貰フ爲ニハ、一萬五千ノ農村ニ於ケル此組織ヲ利用シテ、三年位デ之ヲ普及シナケレバ駄目ダト思フ、「モデル」ヲ作ルノデハナイ、本當ニ效果アル保險制度ヲ作ッテ、更ニ之ヲ俸給生活者ニモ進展サセ、日本全體ニ向ッテ此

保險制度ノ歩ミヲ運用シヨウト云フ、此基礎ノ上ニ立タレナケレバ私ハ意味ヲ成サヌト思フ、此點ニ付キマシテハ私ハ信念ヲ以テ御質問ヲ申上ゲルノデアアリマシテ、一ツ明快ナル眞率ナル御答辯ヲ願ヒタイト考ヘルノデアリマス

○廣瀬政府委員 保險組合ノ再保險ノ問題ニ關聯シテ、ヤハリ協同組合ニ基礎ヲ置カナケレバナラヌト云フ御主張ヲ伺ヒマシタ、私共ハ此貧弱ノ村ニ付テ危險分散ガ出來ルカ、出來ヌカト云フコトニ付テハ、色研究ヲ致シタノデアリマス、併シ此法律ハ三百戸、四百戸ノ村デモ私ハ出來ナイコトハナイト思フ、是ハ御承知ノヤウニ現在勞働者ノ健康保險ニ於キマシテモ、工場、鑛山ニ於テ保險組合ヲ三四百人ノ所デモヤッテ居ル、ソレデ以テ十分ニヤッテ居ル、勿論大キイ程結構デアリマセウガ、併シ出來ナイコトハナイ、併シ尙ホ危險分散ノ點デ心配ガアルナラバ、二箇村一緒ニナッテモヤリ得ル、斯ウ云フ工合ニ考ヘテ居リマス、ソコデ尙ホ資力ガ貧弱デアレバ、是ハ其程度ニ應ジタ保險ノ組合ヲ作ルヨリ致シ方ナイノデアアリマシテ、サウ致シマスレバ收入支出共ニ「バランス」ヲ得ルノデアッテ、決シテサウ困ルコトハナイト思ッテ居リマ

ス、尙ホ併シ産業組合ヲ基礎ニセヌケレバ、金ノ融通モ付カヌデヤナイカト云フヤウナ御話モゴザイマスルガ、併シ組合ハサウ無暗ニ産業組合カラ金ヲ借りルト云フヤウナコトバカリ考ヘテ居ッテモイカヌト思ヒマス、ヤハリ組合ハ組合トシテ、自力ニ依ッテ立ツヤウニ考ヘテ行カナケレバ、永遠ノ生命ハナイノデアリマス、是ガ爲ニハ直グニ十分ト云フ譯ニモ行キマスマイガ、或ハ積立金ノ方法デアルトカ、或ハ貧弱ナ所ニ對シテハ、適當ナル國庫補助ト云フコトヲ考ヘルトカ云フヤウナ方法ヲ講ジマシテ、組合ノ基礎ノ確實ヲ期シタイト思フ、尙ホ再保險ノ問題ニ付キマシテハ、ソレハ今モ御話ノアリマシヤウニ、私共モ決シテ全國ニ對シテ保險組合ノ普及ヲ遅クテ宜シイト云フノデハナイノデアリマス、併シ先程來御話ノヤウニ、ヤハリ國民ノ自治的ノ眞ノ信念ニ基キ、眞ノ理解ニ基イテ組合デナケレバナラナイノデアリマスカラ、急激ニ一舉ニ全國ニ向ッテヤルト云フヨリモ、本當ニ理解ヲ得テ逐次ニ吾々ハ進ミタイ、併ナガラソレハ堅實ニ進ミタイ、サウシテ出來ルダケ早く進メタイト思ッテ居ルノデアリマス、再保險ノ問題ハ現在ノヤウナ組合ガ少クテハ、マダ考ヘルノハ早イト思ヒ

マス、モウ少シ進ンダ後ニ考ヘテ行ッテ差支ヘナイモノダト吾々ハ思ッテ居ルノデアリマス、ソレ迄ニ對スル色々ナ組合ノ強化ト云フ問題ニ付テハ、是ハ初メカラサウ理想的ニハ參ラスト思ヒマス、併ナガラ或ハ積立金、或ハ國庫補助等ノ方法ニ依ッテ、適當ニ考ヘルト云フヨリ致シ方ガナイノデアリマシテ、斯ノ如キ方法ヲ以テ逐次全國ニ普及致シマスレバ、ソコニ於テ或ハ再保險ノ問題、或ハ又サウナリマスレバ、色々普及ガ徹底致シマスレバ、ソコニ色々強化ノ方法ガアリ得ルモノダト、私ハ思ッテ居ルノデアリマス

○三宅委員 私ハ只今ノ御答辯ハ甚ダ不滿デアルノデアリマス、一體全體例ヘバ「ソビエト」露西亞ノ事例ヲ見マシテモ、或ハ「ナチス」獨逸ノ事例ヲ見マシテモ、日本ノ國ニ於ケル保健ニ關スル共濟施設、其他保健社會政策ト云フモノハ、著シク遅レテ居ルノデアリマス、是ハ日本ノ國ガ資本主義ガ遅レテ發達シテ居リマス爲ニ、驅足デ生産ノ方面ニ於テ漸ク追付イタ、是カラ遅レタ社會政策ノ方面ヲ驅足デ追付カナケレバ、國防ノ充實モ、國民生活ノ安定モナイト云フ、此社會問題ノ必要ト云フコトガ、私ハ此保健問題ニ付キマシテ重大性ヲ起シ

テ來タ所以デアルト思フノデアリマス、日本ノ村ノ半分ニ付テ十年モ二十年モ掛ッテヤラウト云フヤウナ、サウ云フ悠長ナ態度ニ付キマシテハ、私ハ痛憤ヲ感ジテ居ル、ソシナノロマナコトデハ、日本ノ國ニ革命ガ起キヤセヌカト思ッテ居リマス、ソシナコトデハ到底間ニ合ハヌト私ハ思フ、是ハウソントヤッテ貫ハナケレバナラヌ、何モ息ヲ切ラシテヤラナケレバナラヌコトハナイケレドモ、少クトモ三年、五年デヤッテ貫ハナケレバナラヌ、現在ノ如キ政權ガ一體何年持ツカ、日本ノ議會ト云フモノハドウ云フ風ニナルカ、ソレ等ノ點ニ付テ、私共ハ今日非常ニ急「テムボ」デ、社會ガ動キツ、アリマスル此現狀ニ於テ、モウ少シ私ハ廣大ナル氣魄ヲ以テ、廣大ナル意氣ヲ以テ、一ツ私ハ此點ニ付テヤッテ貫ヒタイ、政府ガ出サレマシタ十年デ六千ト云フヤウナコトニ付キマシテハ、私ハ實ニ痛憤ニ堪ヘナイ、之ヲ見テ實ニ厭ニナツタ、ソシナコトデドウスルカ、早クヤラレルニ付キマシテハ、政治ノ實際ヲ考ヘナケレバナラヌ、私共ハ保健衛生ニ付テ、國防費ガ十四億モ取ッテ居ルノニ、保健衛生、社會政策ニ付テ三億ヤ四億取ルノハ當然ダト考ヘテ居リマス、併ナガラ政治ノ實際ニ於テサウ云フモノハ中々取

レナイ、地方財政交付金ノ實際ノ經過カラ見テモ、中々取レナイノデアリマス、ナイモノハ取レナイガ、ヤハリ「ヘルス・センタ」ニシマシテモ、結核ノ問題ニ付キマシテモ、金ガ中々國庫カラ取レナイ、大藏省カラ取レナイカラ、「モデル」ノヤウナモノヲ二ツ三ツ作ッテ、ソレカラヤルト云フコトデハ遅イ、民間ノ資金デモ動員シテヤッテ貫ヒタイ、斯ウスレバチットモ遅クナイ、生命保險ニハ百何十億ト云フ資金ガアル、是ハ何モ資本主義ニ任セル必要ハナイノデアリマシテ、之ヲ引ッコ抜イテ御利用ニナル、或ハ農村ニ於テ今日産業組合ハ餘裕金ダケデモ七億ヲ持ッテ居ル、之ヲ基礎トシテ、其資金ヲ動員シテ一ツオヤリ下サルコトガ、私ハ必要ダト思フ、是ハ又「ヘルス・センタ」ノ問題モ同様デアルト思フ、之ヲ動員シテ産業組合ノコト、農林省ダケニ任シテ置カナイデ、保健衛生ノ點ニ付テハ、ソレコソ社會局ガ社會的ノ仕事ニ付イテハソレヲ取ッテ戴イテ、榮養ノ施設ニ付キマシテモ、農林託兒所ノ問題ニ付キマシテモ、此農村産業組合ト云フモノヲ一ツ引ッコ抜イテ、サウシテ保健衛生ノ問題ニ付テ社會局ガ大進出ヲ遂ゲテ、サウシテ遅レマシタ我國ニ於ケル農村ノ保健衛生ノ問題ニ付

テ、一ツ急速ニ諸外國ニ劣ラス所ノ實效ヲ
舉ゲル、「モデル」ヲ作ルノデハナクテ、實
效ヲ舉ゲルト云フ風ニ、一ツ努メテ貫ヒタ
イ、私共ハ今日産業組合ニ對シマシテハ、
信用組合ト云フモノハ、本質上金ノナイ者
ハ利用出來ナイ、購買販賣組合モ賣ル米ヲ
持タヌ者ヤ買フ力ノ無イ者ニハ、餘リ役ニ
立タナイ獨リ利用組合ダケハ全農民ノモノ
デアル、利用組合ニ依ッテ共同浴場ガ出來
マスレバ、全農民ガ利用出來ル、利用組合
ニ依リマシテ電氣ガ出來マスレバ、全農民
大衆ガ電氣ノ利用ガ出來ル、醫療機關ガ出
來マスレバ全民衆ハ之ヲ利用出來ル、利用
組合ガ農村ニ於ケル、農民大衆ノ生命デア
ル、最近ニ於ケル醫療方面ニ於キマシテハ、
醫療組合トシテ發達シテ來タノデアリマス
ルガ、今回社會局ガ御奮發ニナッテ居ル良
キ制度ハ、ドウシテモ之ヲ基礎ニシテヤッ
テ戴カナケレバナラス、變ナ繩張爭ヒトカ、
繩張關係カラ對蹠的ノ見地ニ立ッテ居ルノ
ヲ止メテ、急速ニ日本ノ保健問題ヲ解決ス
ルニハドウスルカト云フコトニ付テハ、私
共ハ將來協同省ト云フヤウナモノガ出來
マシテ、商工組合、漁業組合ナドト云フ
モノヲ束ネテ一ツノ協同省ト云フモノヲ
獨立サセルノデアリマス、農林省カラ協

同省ト云フモノガ獨立スル段階ニナル位
ニ、協同組合ガ發達スルコトガ、日本ニ於
ケル中小産業者ヲ救済スル所以デアルト思
ヒマス、偶、醫療組合ガ産業組合ニ屬シテ居
リマス爲ニ、反産運動ノ道具トナッテ居ル、
私共茲ニ痛憤ヲ感ジテ居リマスガ、社會局
ガ此點ニ考ヘテ、反産運動ヲ緩和スルト云
フ意味ニ於テモ、産業組合ヲ基礎トシテ農
村社會事業ニ進出サル、事ガ必要デアルト
思ヒマス、一體十年、二十年掛ッテヤル、後
カラ出來ル保健ニ對スル施設デモサウデ
ス、豫算ガ取レトラボツ／＼ヤルト云フコ
トデハ、到底今日ノ日本ニ於ケル、動亂期
ノ日本ニ於ケル斯ノ如キ溫室のノコトデ
ハ、日本ノ國ハ持テハシナイ、ソナコト
デハ取り殘サレルト考ヘルノデアリマス
ガ、此點ニ付テ内務大臣ノ御所見ヲ伺ッテ
置キタイト思ヒマス

○河原田國務大臣 御所見ニ付テハ洵ニ御
尤ノ點ガ多クアリマス、篤ト一ツ御趣旨ヲ
體シマシテ、將來十分努力スルコトニ致シ
タイト思ヒマス

○三宅委員 私モウ五分カ七分デ止メマス
ガ、ソコデ私ハ内務省ニ尙ホ御願ヲシテ置キ
タイ、是ハ社會局、衛生局共ニ御願ヲスルノ
デアリマス、ソレハ農村ニ於ケル胃擴張、榮

養不良並ニ寄生虫等ノ現象ガ、農村ニ於ケ
ル大キナ病氣デアル、是ハ保健所ノ指導施
設等ニ依リマシテモ、大變良クナルト思フ
ノデアリマスアレドモ、例ヘバ中位ノ五萬、
六萬ノ町ニ、簡易保險ノ診療所ガアル、醫
療組合ノ診療所ガアル、赤十字ノ組織ガア
ル、是等ハ實際煩ニ堪ヘナイ、是等ノ施設
ヲ統一シテヤルコトガ必要デアルト思フト
共ニ、農村ニ於ケル榮養食ノ問題ニ御進出
願ヒタイノデアアル、農村ニ於キマシテ私ハ
榮養不良ト云フノハ偏食ニアルト思フ、料
理ノ方法其他ヲ知りマセヌカラ、偏食ニナ
ルト思フ、是ハ野菜ハモトヨリ鱈ヤ川魚モ
アリマスシ、山ノ幸、海ノ幸、色々アリマス
カラ、農村ニ於キマシテハ榮養食指導ニ依ッ
テ榮養不良ハ癒シ得ルト信ジマスガ、更ニ、
體位ノ向上ノ上ニ於テ、是ハ産業組合ヲ利
用サレマシテ、部落ノ協同デ豚ノ十四位飼
ハセル、牛ノ十四位飼ハセル、是ハ耕作等ニ
使ヒマスガ、始終殺シマシテ、野菜ニ肉ヲ混
ゼテ食ハシテ行ク、全ク肉ヲ食フカ食ハヌ
カト云フコトハ、國民ノ肉體ニ重大ナル影
響ガアル、牛乳ナドニ致シマシテモ、山羊
ト牛ヲ飼ッテ置キマシテ、小學校ノ子供ノ晝
飯ニハ、全部只デ協同組合カラ配給致シマ
シテ、二合位ハ飲マセル、オ茶菓子ノ代リ

ニ農村デ出來タ麵麴ヲ食ハセルト云フヤウ
ニシマシタナラバ、私ハ國民ノ體位ハメキ
メキ上ッテ來ル、農村ニ鶏ガアルケレドモ、
個人ガ飼ッテ居テハ食ハナイ、協同組織ニシ
ナイト金ガナイカラ賣出シテ食ハナイ、其
爲ニ協同組織ヲ社會局デハ指導サレテ、産
業組合ノ線ニ副ッテ下サイマスレバ、
重大ナ影響ガアルト思ヒマス、農村ノ託兒
所ナドモ共通リデアリマス、更ニ私ハ先刻
勞働者ノ健康保險ノ時ニモ御伺シタイト思
ヒマシタガ、東京電燈デアルトカ、東京瓦
斯トカ云フ大會社ハ、伊豆山デアルトカ、
其他ニ、健康保險ノ金ヲ以テ溫泉療養所ヲ
持ッテ居ル、「サナトリニウム」ヲ持ッテ居ル、
政府管掌ノ勞働者健康保險ノ分ハ、重ニ中
小工業ニ關スル保險デアッテ、其積立金ガ數
千萬圓アルガ、其利子ハ同潤會ノ住宅ニ廻サ
レテ居ル、住宅政策ハ住宅政策デ別ノ金デ
ヤル所ニ十分ノ意義ガアルト思フ、勞働者
ノ健康保險デハ、ヤハリ「サナトリニウム」
ナドヲ作ッテ下サルコトガ必要デアルト思
ヒマス、農村ニ於ケル私ハ保健ノ問題ハ、
農村ニ於ケル溫泉ノ問題ガ重大ダト思ヒマ
ス、農村ハ御承知ノ通り田圃ノ中ニ入りマ
シテ、腰マデ冷エルノデアリマス、四這ヒニ
ナッテ歩クノデアリマスカラ、腰ハ痛イシ、

「リユーマチ」ト云フ病氣ガ農村ニハ實ニ多イ、神經痛、「リユーマチ」ト云フ病氣ハ、農村ノ者ハ皆持ッテ居ル病氣デアアル、是ハ醫者ニ依ッテハ治ラヌノデアアル、昔ハ村々ニ必ズ一ツツツ鑛泉ナリ溫泉ナリ風呂ガアツタ、其風呂ヘ、農閑期ニナリマス、米ヲ三升カ五升擔イデ、必ズ一週間位湯治ニ行キマシテ、神經痛ヲ治シ「リユーマチ」ヲ治シテ來タノデアリマス、所ガ今日ノ溫泉ト云フモノハ、金持階級ガ其淫風ヲ撒キ散ラス爲ニ、殆ド之ヲ獨占シテシマッテ居ル、ソレカラ資本主義ノ爲ニ、農村ニ於テ鑛泉トシテ村々ニアリマシタノガ、殆ド潰レテシマッタノデアリマス、私ハ日本ノ國ノ如ク溫泉ノ澤山アリマスル國ニ於テハ、ドウカ一ツ庶民ノ爲ニ溫泉療養所ト云フモノヲ造ッテ戴キタイ、是モ國民健康保險カ——醫療組合デモ第二次ノ仕事トシテ之ヲ計畫シテ居ル、聯合組織デ以テ各縣デ計畫シテ居ルノデアリマスガ、溫泉療養所ト云フモノヲ各縣ニズツ造ッテ戴キタイ、サウシテ願クハ日本ノ農民、月給取、勞働者ガ、公益施設トシテ汽車賃位只ニシテ、年ニ一週間デモ十日デモ溫泉ニ行ッテ、ノンビリシテ來テ、ソレデ以テ現在四十四年デ以テ壽命ガナクナルモノガ、セメテ四十八年、五十年位生

キラレルヤウニスルノハ、重大ナ問題デアアル、此日本ニ與ヘラレテ居ル天然ノ資源ニ付テ、日本ノ農村カラ風呂ヲ奪ハレタ、溫泉ヲ奪ハレタト云フコトハ、農村ノ保健ニ大キナ影響ガアル、ソレハ醫者ヲ配置スルヨリ以上ニ、大キナ關係ガアルト考ヘルノデアリマス、是等ノ點ニ付テ社會局ハ産業組合ノ剩餘金等ヲ活用サレ、是等ヲ觸手トシテ御利用ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、一々答辯ヲ求ムルコトハ恐縮デアリマスカラ、序ニ保健所法案ニ入りタイト考ヘルノデアリマスガ、保健所法案ニ對シマシテハ、私ハ其缺陷トシテハ、保健所法案ハ中途半端デアルト云フ點ダト思フノデアリマス、何處ガ中途半端デアルカ、保健所ハ保健衛生ニ關スル指導ヲ爲サル所デアリマスルケレドモ、致ハ屢言ッテ居リマスルガ、現代ノ醫者ヲ以テ致シマシテハ、是ハ出來ナイ、現代ノ醫者ハ脈ヲ診ルコト、サウシテオ前ハ風邪ガ惡イト云ッテ、「アスピリン」ヲ出スコトハ出來ルケレドモ、集團衛生ニ付テ、或ハ環境ノ改善等ニ付キマシテ、指導力ヲ發揮スルコトハ出來ナイ、私ハ醫療組合ノ醫者ニ何時モ言ッテ居ルノデアリマスルケレドモ、貧乏人ノ病氣ト、小作人ノ病氣ト、自作農ノ病氣ト、地主ノ病氣

デハ、モウ階級ニ依ッテ病氣ニ違ヒガアルノデアアル、之ヲ同ジニ何モ「モルモト」カラ病氣ヲ發見スルノデヤナシニ、貧乏ノ層ニ依ッテ、階級ノ層ニ依ッテ、職業ニ依ッテ病氣ガ違ッテ居ル、ソレヲ發見致シマシテ、ソレヲ治サセルト云フ所ニ、私ハ社會的識見ヲ持ッテ醫者ノ任務ガアルト考ヘルノデアリマス、保健所ノ使命ハ其處ニアルト思フ、併シ私ハ保健所ニ於キマシテハ、今ノ醫學校ヲ出タ日本ノ醫者ハ、サウ云フコトハ出來ナイノデアリマスカラシテ、結局ハ「メディカル・センタール」ニナルト思フノデアリマス、然ルニ「メディカル・センタール」ニナッテ處方箋ヲ出セバ、開業醫ノ利益ヲ阻碍スルト云フコトニナッテ、日本醫師會ノ策動ニ依ッテ、日本醫師會ニ對スル遠慮ニ依ッテ、サウ云フモノヲ出サウト云フコトニナレバ、中途半端ナ餘分ナモノニナリマス、ソレデモ此保健所ノ本所ハ宜シイケレドモ、支所ハドウスルカ、無醫村ニ假ニ保健所ノ支所ガ出來タ、醫者ガナイカラシテ、其醫者ノナイ處ニ支所ヲ置イテ醫者ヲ置キマシテ、サウシテ保健ノ指導ヲサレル時ニ、醫師會ニ牽制サレタカラシテ處方箋ハ出シマセヌ、藥ハ出シマセヌト云フコトデアッタハ、コンナ馬鹿ナ保健所ハアリハシナ

イ、私ハ無醫村ニ於ケル保健所ハ醫療モヤッテ宜シイ、而シテ保健衛生ノ指導モヤッテ宜シイ、知識階級トシテ、村民ノ福祉行政ノ指導者タル積リヲ以テ、農村ノ指導的ナ仕事ヲヤッテ宜シイ、保健所ハ療養指導モヤル、「メディカル・センタール」ニナッテ宜シイ、然ルニ「メディカル・センタール」タルノ機能ハ、之ヲ醫師會ノ運動ニ依ッテ阻止サレル、而シテ「ヘルス・センタール」トシテノ機能ハ、今日ノ醫育機關ノ現狀ヲ以テシテ、今日ノ醫者ノ見識ヲ以テシテハ爲シ得ナイ

〔三善委員長代理、退席、委員長著席〕

是ガ醫者ノ教育ガ段々變リマシテ、社會局的教育ニ依ッテ段々變テ來マシタ後ナラバ別デアアル、サウデナイ前ニ於キマシテハ、私ハ保健所法案ナント云フモノハ、是ハ特色ノ點ニ於テ甚ダ不完全極マル效果シカ舉ガ得ナイト思フノデゴザイマスガ、此點ニ付テ衛生局長ハドウ御考ニナッテ居ルカ、承リタイト思ヒマス

○挾間政府委員 先程農村ノ榮養問題ニ付テ御尋ガゴザイマシタ、農村地方ニ於ケル榮養狀態ガ惡イト云フコトニ付キマシテハ、全ク御同感デゴザイマス、政府トシテモ之ニ對スル施設ハ考究シテ居ルノデアリマス、實例ト致シマシテハ、昭和十一年度カ

ラ東北地方ニハ榮養指導員ト云フモノヲ置キマシテ、御存ジノ榮養研究所ニ於テ、榮養食ニ關スル各種ノ修練ヲ積ミマシタ者ヲ配置シテ、殆ド各家庭ト申シマスカ、實地ニ指導シテ、榮養食ノ調理方法等ヲ教ヘテ居リマス、モウ大體一年間位實驗ヲ經テ居リマスノデ、最近ニ人ヲ派シテ調査シタノデゴザイマスガ、少クトモ東北地方ニ於キマシテハ、餘程ノ效果ヲ擧ゲテ居ルコト、思ヒマス、計畫ト致シマシテハ、斯様ナ設備ヲ廣ク弘メタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ保健所ニ付テノ御尋デゴザイマシテ、吾々ノ期待シテ居ル所ト餘程違フヤウナ御話デゴザイマスガ、左様ナモノデナイト考ヘテ居リマス、保健所ガ「メデ・カル・センター」デアルカドウカト云フ點ニ付テ、醫師會トノ關係ヲ御想像ニ相成ッタヤウデゴザイマスガ、全然左様ナコトハゴザイマセヌコトヲ明ニ致シテ置キタイト思ヒマス、保健所ハ最初カラ是ハ指導機關ノ積リデ設計計畫シタモノデゴザイマシテ、無論其組織ガ非常ニ大キケレバソコ迄手ガ及ビマスケレドモ、此組織ヲ以テハ吾々ノ豫期シテ居ル指導衛生ノ方面ノ仕事ガ非常ニ多イノデアリマシテ、結局ソレニモ足りナイヤウニナルト、私ハ考ヘテ居リマス、現在ノ

開業醫ノ指導衛生、豫防衛生方面ノ知識ガ不十分デアルト云フ御話ガゴザイマシタ、無論開業醫其人ヲ此保健所ニ用ユル考デハゴザイマセヌ、開業醫ヨリ保健所ノ技術員ニナル人モアルト思ヒマス、又學校ヲ卒業シテ研究室ニ居ル人ガ、此方面ニ進出スルコトモアルト思ヒマスガ、近キ將來ニ於キマシテ、度々此處デ申上ゲマシタヤウニ、公衆衛生院ガ完成致シマスノデ、此處デ一定期間ノ講習教科ヲ終ヘマシテ、専門的ノ指導衛生方面ノ知識ヲ蓄ヘテ、是ガ各地方ニ參リマシテ、指導ヲスルノデゴザイマス、尙ホ學校ヲ卒業シマス學生生徒ノ間ニ於キマシテ、指導衛生ノ方面ニ進出シヨウトシマス機運ガ最近ニ於キマシテ相當現レテ來テ居ルト云フコトガ、所々ノ大學ノ今卒業ヲ控ヘテ居ル學生ノ間ニ起ッテ居リマスコトヲ、附加ヘテ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

○三宅委員 私ハ此點ニ付テ色々議論ガアリマスケレドモ、モウソレハ止メマシテ、最後ニ一點ダケ、今度ハ日本醫師會ノ問題ニ付テ、醫師會ノ改造ノ問題ニ付キマシテ、内務大臣ハ居ラレマセスケレドモ、政府委員ニ伺ヒタイト思フノデアリマス、私ハ本會議及ビ委員會ヲ通ジマシテ、日本醫師會

ガ醫事衛生ノ改良發達ニ付テ之ヲ阻碍シテ居ル、之ヲ改革シナケレバ、此一種ノ現狀維持勢力トシテ基礎ノアリマス開業醫ノ利益シカ擁護シテ居ラヌノデアリマスカラ、此醫師會ヲ改革シナケレバ、私ハ將來行ハレマスル色々ノ保健衛生ニ關スル革新的施設ト云フモノハ效果ヲ發揮シナイ、是ガ先決條件デアルト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、此點ニ付キマシテハ、獨逸醫師會ノ例ヲ日本醫師會等ニ於キマシテモ屢々持出シマシテ、獨逸醫師會ガ醫師ハ營業ニアラザルコトヲ規定シ、日本ノ醫師會ニ於ケルヨリハ、醫師ノ目的ナドヲ明確ニ規定シテ居ル點ヲ讚美シテ居リマスガ、私ハ獨逸ノ醫師會ノ事例ヲ見マシテモ、醫師會ガ醫師會トシテ醫事衛生ノ發達ノ爲ニ貢獻シマスル爲ニハ、醫者ノ同業組合ノ如キ構成ハ致シテ居ラヌノデアリマス、獨逸醫師會ト日本醫師會トノ區別ヲ第一ニ考ヘテ見マサルナラバ、醫師會長ハ獨逸ニ於キマシテハ是ハ任命デアリマス、何モ同業組合ノ會員カラノ選舉デハナイノデアリマス、任命デアリマス、ソレハ公益的目的ヲ達成スル爲メ、政府ノ意圖ヲ代表シ得ル、一ツノ指導シ得ル所ノ者ヲ會長ニ任命致シマシテ、其者ガ一番ノ權利ヲ持ッテ居ル、ソレガ善イカ

惡イカト云フコトハ別デアリマス、日本ノ國情ニ適シタ形ニ於テ改造シナケレバイカスケレドモ、兎モ角是ガ「ヒットラー」大總統ノ任命ニ依リマシテ、天降リ的ニ降リテ來テ、ソレガ實權ヲ握ッテ、其他ノ者ハ竝ビ大名ニナッテ居ルト云フコトガ第一ノ點、第二ノ點ハ、聯邦醫師會幹部ヲ構成致シマスノハ、醫師會長、即チ其政府ノ任命致シマシタ醫師會長、竝ニ其常置代理人、ソレカラ獨逸金庫協會會長ノ常置代理人、是ハ私ハ保險組合ナドノ代理人ノ譯デアッテ、民間利益ヲ代表スベキ、所謂非醫師ノ關係デアルト思フノデアリマス、ソレニ共和國醫師會ノ役員、及ビ聯邦醫師會ノ會長、斯ウ云フヤウニ聯邦醫師會其他ニ於キマシテモ、非醫師ガ入ッテ居ルノデアリマス、即チ被保險者ノ利益ヲ代表スベキ者ガヤハリ醫師會ニ入ッテ居ル、デアリマスカラシテ、ソレ等ノ醫者トシテノ専門家、竝ニ政府ヲ代表スル所ノ者、竝ニ民間ニ於ケル被保險者ノ意圖ヲ代表スベキ者、是等ノ者ガ寄リマシテ獨逸醫師會ト云フモノヲ指導スル、ダカラシテ私ハ獨逸醫師會ト云フモノガ、政府ノ國策ニ竝行致シマシテ、而モ民意ヲ或ル程度マデ容レテヤッテ行ケルト思フノデアリマス、所謂自由主義華ヤカナル頃ニ於ケ

ル、悪い意味ノ同業組合ト化シテ居ル日本醫師會ニ對シテ、非常ナ強イ權利ヲ與ヘラレテ居ルト云フコトデアッテ、手ヲ燒イテ居ラレルニ違ヒナイト思ヒマスケレドモ、サウサウ手ヲ燒イテ居ラレテハ駄目ダ、駄目ダカラシテ、ソレナラバ斯ノ如キ廣大ナル權限ヲ與ヘラレズシテ、醫師ノ共濟組合トシテ一定ノ補助金等ヲ與ヘラレマシテ、醫者ノヤハリ共濟互助ノ組織トシテ之ヲ殘サレルコトガ宜シイ、醫事衛生ノ改善ノ爲ニハ、別箇ノ一ツ團體ヲ御作りニナルコトヲ、

私醫事行政ニ於ケル庶政一新ノ先決條件デアルト考ヘルノデアリマスルガ、政府ハ此點ニ付テ同意ヲ表セラレルカドウカ、而シテ最近ノ機會ニ、日本醫師會令及ビ醫師法、其他ノ法規ヲ、最モ公益的ナ見地カラ、之ヲ一ツ改正ヲ立案サレテ、議會ニ提出サレル意思アリヤ否ヤ、此點ヲ御同致シタイト考ヘルノデアリマス

○**挾間政府委員** 現代日本醫師會其他地方ニ於ケル醫師會モ、相當醫學ノ方面ニハ貢獻ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、殊ニ醫師法ハ最近改正ヲ見タノデアリマス、御述ニナリマシタ獨逸醫師法ハ、私モ研究致シテ居リマスガ、最近ニ於ケル制定デアリマシテ、マダ施行後一年ヲ經テ居リマセヌ、無

論立派ナ成績ヲ舉ゲルコトカモ思ヒマシマス、其實績ニ付テ十分ナル報告ヲマダ得テナイノデ、日本ノ醫師法乃至醫師會令等ニ付キマシテハ、今日ノ規定ヲ以テ十分ナル働キヲ爲シ得ルト思ヒマス、尙ホ研究スルコトニ致シテ置キマス

○**三宅委員** 私ハモウ止メル積リデアリマシタガ、餘リ御答辯ガ不満足デアリマスノデ、モウ一點ダケ伺ッテ置キタイト思ヒマス、是ハ衛生局長ニ御伺スルヨリモ、内務大臣若クハ總理大臣ニ御伺スルコトガ、適當ナ問題ダト思フノデアリマスケレドモ、私ノ見ル所ヲ以テスレバ、實際ニ於テ日本ノ醫師會ト云フモノハ、資本主義ノ發達ト共ニ發達シ、北里氏ガ居ラレ、後藤新平氏ガ居ラレタル際ニ於キマシテ、又青山胤通氏ガ居ラレタル際ニ於テハ、私ハ相當ナル貢獻ヲ爲シツ、ヤハリ同業組合ガ社會ノ利益ト併行シツ、同業組合ノ利益ヲ發達サセタト思フノデアリマス、私ハ醫師會ガ同業組合的の利益ヲ捨テロト云フノデアリマセヌ、社會ノ利益ト併行スル程度ニ於テ、同業組合ノ利益ヲ發揮スルノデナケレバ、

是ハ如何ナル制度ト雖モ粉碎シナケレバナラス、ダカラサウ云フ要素ガ澤山アル、ソレハ單ニ勞働者健康保險ノ例ダケカラデハナイノデアリマシテ、色々ノ點ニ付テ效果ハ效果トシテ認マルノデアルケレドモ、弊害ガ累積シテ居ルノデアルカラ、其點ニ付テハ、ソレハ色々ノ摩擦ガアルカモ知レマセスケレドモ、ソレ等ヲ蹴飛シテ一ツ御改善ヲ爲サルコトガ、醫事衛生發達ノ上ニ於テ必要ナリト確信ヲシテ居リマスカラ、此點ニ於テモウ一遍内務大臣ノ御積リヲ以テ、衛生局長ノ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○**挾間政府委員** 只今御答致シマシタ通りデゴザイマシテ、現行規定ニ於キマシテモ、十分ナル監督權ハアルノデアリマス、若シ其規定ニ反スルヤウナコトガゴザイマシレバ、監督權ノ發動ヲ爲スコトガ出來マスシ、又醫師會其他ニ於キマシテモ、十分社會ノ趨勢ニ伴レテ、醫事衛生發達ノ爲ニ、活動スルヤウニ政府トシテモ誘導スルコトガ出來ルノデアリマス、現行ノ規定ヲ以テ現在ニ於キマシテハ其效果ヲ舉ゲ得ルコトト考ヘテ居リマス

○**三善委員長代理** 藏原君ニ發言ヲ許シマス

○**藏原委員** 大分時間ガ經チマシタシ、極ク簡單ニ一ツ御質問ヲ致シマス、ソレハ寧ろ全ク私ガ分ラナイ所、又既ニ今迄ノ御質

問デ、大キナ問題ハ大體ニ於テ論點ガ盡キテ居ルト思ヒマス、ソレデ其間ニ少シマダ私ニ腑ニ落ちニクイ所ヲ、所々挾ッテ御質問申上ゲタイト思フノデアリマス、私ハ此法律ガ今回出タコトハ、非常ニ内務省ノ御手柄ダト考ヘテ居リマス、河原田内務大臣ト、私共役人トシテ非常ニ尊敬シテ居リマシタ廣瀬社會局長官ト、「コンビ」ニナッテ出來タ大キナ「ヒット」ノ一ツダト思フノデアリマス、ソレ故ニ私共ドウニカシテ一ツ之ヲ、色々ナ反對、賛成ガアルニモ拘ラズ、成立サシタイト云フ氣持ガアルノデアリマス、而シテ此間カラ三日ニ亙ッテ懇談シタ結果、大體ノ之ニ對スル傾向モ、私共ドウニカスウニカ、是デ行ッタナラバ出來サウナ大體根幹ハ、其趨勢ト申シマスカ、分ルノデアリマス、併シ私ドウシテモマダ少シ、其外ニ尙ホ斯ウデモシタナラバト考ヘルコトガアルノデス、ソレヲ大體條文ノ順ヲ追フテ一ツ分ラナイ所ヲ御尋致シテ、又斯ウナラバト云フ所ガアレバ、意見ヲ申上ゲテ御答ヲ煩ハシタイト思ヒマス、

九條乃至團體契約ニ關スルコトニ付テハ、打切りマスガ、此十三條デス、組合員及ビ其組合ノ範圍ノ問題デアリマス、十三條デハ大體組合員ニハ其地區内ノ世帯主ヲ以テ

組合員トスル、是ガ原則ニナッテ居ル、ソレヲ一定ノ資格者ヲ擧ゲテ居リマス、ソレカラ第二項ニ來テ、但シ其世帯デ被保險者タルノ資格アル者ハ此限リニ非ズ、要スルニ自分ハ資格ガナクモ、其家族ニ被保險者タルベキ資格人ガアル場合ニ於テハ、組合員ニナルト云フコトガ書イテアルノデアリマス、ソレハ其組合員ニナッテ場合ニ於テハ、資格ノナイ者モ資格ヲ得テ、被保險者トナルト云フコトヲ意味スルノカドウカト云フコトヲ一寸御同致シタイト思ヒマス

○廣瀨政府委員 被保險者ニナリ得ナイ者デモ、組合員ニハナリ得ルノデアリマスガ、組合員ニナリマシテモ、其人ハ被保險者ニナレナイ、其實例ハ斯ウ云フ場合ニ起キルト思ヒマス、例ヘテ見マスレバ、勞働者、現在ノ健康保險ノ被保險者ニナッテ居ル場合、斯ウ云フヤウナ人ハ國民健康保險ノ方ノ被保險者ニナルト云フヤウナ必要ガナイ譯デアリマスケレドモ、其勞働者ガ家族ヲ持ッテ居ル場合ニハ、其勞働者ハ國民健康保險ノ組合員ニナル、サウシテ其家族ハ被保險者ニナル、斯ウ云フヤウナ爲ニ設ケラレテアル規定デアリマス

○藏原委員 サウスルト自己ハ組合員ニナッテモ、被保險者トハナラヌト解シテ宜ウ

ゴザイマスネ、次ニ市町村ノ區域ニ依ルコトガ此組合ノ原則ノヤウデアリマス、但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ區域ニ依ラザルコトヲ得、ト書イテアリマスルガ、此特別ノ事由ト云フコトヲ御説明願ヒマス

○廣瀨政府委員 其特別ノ事由ニ付テノ解釋ハ、例ヘテ申シマス、村ガ小サイ、隨テ保險ヲスル爲ニハドウモ小サ過ぎテ、保險ノ危險分散ニ適シテ居ラス、モウ少シ大キクナケレバ工合ガ惡イト云フヤウナ場合ニハ、是ハ外ノ村ト一緒ニナッテモ宜シイト云フヤウナ意味ヲ指シテ居ルノデアリマス

○藏原委員 其場合ハ分リマシタ、モウ一ツ今ノ御説明カラ見ルト、小サ過ぎル場合ニ於テハ外ノ村ト共同シテ二箇村或ハ三箇村ヲ以テ組合ヲ組織シテモ宜イ、是ハ非常ニ結構ナコトデアリマス、所ガモウ一ツ逆ニ言ッテ、或村ガ非常ニ散ラバツテ居ルヤウナ時ニ、或ハ大字ダトカ、或ハ何トカ云フサウ云フモノヲ單位トシテ作ルト云フコトガ、特別ノ事由ノ中ニ入ルカドウカ、或ル場合ニ於テハサウ云フヤウナコトガアレバ、ソレハ大體三分ノ二マデノ間ハ自由ニナッテ居ル、三分ノ二以下ノ組合ガ出來タト云フ場合ニハ、サウ云フヤウナ特殊ノ場合ニ於テハ、或ハ一村ニ二箇出來ルト云フヤ

ウナコトモ想像出來ルノデアリマスガ、サウ云フコトヲ許スコトガ、此特別ノ事由ノ中ニ入ルカドウカ

○廣瀨政府委員 私ノ説明ガ不十分デアリマシテ、洵ニ恐縮デアリマスガ、今ノヤウナ場合、或ハ地理的關係カラ非常ニ大キイ村デ、或ル部分、字ガ一ツ獨立シテモ保險組合ガ出來ルト云フヤウナ場合ニハ、ソレハヤハリ其字ダケノ保險組合ヲ認メヨウ、隨ヒマシテ或ハ一箇村デアリマシテモ、二ツノ組合ニナルヤウナ場合モアリ得ルコトヲモ豫想シテ居ルノデアリマス

○藏原委員 非常ニ結構ダト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ進ンデ、今度ハ第十六條ニナリマス、是ハ度々私ノ話デハ申上ゲタコトデスガ、併シドウシテモ僕ハ分ラナイ、三分ノ二未滿ノ時マデハ自由ノ組織デ組合ヲ作ルモ作ラヌモ、マア勝手ナ狀態デアル、三分ノ二以上ニナッテ場合ニ於テ、後ノ三分ノ一ヲ強制シテ加入サセル、其時ニ「特別ノ事由アル者ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノヲ除ク」ト云フコトヲ書イテアル、此命令ノ中ニ於テハ、即チ茲ニ多額ノ收入アル者ヲ除クト云フコトニナッテ居ル、此譯ガ私ニハドウシテモ分ラヌ、是ハドウアッテモ多額ノ收入ノアル者ガ入ラナケレバ保險ガ成

立ッテ行カヌ、危險分散ノ場合カラ言ッテモ、保險料ヲ負擔サセルト云フ方針カラ言ッテモ、是ハ均等ナ負擔デヤナイノデス、金持ニハ多クシテ、貧乏人ハ少ナイヤウナ負擔ノ割合ニナッテ居ル時、貧乏人ダケヲ入レテ、金持ヲ除クト云フコトヲ態々シテ置ケバ、恐ラク金持チハ大部分逃ゲル、サウ云フヤウナコトヲコチラノ方デ誘發スルヤウナコトヲ書イテ置クノハドウ云フモノカ、僕ハドウシテモ成立其モノニ付テ疑ガ起ル、之ヲ除ク理由ト云フモノガ私ニハ分ラヌ、ソレヲハッキリ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○廣瀨政府委員 十六條ニ關シテノ御質問デアリマスガ、此點ニ付キマシテハ、實ハ私共ノ方デモ色々論議ヲ致シタノデアリマス、只今御質問ニナルノモ甚ダ御尤ダトハ思ヒマスガ、併シ之ニ付キマシテハ、特別ノ事由アルモノトシテ、ヤハリ金持ニ付テノ除外例ヲ認メヤウ、農村ノコトヲ考ヘテ申シマス、希望トシテハ出來ルダケ金持ニ入ッテ貰ヒタイノデアリマスケレドモ、法律ヲ以テ強制スル、強制ノ中ニ入レルノハドウダラウカ、之ニ付テハ色々議論モアリマセウガ、社會保險ノ理窟カラ考ヘマシテ、金持ハ自分ノコトヲ處理スルコトモ出來ル譯デアル、ソレデアルカラ強制マデシテハ

入レナイ、唯併シ社會保險トシテハ中産及
ビソレ以下ノ經濟上ノ弱者ヲ對象トシテ組
織スルト云フノガ立前デアリマスノデ、自
ラ自分ノ始末ノ出來ル者ハ強制マデハセヌ
ト云フ立前ヲ執ツタノデアリマス、外國ノコ
トヲ申シテハ何デアリマスガ、外國デモ金
持ハヤハリ強制ハ致シテ居ラヌヤウデアリ
マス、ソレカラ日本ノ現在ノ健康保險デア
リマスガ、之ニ付キマシテハ、工場、鑛山
デ千二百圓迄ノ職員ハ現在ノ健康保險ニ入
レマスガ、千二百圓以上ハ入レヌト云フ立
前ヲ執ツテ居ルノデアリマス、極ク掻イ摘ン
デ申シマス、所謂社會保險ノ理論カラ來
タノト、金持ハ自ラ自分ノコトハ處理シ得
ルカラ、希望トシテハ入ッテ貰フノハ結構
ダガ、併シ強制ハセヌ、ソレカラ實例等ニ
持ッテ行キマシテモ、現ニ健康保險等デモサ
ウデアルト云フヤウナ立前カラ、金持ハ強
制シナイト云フ行キ方デアリマス

○藏原委員 廣瀨君ノ御答辯、廣瀨君ニモ
似合ハヌト思フ、是ハ何カノヤハリ説明出
來ナイヤウナ筋合ノモノガザリハセヌカト
思フ、其御説明ヲ聽イテ却テ僕ハ疑フ、千
二百圓ト云フコトヲ一寸言ハレタヤウデス
ガ、ソレハ労働者ト労働者以外ノ者ヲ分ケ
ル標準トハ違ヒマスカ、労働保險ノ問題ト

違ヒマスカ——ソレナラバ僕ハ感違ヒシテ
居ッタ、是ハ國民ノ八割ヲ收容シ得ル所謂國
民保險ノ問題ダト思フ、其論點ガ分ラヌ、
ソレト、三分ノ一強制スル場合ニ於テ、金
持ハ強制セズ、貧乏人ヲ強制スルト云フ理
由ガ何處ニアルカ、恐ラク三分ノ二ハ入ッ
テモ、三分ノ一入ラナイ場合ニ於テハ、ソコ
ニ何カノ理由ガアルト思フ、其時ニ貧乏人
ハ強制シテ金持ヲ強制シナイト云フ理由ハ
何處ニアルカ、ソレヲ説明願ヒタイノデス、
ドウモ分ラヌ

○廣瀨政府委員 私ガサッキ千二百圓ト云
フコトヲ申上ゲマシタノハ、ソレハ現在ノ
労働者ノ健康保險ノ方ノコトデアリマス
ガ、例トシテ申上ゲタノデアリマス、労働
者ノ健康保險デハ労働者ガ無論被保險者ニ
ナルノハ當然デアリマスガ、其外ニ労働者
デナイ職員デモ健康保險ニ強制的ニ入ル、
併シソレハ千二百圓ト云フコトヲ切ッテ居
ル、ソレ以上ノモノハ入レナイト云フ立前
ヲ執ツテ居ル、サウ云フヤウナ譯デ、ソレモ
一ツノ例トシテ申上ゲタノデアリマスガ、
其例ガ或ハ當ッテ居ラナイト云フ御意見カ
モ知レマセヌ、ソレカラ尙ホ強制ノ時ニ、
三分ノ一強制ニ付テハ貧乏人バカリヲ強制
スルノカト云フ仰セデアリマスガ、貧乏人

バカリト云フ譯デモナイ、ヤハリ貧乏人モ
アリマセウガ、或ハ中産ノ者モアル、唯強
制ノ時ニ命令ヲ以テ定メテ居ル所ノ程度ノ
金持ハ強制シナイト云フノデアリマス、其
理由ハ先程申上ゲマシタヤウニ、金持ハ自
ラ自分ノ始末ガ出來ルカラ、其者ハ強制マ
デハセヌ、斯ウ云フダケノコトデアリマス
○藏原委員 ドウモ尙ホハッキリ分ラヌ、唯
金持ハ自ラ出來ルカラ強制シナイ、而モ此
處ニハ多額ノ收入アルモノトシテアル、多
額ノ標準ガサッパリ分ラヌ、是ハ僕ハ實際其
處ニ何等カノ恐ラク非常ナ保守的ノ考ヲ
持ッテ居ル人間ノ横槍ダラウト思フ、是ハ實
ハ私的ナ會談デ内務省ノ若イ諸君ト話シテ
見タガ、内務省ノ本心ハ恐ラクサウヂヤナ
カラウト思フ、又保險ノ經營カラ言ッテモ、
是ハドウシテモ相當多額ノ所謂平均額以上
ノ者ヲ入レラレナケレバ、其保險ノ經營ガ
出來ヤウ答ガナイ、ソコデ萬ニ一ツヲ讓ッ
テモ、或ハ其村ニ特ニ多額ノ、昔ノ本間ト
云フヤウナ人デスカ、サウ云フ人ナラバ按
イテモ宜イカモ知レナイガ、其意味デ特ニ
多額ノト云フヤウナコトナラバ、或ハ讓ッ
モ宜イカモ知レマセヌガ、ソレ以外ノコト
デ私ハ讓ル必要ハナイト思フ、私共ノ理論
ガ正シイト思フ、恐ラク是ハ或ル場合ニ於

テハ、斯ウ云フ誤解デハナイデスカ、三分
ノ二以上ヲ強制スル時或ハ三井トカ、三菱
トカ云フヤウナ大キナモノヲ入レルト云フ
コトデハ、ドウモヤリ惡イカラ、其摩擦ヲ
防ガウト云フノデハナイデスカ、併シ是ハ
實際ニ於テハ三分ノ二以上ノ者ガ組合ヲ作
ラウト云フノハ農村ノ外ナイ、市ニ住ンデ
居ルトカ、サウ云フ大都會ニ住ンデ居ルモ
ノニハ、實際ニ斯ウ云フコトガアラウ答ガ
ナイ、一ツノ組合ガ三分ノ二ノ住民ノ加入
ヲ要スルト云フヤウナ大キナ組合ガ出來ヤ
ウ答ガナイ、是ハ農村ノ問題デス、農村ノ
問題ニナレバ、サウ云フ御遠慮ハ僕ノ方デ
ハ無用ダト思フ、ソレダカラ斯ウ云フ命令
カラアノ多額ノト云フ條項ヲ一ツ削ラレデ
ハドウカ、ソレガ今ノ田舎ノ金持ノ考方デ
ハ決シテ御心配ニナルヤウナ風ノコトハ起
ラヌト私ハ思フ、吾々ガ國民代表者トシテ、
内務省ガサウ云フ遠慮シテ居ル時ニ、サウ
云フモノヲ入レテ下サイト言ッたら入レラ
レタラドウデス、サウシテ又多少意地ヲ立
テズニ、此處ハ會議ダカラ、會議ノ趣旨ニ
隨ッテ、サウ云フコトガ宜イトナレバ、議員
ノ多數ガソレヲ希望スルト云フコトニナレ
バ、ソコヲ容レラレタラドウカ、私ハ其御
返答ヲ願ヒタイト思フ

○廣瀨政府委員

私共ノ考デハ、是ハ農村ガ此種ノ場合ハ多イデアリマセウ、ソコデ農村デハ農村ノ實情カラ言ヒマス、金持ハヤハリ進ンデ私ハ入ッテ呉レルト思フ、強制ト云フヤウナコトヲセヌデモ入ッテ呉レルモノダト大體思ッテ居リマス、希望トシテハ、私共ノ方ノ指導的ノ意味カラ言ヘバ、成ベク入ッテ貰ヒタイ、斯ウ云フ希望ヲ持ッテ居リマス、寧ロ法ヲ以テ強制セヌデモ、農村デハ入ッテ呉レルト云フノガ金持ノ側ノ今日ノ信條デハナイカ、之ヲ強制スルノハ却テマズイノデハナイカト云フヤウナ點モ考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、ドウモ強制マデスルト云フヨリモ、金持ニ進ンデ心持ヨク入ッテ貰フト云フ立前デ進ミタイ、斯ウ云フ譯デアリマス

○藏原委員

尙ホ分ラヌノデス、ソレ位ノ希望ガアレバ強イテ此處ニ除クト云フコトヲ掲ゲテ置ク必要ハナイデヤナイデスカ、之ヲ特ニ金持バカリヲ特別待遇スルト云フ其考自體ガ間違ッテ居ル、殊ニ先ニ御話シタ通り、三分ノ一ノモノ、當リ前ナラバ加入シナイト云フ三分ノ一ノ中ニハ、貧乏人モ金持モアル、貧乏人ハ何故其處ニ強制シテ入レナケレバナラヌカ、ドウシテモ自分ハ入リタクナイト云フ貧乏人モアル、金持モ

入リタクナイト云フ者モアル、三分ノ一ニデスヨ、其中ニ貧乏人ハ強制加入サレテ、金持ヲ自由ニ委セタラ、貧乏人モ自由ニ委セタラ宜イト思フ、サウ云フ考ヘ方ハ恐ラク何處カラ來タ不純ノ考ヘ方デハナイカト思フ、殊ニ農村ノ方ニ於テハ、サウ云フコトヲスレバ、其一人ニ對スル恨ハ大變ナモノデアルカラ、其恨ヲ除ク爲ニ於テモ、即チ村ノ平和ヲ維持スル爲ニ於テモ、金持ノ除外例ヲ置クト云フコトハ除カナケレバナラヌ、ソレニ付テモウ一遍……

○廣瀨政府委員

ソレハ金持ヲ除クト云フコトニ致シマシタノハ、強制ヲ致シマスカラ、強制ヲシマスト除クト云フ條文ガナイト入レテシマフコトニナル、ソレハ私共ハドウシテモ面白クナイ、ヤハリ強制ハスベキモノデハナイ、金持ハ自發的精神ニ依ッテ入ッテ貰ヒタイ、其爲ニ斯ウ云フ工合ニ特ニ除クト云フ條文ヲ入レタノデアリマス、ソレナラ貧乏人ヲ強制シテハヒドイデヤナイカト云フ御話デアリマスガ、是ハ中産並ニ其以下ノ者ヲ對象トシテ考ヘテ居ル、中産並ニソレ以下ノ者ガ相扶互助ノ精神ニ基イテオ五ニ助け合ッテ行カウト云フノデアリマスカラ、ヤハリ貧乏人ヲ強制スルト云フコトハ、是ハ此制度ノ已ムヲ得ザル所デア

ル、ソレガ目的デアアルノデアリマスカラ、貧乏人ハ強制スル、併シ金持ハ希望トシテハ吾々ハ入ッテ貰ヒタイガ、法ニ依ッテ強制マデシテヤルト云フコトハ宜クナイ、其理由ハ金持ハ自ラノコトヲ處理シ得ルカラ、斯ウ云フ點ニアルノデアリマス、尙ホ附加ヘテ申上ゲテ置キマスガ、之ニハ不純ナ動機ハ何モナイノデアリマスカラ、其點ニ付テ誤解ノナイヤウニ願ヒタイト思ヒマス

○藏原委員

ドウシテモ私ニハ分ラヌ、説明ヲ聽イテモ聽イテモ同ジコトヲグル、話シテ居ルノデ、結局意見ノ相違ニナルカモ知レマセヌケレドモ、恐ラク廣瀨君デモ虚心坦懷ニ話シテ呉レ、バ、意見ノ相違ニナラズニ僕ノ說ニ御賛成ニナルト思フ、一應案ヲ出シテ其間ニハ色々ノ經緯ガアリマセウカラ、斯ウ云フコトニナルノデセウガ、ソレデヤ若シ斯ウ云フコトヲ希望シタラ——勅令カラ除クト云フ附帶決議デモ付ケタラ、ソレデ勅令カラ除イテ貰フコトガ出來マスカ、同意サレル御意思ガアリマスカ、甚ダ御意思ニ背イテハ相濟マヌコトニナリマスガ、サウ云フ決議デモアレバ、勅令カラ除クコトニ同意サレマスカ、金持カラ恨マレルコトハ吾々覺悟ノ前デアアル、併シハ村ノ平和ヲ維持スル上カラドウシテモヤ

ラナケレバナラヌ、内務省ガ誤リガアルナラバ、私共ハ直シテ貰ヒタイ、ソレデアルカラ、勅令カラ省令ノ中ニサウ云フ事ガアルト云フコトヲ削ッテ貰ヒタイト云フコトヲ附帶決議デモスレバ削ッテ貰ヘマスカ

○廣瀨政府委員

サウ云フ附帶決議ハ一ツナサラヌヤウニ御願致シタイト思ヒマス、ソコデ私共ノ考ト致シマシテハ、是ハドウシテモヤル、分ラヌト仰セラレマスガ、私共ハ金持ト非常ナ貧乏人ハ、是ハ兩方トモ除キ得ルモノ、斯ウ思ッテ居リマス、其點ヲ變ヘル譯ニハ參リ兼ねマス

○藏原委員

ソレデハ同ジコトヲ何遍聽イテモ同ジコトデスカラ先ニ進ミマス、第二十五條ニ保險料ノ徵收ト云フコトガアリマス、此保險料ノ徵收ニ付テノ議論ハ是迄度度アリマシテ、其徵收ノ困難ナル事情、ソレカラ相當戸數割ニ比較シテ、割合ニ戸數割ニ近イ相當ノ負擔——重課ト云フヤウナコトニ付テノ點モアリマシタ、之ニ付テハサウ云フ議論ガアリマシタカラ申上ゲマセヌ、尙ホ今三宅君カラ此オ五ノ分擔金ヲ定メル時ノコトニ付テノ御希望ヲ述ベラレタ、ソレニ付テモ申上ゲマセヌ、唯斯ウ云フ相當重イ負擔、ソレヲ納メナケレバナラナイ、而シテ又オ五ヒノ具體的ノ分擔金ニ

付テハ、相當程度ノ差等ヲ付ケナケレバナ
ラス、差等ヲ付ケテ之ヲ徴收スル、其差等
ヲ付ケル標準ヲ何處ニ置クノデアルカ、或
ハ戸數割ミタイナ結果ニ陥リハシナイカ、
吾々ハ戸數割ニ付テ非常ナ欠陥ヲ感じテ居
ル、戸數割ノ全廢ヲ叫ンデ居ルノハ、寧ロ賦
課方法ノ欠陥カラ戸數割ノ全廢ヲ叫ンデ居
ルノデアリマス、唯是デハ組合規約ニ其方
法ヲ書クト云フダケノ極メテ簡單ナ規定デ
アリマス、之ニ對スル監督ノ方法ナリ、或
ハ差等ノ方法ナリ、何等カ特別ナ

〔委員長著席、三善委員長代理退席〕

御方針ナリ、或ハ其具體的ナ標準ナリト云
フモノガアリマスカ、アレバ一ツソレヲ御
示シヲ願ヒタイト思ヒマス

○廣瀨政府委員 保険料ノ問題ニ付テ從來
モ色々御議論ガアリマシタ、又色々御心配
ノアツタ點モアリマスガ、之ニ付キマシテ
ハ、ヤハリ大體組合員ノ資力ニ應ズルト云
フコトデ目安ヲ決メテ行クノデアリマス、
ソレデ之ニ對スル監督ニ付キマシテハ、規
約ヲ組合會決メ、或ハ理事會ヲ通り、知
事ノ承認ヲ受ケ、サウシテ尙ホ個々ノ保險
料ノ賦課徴收ニ付テハ、又訴願訴訟ノ途モ
設ケテノル、斯ウ云フコトヲ致シマシテ、
其間ニ於テ誤リノナイヤウニ、之ヲ十分ニ

監督致ス方針デアリマス

○藏原委員 唯十分ナ監督ヲスルト云フダ
ケデハ極メテ私ハ心許ナイ、資産ニ應ジテ
是ニハ大體十等位ノ標準ニ分ツテ、最低ハ五
十錢カラ最高五圓位デアルヤウデアリマ
ス、併シ斯ウ云フヤウナ極ク簡單ナ考デ居
ラレルト、是ハ若シ神様ノヤウナ人バカリ
ナラバ、是ハモウ決シテサウ心配ナコトハ
ナイ、若シ本當ニ今ノ町村デモ、或ハ町村
長以下神様ノヤウナ人バカリナラバ、今ノ
戸數割ハ非常ニ良イト思フケレドモ、此神
様見タヤウナ人ヲ相手トシテ考フレバ良イ
組織ガ、實際ニ於テハ——殊ニ一番政黨ノ
盛ナ地方ニ於テハ、是ガ反對ノ道具ニナル、
斯ウ云フ所ニ、町村ノ有力家ノ自分ノ氣ニ
喰ハヌ人ヲ虐メル道具ニナルト云フコトヲ
心配スル、其道具ニナラヌヤウナ標準、或
ハ組織ヲ考ヘナケレバナナイト思フ、サ
ウ云フ考ガアルカナイカ、ナケレバ又是カ
ラ先キ是非作ッテ載キタイ

○廣瀨政府委員 保険料ノ徴收方法、減免
其他ニ付テハ、是ハ規約ヲ以テ決メル、其
際ニハ組合會或ハ理事會ト云フモノデ決メ
マス、サウシテ知事ガ承認ヲシ、監督ヲス
ル、ソレデモ不十分ダ、色々弊害ガ起ルカ
モ知レナイト云フ仰セデアリマス、是ハ御

心配ノ點ハ御尤ト存ジマスガ、併シサウ云
フコトハ監督ニ依ッテ出來ルダケ排除スル、
ソレカラ又此仕事ノ性質自體ガ病氣ニ關ス
ル問題デアリマシテ、オ互ノ眞ノ理解サウ
シテ相互ニ協力シテ行クト云フ根本精神ニ
基イテ居ルノデアリマスカラ、サウ云フ點
モ考慮シナケレバナリマスマイ、ナリマス
マイカラ、特ニ監督致ス譯デアリマス、其
監督ニ付テハ十分ニ——ト申上ゲタノデア
リマスガ、其十分ニデハ尙ホ不十分デア
ル、何カ具體的ナ方法ガナイカト云フコトデア
リマスガ、或ハ監督官ニ依ッテ監査スルト
カ、或ハ其役員ガ不當ナコトヲスレバ被
免スルト云フヤウナコトモアリマス、アリ
マスガ、サウ云フ惡イ方ヲサウ考ヘズニ、
此仕事自體ノ道德的性質ニ鑑ミマシテ、ソ
チラノ方ノ道德心ノ助長ニ出來ルダケ努力
スルト同時ニ、行政監督モ周密ニスル、是
デ一ツ御満足願ヒタイト思ヒマス

○藏原委員 此保險料ニ關スル問題又特ニ
均衡ヲ失シナイヤウニスルコトニ付テノ議
論ハ、何回致シマシテモ致シ方アリマスマ
イ、唯私ハ此際其具體的ナ何カ標準ヲ示シ
テ非常ナ精密ナ御監督ヲナサルコトガ必要
デアルコトヲ申上ゲテ、實際ニソレヲ行ハ
レンコトヲ希望スル、ソレハ外デハナイ、

戸數割ノ弊害ガソコカラ來テ居ル、ソレデ
戸數割ト同ジヤウナ方法デヤラレルト見ナ
ケレバナラス、町村會決メ、理事會決
メ、知事ノ承認ヲ求メル、同ジ事デア
ル、デアルカラ是ハ特ニ戸數割ノ失敗ニ鑑
ミテ、何カノ方策ヲ樹テ、戴キタイ、私ハ
斯ウ思フ、先キニ移ッテ行キマスガ、駈足デ
行キマス、是カラ先此健康保險ヲ行ッテ行
ク實際ト申シマスカ、決心ト申シマスカ、
私ハ是ガ保險ノ實體ダト思フ、能ク御聽キ
ヲ願ヒタイト思フ、要スルニドンナ組織、ド
ンナ方法ヲスルニシテモ、危險分散ノ組織
ニ依ッテ、兎ニ角被保險者ニ對シテハ是ハ成
ベク負擔ノ輕イモノニ或ハ成ベク負擔ノシ
易イヤウニスルト云フノガ趣旨デアラウト
思フ、唯併シ茲ニ考ヘテ戴キタイノハ、又
今迄ノ御説明カラ見ルト、多分是ハ私ノ考
ヘテ居ル通りダト思フノハ、今度ノ國民健
康保險ハ、御説明ニ依ルト國民ノ八割ヲ相
手トスル、國民ノ八割トスレバ、大體國民
全體ヲ相手トスルト云ッテ差支ナイト思フ、
今迄ノ労働者相手ノ健康保險ト云フモノガ
アリマスガ、是ハ大體所謂労働者ヲ相手ト
スル、謂ハハ國民ノ中ノ特殊ノ階級ヲ相手
トスルヤウナ組織ニナッテ居ル、所ガ今度ノ
國民健康保險ハ國民全體ヲ相手トスルト

云ッテモ差支ナイ、寧ロ醫療制度ノ劃期的ノ組織デアルト言ウテ差支ナカラウト私ハ思フ、サウスト一面ニ於テ健康保險料ニ付テハ、是ハ今ノ農民ノ狀態カラ、是ハ成タケ安ク、或ハ輕クスル、或ハ負擔シ易イヤウニスルト言ッテモ、健康保險ノ其反對ニ起ルベキ給付ノ問題ニ付テハ、即チ醫療ノ行為ソレ自體ニ付テハ、是ハ即チ、何ト申シマスルカ、一番下ノ方ノ階級ト言ヒマスカ、下ノ位ヲ其標準ニスルコトナクシテ、ソレガ全體國民全般ノ本當ノ平均ノ治療行為ト申シマスルカ、醫療ノ内容ト申シマスカ、醫療ノ程度ト申シマスカ、ソレヲ維持スルト云フコトガ絶對的ニ必要ダト私ハ思フ、豫メ之ニ付テノ政府ノ御所見ヲ伺ッテ置キタイ、要ハ一面ニ於テハ、保險料ハ低ク、或ハ負擔シ易イヤウニスルガ、診療行為、或ハ醫療ノ内容ト云フノハ、ソレハ決シテ其内容ヲ下ゲルノデヤナイト云フ、寧ロ下ゲルヨリモ之ヲ今迄ヨリモ高メテ行クト云フヤウナ考ヘ方デアルカドウカ

○廣瀨政府委員 御話ノ點ハ、保險料並ニ保險給付ニ關スル問題デアリマシテ、是ハ最重要ナ問題デアッテ、御意見ノ所ハ洵ニ私共サウ思ヒマス、保險料ハ出來ルダケ負擔シ易クシテヤラナケレバナラスト思ヒマ

ス、農村ニ於テ實際保險料ノ負擔ト云フモノハ、相當苦痛デアル、是等ニ付テハ私共決シテ輕々シイ問題トハ考ヘテ居リマセヌ、出來ルダケ是ハ一ツ負擔ノシ易イ方法ニヤラナケレバナラス、ソコデ負擔ノシ易イ方法ヲ取リマスルニハ、ヤハリ何ト申シマシテモ、其地方々々ノ經濟上ノ實情ニ應ジタ自治ニ依ルヨリ致シ方ガナイ、自治ニ依レバ自分ノ自力ニ應ジタ程度ニ決定ヲ致シ、サウシテ保險料ヲ決メルコトニナルカラ、ヤハリ自治ニ依ラナケレバナラスト思ヒマス、サウシテ之ニ對シテ國家トシテハ社會保險デアリマスカラ保險料ヲ安クセシムルト云フ意味ヲ以チマシテ、出來ルダケノ補助ヲ致シタイ、ソレカラ保險料ノ納付ノ問題ニ付テモ色々考ヘテ行カナケレバナラスト思ヒマス、唯保險料ト云フモノハ、從來ハ醫療費トシテ支拂ッテ居タモノ、先ヅ形ヲ變ヘタ點ガ大部分デアルト云フ點ガ、恐ラク困難デハアリマセウガ負擔ラシテ貰ヘル點デハナイカ、斯ウ云フ具合ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ保險給付ノ問題デゴザイマス、此問題ニ付テハモウ前々御議論ヲ承リマシテ、私共モソレニ同感ニ感ズル點ガ多イノデアリマス、保險給付ノ醫療ノ内容ノ低下ヲスルト云フコトヲ非常ニ御心配ニ

ナッテ居ル、ソレカラ、同時ニ又續々醫療費ヲ安クサレテハ困ルト云フノト、又醫療費ヲ今度ハ搾取ノ原因ニシテハナラスト云フ兩點カラノ御意見ガアッタノデアリマス、此點ニ付キマシテハ、私ハ醫療内容ノ低下ヲ來サナイヤウニ考ヘナケレバナラス、ソレニ付テ保險醫療費ノ問題トシテハ、ドウカ地方ノ實情ニ應ジタ醫療費ニ依リマシテ、サウシテヤハリ是ハ合理的ナ所デ知事ガ決メルヨリ仕方ガナイ、何處ガ合理的のカト云フコトハ、ソレハ地方ノ判斷ニ俟ツヨリ仕方ガナイト思ヒマスガ、決シテ此制度ガ醫療内容ノ低下ヲ目的トシ、或ハ低下ヲ來ストカ、或ハ徒ニ醫療費ヲ安クスルト云フヤウナコトノミヲ考ヘテハナラス、妥當ナ所ニ持ッテ行カナケレバナラスト思フノデアリマス、ソレ等ノ點ニ付テハ十分ニ注意ヲ致シマシテ、醫療内容ノ低下ト云フコトハナイヤウニ、サウシテ又醫療費ノ如キモ妥當ナ所ニ落著クヤウニ致サナケレバナラスト思ヒマス

○藏原委員 其點ニ付テハ御當局ノ意見ヲ諒トシマス、非常ニ結構デス、若シ醫療費或ハ診療費ヲ妥當ノ所ニ置クト致シマスルト、是ハヤハリ御醫者サンニ對スル費用、其他ノ費用ハ、相當ヤハリ是ハ覺悟シナケ

レバナラスト私ハ思フ、ソレハドウデセウカ、妥當ノ診療ノ内容デゴザイマスガ、ソレヲシナガラ、而モ費用ダケニ付テハ、是ハ節約主義デヤルトカ何ト云フヤウナコトハ爲サラズニ、恐ラクソレニ對スル相當ナ費用ハ覺悟シナケレバナラスト私ハ思フ

○廣瀨政府委員 御話ノ點ニ付キマシテハ、私共デハヤハリ妥當ナ所デ落著カナケレバナラス、ソレニ付テハ相當澤山ノ金ガ掛ルダラウト云フコトヲ御考ニナル、澤山ノ金ガ出シ得ルナラバ結構デアリマス、但シ農村ノ實情カラ言ッテ、中々サウ大キナ金ハ出セナイデアラウト思ヒマス、ソコデヤハリ地方ノ實情ニ應ジタ保險料ヲ取り、地方ノ實情ニ應ジテ妥當ナル保險支出ヲスルト云フコトヨリ致シ方ガナイ、ソレデソレナラ妥當ノ支出ハ一體ドウ云フコトカト仰セラレルナラバ、ソレハヤハリ最モ分り易イ點ヲ申シマスルト、ヤハリ診療ノ日數等ニ於キマシテ、地方ノ實情ニ應ジタ保險料ノ程度ニ應ジテ日數等ヲ適當ニ考ヘルヨリ致シ方ガナイ、サウシナケレバ非常ニ醫療内容ノ低下ヲ來スト云フ憂ガアリマスカラ、ヤハリ或ル程度ノ日數ノ制限ヲスルヨリ仕方ガナイ、是ハ現在ノ健康保險ニ於テハ、百八十日ヲ以テ制限ノ日ト致シテ居リ

マス、國民健康保險ニ於テハ、若シ地方ノ農村ガ富裕デアラナラバ、百八十日モ或ハ三百日モ保險給付ガ出來ルカモ知レヌケレドモ、若シ農村ガ貧弱デアリマスルナラバ、保險料モ從テ安イ、サウナリマスレバ、徒ニ醫療費ノ診療内容ノ低下ヲ來サシテハナラヌト云フ見地カラ見レバ、ヤハリ或ル程度ノ日ヲ立テナケレバナナイ、或ハ九十日ニスルト云フ制限ヲ致シテ、兩者ノ「バランス」ヲ調節スルヨリ致シ方ガナイト思ヒマス、是ニ於テ若シ國ノ援助ガ十分出來レバ結構デアリマスガ、ソレニモ自ラ限度ガアルトスレバ、ヤハリ保險支出ノ方ハ日數ノ問題ニ依ッテ按配スルヨリ致シ方ガナイ、併ナガラ日數ノ問題ヲ按配致シマシテモ、相當ナ病氣ノ殆下大部分ハヤハリ此保險支出ニ依ッテ治療ヲスルコトガ出來ルト云フヤウニ、吾々ハ見込シテ居ルノデアリマス

○藏原委員 大體ノ御氣持ハ分リマス、ソレニ連レテ大分先走ッテ御返答ヲ承ッタヤウデ甚ダ恐縮デス、唯私ガモウ一ツ確メテ置キタイノハ、現在ノ農村ノ事情、農村バカリデナシニ、或ハ日本全體ノ事情ト言ッテモ差支ナイカモ知レヌト思フ、段々貧乏ニ陥ッテ居ルト云フ事實ハ御認メデセウカ、段

段貧乏人ガ殖エテ居ル、是ガ何カラ來テ居ルカト云フト、其中ノ重大ナル一ツノ原因ハ疾病デアリマス、是カラ來テ居ルト云フコトヲ御認メ願ヘレバ結構ト思フ、ガ併シ是ハ統計ノ問題ニナリマスガ、私ハサウ云フ風ニ考ヘテ居ル、而シテ現在モ段々貧乏ニナッテ居ル、又今年デスカ或ハ去年、一昨年デスカ、徴兵検査ノ表ニ現レタ點カラ言ッテモ、所謂甲乙種ノ合格者ハ段々毎年減ッテ居リ、丙種ニ對スル割合ガ——去年ノ調査依リマスルガ、甲乙種ガ六割デ丙種ガ四割ニナッテ居ル、コ、暫クノ間ハズット三割程度デアッタノガ、四割ニ殖エテ居ルヤウデアリマス、斯ウ云フヤウナ事實ガ一面ニ貧乏ニ陥ッテ居リ、一面ニ體位ガ落チテ居ル、此事實ハ現在社會局ノ方デ何ヲ標準トシテ計算サレタノカ分リマセヌガ、二十五圓ノ醫療費ヲ納メテ居ル現在ニ於テ、既ニ此貧乏ニナリツ、アル、又一面ニ於テハ體位ガ降下シテ居ルト云フ事實ガアルト云フコトニナレバ、是ハ本當ニ國民ノ體位ヲ維持スル、或ハ又貧乏ニナラヌヤウニスルニ付テハ、是ハ少クトモ此法律ハ其儘ニシテ置イテモ、内務省ノ方針トシテハ是ハ私ハ體位ノ降下或ハ貧乏ニナルト云フ事實ヲ防グダケノコトニ付テ、何カノ補助ヲシテヤラ

ナケレバナラヌト思フ、ソレガナケレバ唯今ノ狀態デ、二十五圓ノ醫療費ヲ納メルト云フ狀態デハ、段々貧乏人ガ殖エテ行ク、體位ガ下落シテ居ルト云フトキニ此健康保險ヲヤッタニシテモ、之ニ依ッテ其貧乏ト體位ノ下落ト云フコトハ防グコトハ出來ナイデヤナイカト思フ、殊ニ今マデハ全部オ醫者サンニ納メタモノヲ、健康保險組合ヲ作ッテヤレバ、其一部分ハドウシテモ事務費ニ取ラレルコトニナル、ドウシテモ其事務費ニ取ラレル分ダケハ診療費ガ少クナルト見ナケレバナラヌ、サウ云フヤウナコトニナルト、今マデノ標準ニ依ッテ、ソレヲ一切事務費ニ使ハヌデモ、體位ノ降下ト云フモノハ免レナイ、又貧乏ニナルコトハ免レナイ、ソレヲ又事務費ニ使フト云フコトニナルト、尙更體位ノ降下或ハ診療費ノ低下ヲ來シテ、事實本法ノ目的ニ副ハナイ狀態ニ行キハシナイカト云フコトヲ私ハ憂フルノデアリマス、サウ云フ點ニ付テノ御見解ヲ承リタイ

○廣瀨政府委員 此貧乏ニ付テハ色々アリマセウ、健康ノ問題、病氣ノ問題、色々ノ原因ガアルト思ヒマスガ、ソレヲ一舉ニ此健康保險ニ依ッテ解決スルト云フコトハ、非常ニ困難ナコトデアアルト思ヒマス、ケレドモ今度ハ健康保險法ノ制定ニ依リマシテ、私共ハ二十五圓ノ醫療費負擔ノ問題デアリマシテモ、之ヲ適當ニサウシテ保險組織ニ依ッテ平素餘力ノアルトキニ、心懸ラ良クシテ掛金ヲシテ、サウシテ事アル時ニ備ヘルト云フ方法ヲ執リ、事ガアツタ時ニハ多數ノ人が共同シテ一人ノ人ヲ救フト云フ立前ヲ取ルノガ保險ノ組織デアリマスカラ、此種ノ保險ヲ利用シテヤルナラバ、同ジ金ヲ使ッテモ其效果ハ非常ニ大キイノデハナイカト思フ、今回ノ統計ノ基礎ニ付テハ、或ハ二十圓、二十五圓色々アリマスガ、此保險組織ヲ利用スルコトニ依リマシテ、私共ノ考デハヤハリ防貧ノ一ツノ政策トシテ相當效果ヲ擧ゲ得ルト云フコトヲ信ジテ居ルノデアリマス、ソレハ何故カト申シマス、是ハヤハリ保險ノ特長デアツテ、平素心懸ラ良クシ、掛金ヲシテ事アルトキ之ニ應ズル方法ヲ執リ、多數ノ人ノ協力ニ依ッテ事ニ當ルト云フ諸點カラ見マスレバ、相當防貧ノ成績ヲ上ゲ得ルモノデアアル、同時ニ又此保險制度ニ依ッテ、兎ニ角疾病ニ對シテ早イ處置ヲ執ルコトガ出來ル、ソレカラ又此保險組合ハ保健所等ノ指導ノ下ニ置キマシテ、保健的ニ積極的ナ活動モ出來ル、體位ノ向上ニ對シテモ私ハ資スルコトガ出來ルト思

ヒマス、今日デハ其數ガ非常ニ少イカラソ
レ程目立タヌノデアリマセウガ、是ガ相當
普及スレバ防貧政策トシテノ價值モアリ、
體位向上トシテノ價值モアリ、農村ニ於ケ
ル第一線ニ立チマシテ、保健所等ノ指導ノ
下ニ於テ表面ニ向ッテ相當ナル效果ヲ生ジ
得ルモノト思ッテ居ルノデアリマス

○藏原委員 只今ノ御答辯ヲ承ッテ、洵ニ效
能書ヲ竝ベラレタヤウナ感ジガ致シタノデ
アリマス、廣瀬君ノ仰シヤル通りニ致スト、
ソレハ恐ラク其計畫ガ立ツト思ヒマス、併
ナガラ二十五圓ノ醫療費ガ現在實際ソレダ
ケ納メナケレバ、一人々々ノモノハ何デモ
アリマセヌガ、全體ノ上ノ平均トシテノ問
題ハ、二十五圓ノ醫療費ヲ納メテ居ッテ、サ
ウシテ貧乏トソレカラ體位ノ下降ト云フモ
ノトハ付キモノデス、事實デス、徴兵検査
ニ現ハレタ事實デス、貧乏人ガ殖ヘタト云
フコトハ、今統計ヲ持ッテ居リマセヌガ事實
デアリマス、斯ウ云フコトヲ憂ヘテ斯ウ云
フ保險ガ今出タノデアリマセウガ、ソレダ
カラ唯二十五圓ダケヲ目安ニシテ來レバ、
其中ノ或ル一部分ハ事務費ニ使ハレルト云
フコトニナルカラ、今マデ使ッテソレデド
ウシテモ行カナカッタ體位ノ向上ト云フコ
トニ付テ、尙更出來ナイコトニナルト云フ

ヤウナ、唯數學的ノコトデモ結論ガ出デ來
ルデヤナイカ、茲ニ保險組織ト云フノハ、
唯其人間ガ、一人々々ノ、例ヘバ貧乏人ガ
負擔ヲ感ズル度合ヲ少クスルト云フノデ、
其社會的ノ所謂體位ノ下降トカ、或ハ貧乏
人ニナルト云フ事實ハ、保險組織其モノデ
直クニ救ハレルモノデヤナイ、ソレガ色々
ナ行動ヲ爲ス、或ハ餘計ナ金ヲ使ッテ、サウ
云フ行動ヲ爲スコトニ依ッテ、初メテサウ云
フ狀態ガ救ハレルノデアリマス、唯今ノ狀
態ヲ基礎トシテ、其基礎數字ノモノダケヲ
使ッテ、サウ云フ仕事ガ出來ルカ出來ヌカ、
私ハサウ云フコトハ絕對ニ出來ヌト思フ、
唯口先デ斯ナ事ヲヤル、斯ナ事ヲヤル、
保健所ヲ通シテ斯ナ事モヤルト言ッテモ、
ソレニ伴フノハ金デス、ソコノ金ヲ念ヲ押
シテ居ル、ソレニ付テモウ一遍御答辯ヲ願
ヒマス

○廣瀨政府委員 今ノ御話デアリマスガ、
二十五圓ト云フ數字ヲ吾々ガ一應見テ居リ
マスガ、是ハマア大體ノ豫想デアリマス、
二十五圓ヨリモチットモ殖エナケレバ、増サ
ヌデヤナイカ、ソレデハチットモ貧乏ハ直ラ
ヌ、健康ヲ増サヌデヤナイカ、斯ウ言ハレル
ノデアリマスガ、併シ同ジ二十五圓ノ金デ
モ、使ヒ方ニ依ッテハ非常ニ效果ガアル、之

ヲ平素カラ保險組織ニ依ッテ、逐次ニ之ヲ必
要ナ場合ニ於テ使フト云フ方法ヲ執レバ、
非常ニ役ニ立ツ非常ナ大キナ病氣デ困ッテ
カラ、二十五圓ノ金デ效果ガ生ジナイ者ハ、
小サイ病氣ノ時ニ早ク手廻シスレバ、效果
ヲ生ズルデヤナイカ、サウ云フヤウナコト
ニナルト思ヒマスカラ、何レニ致シマシテ
モ、唯二十五圓ト云フコトニ私共ハ執著シ
テ居ル譯デハアリマセヌ、或ハ地方ノ農村
ノ組合ガ、若シ經濟狀態ガ好イノナラバ、
或ハ二十五圓以上出ルモノモアラウシ、又
惡イモノハ二十五圓以下ノモノガアルカモ
知レナイ、二十五圓ト云フコトハ一例ヲ舉
ゲテ申上ゲテ居ルニ過ギマセヌ、二十五圓
ノ金デアッテモ、私ハ其使ヒ様如何ニ依ッテ
ハ、實ニ效果ヲ舉ゲ得ルモノデアルト斯様
ニ考ヘテ居リマス、何時迄モ二十五圓ハ二
十五圓デアルト云フ譯デハナイ、ヤハリ必
要ニ依リマシテ適當ナ時ニ適當ナ方法ヲ以
テ收入ヲシ、適當ナ支出ヲスルナリ、效果
ヲ相當ニ舉ゲ得ルモノデヤナイカ、斯ウ云
フ工合ニ考ヘルノデアリマス

○藏原委員 ドウモ廣瀨君ノ説明デハ、二
十五圓ヲ——私モソレハ内務省カラ出シテ
アルノデ、ソレヲ根據トシテ、其中ニ於テ
一應ノ目安ト云フダケノ話、ソレハ二十五

圓デアルトカ何トカ言フノデハナイ、唯二
十五圓ト云フ其負擔ニ付テハ、廣瀨君ノ説
明ニハ私ハ承服スル、ソレハ保險組織ヲ作
リマシテ、其二十五圓ヲ負擔スルノニ、負
擔シ易クナルコトハ承服スル、所ガソレヲ
使ッテヤル時ニハ、即チソレヲ使ッテオ醫者
サンノ藥ヲ貰フニ於テハ、是ハ自ラ別問題、
保險行爲自體ノ問題デナクシテ、其保險行
爲ノ效果ノ上ノ問題、ソレヲ自ラオ醫者サ
ント云フ相手ガ居ルカラ、私共ハ心配スル、
其オ醫者サンニ今迄拂ッテ居ッタ金ト云フモ
ノハ、要スルニ保險デ今度ハ取ルノデアリ
マスガ、併シソコニ於テ本當ニ考ヘナケレ
バ、若シ節約主義デ來ルト云フコトニナル
ト、實質ニ於テハ醫療低下ニナル、ソレダ
カラ是ハドウシテモ節約主義デハ行カナ
イ、是ハ國民ノ殆ド全體ヲ相手トスルノデ
アリマスカラ、寧ロ節約主義ト云フヨリモ、
醫療行爲ノコトハ今ヨリモ或ハ寧ロ一步上
ニ置イテ、サウシテ其費用ハ——醫療行爲
ニ應ズル費用ハ、國家ガ覺悟シナケレバナ
ラヌ、若シソレガ被保險者ガ負擔スルコト
ガ出來ナケレバ、即チ茲ニ國家ガ思切ッテ補
助スルト云フ態度ニ出ナケレバ、是ハ本當
ニ效果ハ少イト私ハ左様ニ考ヘル、ソレヲ
確メテ居ルノデアリマス、所ガ實際ニ於テ

ハ、私共ハ此點ニ付テ今度ノ提案ガ極メテ姑息のデアリ、マダ本當ニ決心ヲ現ハスニ足ラヌト思フノデアリマス、是ハ是カラ逐一御説明ヲ願ヒマスガ、其點ニ付テ一寸御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○廣瀨政府委員 私共ノ考デハ、地方ノ實情ニ應ジタ保險組織ヲ作ラセルナラバ、從來ノ金ハ假令同ジ金デアッテモ、其效果ハ非常ニ舉ガルト云フヤウニ考ヘテ居リマス、ソレカラ又内務省ノ今回ノ計畫ナリ何ナリガ非常ニ不十分デアル、ソレニ付テハ成程モット財政的ノ援助ガ出來ルナラバ、ソレハ非常ニ結構デス、併ナガラ中々サウバカリ參ル譯ノモノデモナイト思ヒマス、先ヅ此位ノ程度デ一應進ムヨリ致方ガナイト思ヒマス、サウシテ逐次ニ國民ノ本當ノ理解ノ下ニ之ヲ擴ゲテ行ク、サウスレバ十年ノ後ニハ相當ノ數マデ持ッテ行キタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、計畫ニ付テハモットソレハ理想的ナモノガ出來レバ、ソレハ何ヨリデアリマスルガ、ソレ迄ニ致スノハ中々困難デアリマス、今回ノ補助ハ一人ニ對シテ一圓デアリマスガ、是ハ少ナイト云フ御議論ハアリマスガ、一家ニ對シテ五圓、一村ニ對シテハ相當ナ金ガ要ルノデアリマスカラ、之ヲ從來ノ何モヤラ

ナカッタ時ニ較ベレバ、ソレハ私ハ非常ニ效果ガアルンデヤナイカト思ヒマス、サウシテ此保險組織ニ依ッテ、金ノ效果ヲ本當ニ舉ゲサセルコトガ出來ルナラバ、非常ニ是ガ疾病ニ關スル問題、防貧ニ關スル問題、體位ノ向上ニ關スル問題ニ付テハ、效果ヲ舉ゲ得ルモノト、私ハ斯様ニ思ッテ居ルノデアリマス

○藏原委員 只今ノ御答辯デハ、マア大體此位ノ所デヤッテ行カウ、補助デモ餘計ヤル程結構ダガ、併シソレモ今ハ意ノ儘ニナラスト云フヤウナ御答辯デアッタと思フ、私ハ其態度ガ甚ダ遺憾デアルト思フ、本當ニヤル氣ナラバ、モウ少シ眞剣ニヤラレタラドウカ、本當ニ效果ヲ舉ゲルヤウニヤラレタラドウカ、ソレニ付テハ思切ッテ補助金ヲ取ラレタラドウカと思フ、此第四十九條ニハ「國庫ハ豫算ノ範圍内ニ於テ組合及組合ノ事業ヲ行フ法人ニ對シ補助金ヲ交付スルコトヲ得」ト云フコトガ書イテアル、是ハ極メテ不明確ト言ヒマスガ、本當ニ信念ヲ現ハシテ居ナイ條文ダと思フ、ソレガ今廣瀨君ノ返答ノ態度ト丁度合フト思フ、私ハ是デヤ目的ハ達セヌト思ヒマス、斯ウ云フコトニ付テハ、是ハ外ニモ例ガアリマスガ、ソレハ又別ニ後ニ言ヒマスガ、斯ウ云フ態度

ヲ執ッテハイカスト思フ、ソナコトデドウ云フ風ニシテ之ヲ普及サレマスガ、之ニ付テ私ハ極メテ憂慮スル者デアリマス

モウ一ツ保健所ノ法案ガ茲ニ出テ居ル、サウシテ之ニ付テモ府縣ニ對シテ補助金ヲ出サレル規定ヲ作ッテ居ラレル、ソレニ依ルト第六條ニ「國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ保健所ニ關スル經費ノ支出ヲ爲ス公共團體ニ對シ其ノ支出額ノ二分ノ一以內ヲ補助ス」ト書イテアル、是ハ同時ニ出サレタ、衛生局ノ主管カモ知レヌガ、局ノ如何ニ依ッテ差ノアルベキモノデハナイ、是ニハ二分ノ一ト云フ大體標準ヲ示シテ、結果カラ言フト同ジヤウニナルト詭辯ヲ弄サレルカモ知レマセヌガ、兎ニ角最高限度二分ノ一ト云フ標準ヲ示シテ、其以內ヲ支給スルトアル、衛生局ノ主管ハソレデアリ、社會局ノ主管ハ豫算ノ範圍内ニ之ヲ取ラウト云フヤウナコトデアルガ、サウ云フヤウナコトデハ其信念、其掛ル意氣込ト云フモノガ甚ダ薄イ、是ハ第六條ト同様ニシテ、寧ロ私ノ希望カラ言ヘバ、保險料ノ二分ノ一トシテ貰ヒタイト思フ、サウシテ本當ニ分配ヲシテ貰ヒタイト思フガ、サウ云フ風ニナサル御考ハナイカ、一ツ此御答辯ヲ願ヒタイ

○廣瀨政府委員 補助ノ點ニ付キマシテ

ハ、豫算ノ範圍内ニ於テト云フヤウニ書イテアリマスガ、併シ決シテ私共ハ不熱心デアルトカ、或ハ政府ガ熱意ガ足ラヌト云フ譯デハアリマセヌ、此點ハ是非一ツ誤解ノナイヤウニ願ヒタイト思ヒマス、私共モ兎ニ角法律案ヲ提出致シテ居ルノデアリマシテ、此案ハ一年ヤ二年デ出來タ譯デモゴザイマセヌ、相當ニ色々研究ヲ致シマシテ出來タ案デアリマシテ、是ガ通過ヲ致シマスルナラバ、私共モ全力ヲ舉ゲテ此普及ニ努メタイ、其徹底ニ努メタイと思フノデアリマス、ソレデ只今四十九條ノ問題ニ付テ豫算ノ範圍内ニ於テトアル、之ヲ何分ノ一ト云フコトニ決メル意思ハナイカト云フコトデアリマスガ、サウ云フ考ハ持ッテ居リマセヌ、ト申シマスルノハ、何分ノ一ト云フコトヲ決メルノハ非常ニ拙イト思ヒマス、ト申シマスルノハ保險給付トカ、保險料ノ方ハ地方ノ實情ニ依ッテ決メラレルノデ、豫メ決マッテ居ルモノデハナイ、地方ノ實情ニ依ッテ、或所ハ安イ所モアリマセウシ、或所ハ高イ所モアリマセウ、ソレヲ皆二分ノ一、十分ノ一ト云フヤウナコトヲ決メルト云フコトハ却テ適當デナイノデアリマシテ、私共ノ考デハヤハリ豫算ノ範圍内ニ於テト云フコトデ、大體ノ目安ハ健康保險ト同ジヤ

ウナコトデ宜カラウト思ヒマスルガ、當初ニ於テハ少シ餘分ニ見テ、サウシテ何分ノ一主義デナク、大體人頭割デ相當分ヲヤル方ガ、貧乏人ノ方ニ餘計金ガ行クノデハナイカト思ヒマス、若シソレヲ割合主義ニスルト云フト、却テ拙イ結果ヲ來スノデヤナイカト思フ、唯豫算ノ範圍内ニ於テト書イテ居テ數字ヲ明示セヌノハ、非常ニアヤフヤナ感ジヲ持タセマスケレドモ、併シ苟モ是ダケノ法律ヲ出シテ、サウシテ進ム譯デアリマスカラ其點ハ今回ノ政府ノ豫算案ニ一ツ御信賴ヲ願フテ、將來モ此方針デ行クモノデアルト云フコトデ、一ツ御安心ヲ願ヒタイト思ヒマス

○藏原委員

只今ノ御答辯ニ付テハサッパリ分ラナイ、二分ノ一主義或ハ標準主義ヲ採レバ、ソレガ却テ不適當ダト云フ理由ニ付テハ、或ハ相手方ヲ非常ニ惡イモノダトシテ考ヘレバ、サウ云フ考ヘ方モ出來ルカモ知レマセヌ、若シ相手方ヲ非常ニ惡イモノダトシテ考ヘルト云フコトニナレバ、何レ先刻質問シタ保険料ノ徵收ニ付テモ、保険料ノ割當ニ付テハ極メテ善意ニ解釋シテ居ラレル、是ハ恐ラク非常ナ前後矛盾デアッテ、若シソシナコトガナケレバ保険料ハ大體ニ於テ負擔シ得ル最高限度ヲ決メルニ相

違ナイ、サウ見ナケレバナラス、サウスルト其半分ヲ補助スルト云フコトハ、内務省ノ現在ノ狀態デモ、現在ノ補助ノ豫定デモ一圓、サウスルト兩方合セテ四圓ニナル、保険料ノ二分ノ一トスレバ二圓ノ補助ト云フコトニナル、ソレハ私ハ大シタコトデハナカラウト思フ、二圓トシテ二千五百萬人ト云フヤウナコトニシテモタッタ五千萬圓、五千萬圓ノ金ヲ此大事業ノ爲ニ使フ位ノコトハ、是ハ極ク易イコトデアル、一億圓デモ二億圓デモ使フテ宜イト思フ、是ハ又サウ云フ風ニシテ置クコトガ、本當ニ内務省ノ決心ヲ現ハス一ツノ方法ダ、法制的ニ現ハス方法ダ、警察ノ連帶支辨金ハ、是ハ説明スル迄モナク御承知デアル、若シ唯豫算ノ範圍内ダケシカ補助シナイト云フコトニナレバ、是ハ實際ト想像ト混同スルヤウデアリマスガ、私ハ實例ヲ以テ申上ゲル、來年度ハアナタ方ノ計畫ハ百二十ノ豫定ダト云フ話、ソレニ間違ナイデセウ、サウスルト昨日熊本縣カラ私ノ所ニ新聞ガ参リマシタ、是ハ二ツノ新聞ガ來テ居リマスガ、其二ツノ新聞共書イテ居リマス、縣廳ガ發表シタコトニ相違ナイ、來年度ヨリモウ既ニ掛ッテ一郡一ツ、ソレデモ縣廳ガ整理ヲシテ、一郡一ツツ、ノ先ツ保險類似ノ組合ヲ

作ルト云フコトニナッテ、ソレニ對シテ縣ガ三千圓補助スルト云フコトニ最早決定致シマシタ、サウ云フヤウナコトニナレバ、是ハ熊本縣デ若シ指導獎勵スルト云フコトニナルト二十、三十、五十ト出來ル、全國二十、三十、五十ツ、ノ府縣ガ集ッテ來レバ、五百、千ハ一遍ニ出來ルト思フ、サウ云フトキニ百二十ノ豫算ヲ以テ、内務省デドウシテソレヲ選ビ、ドウシテソレヲ拒否スルカ、若シソレヲ拒否スルトスレバ、内務省ガ本當ニ其普及ヲ希ヒ、之ヲ獎勵シナガラ、其攻寄セテ來タ其願ヲ拒否スル、内務省自體ガ自己否定ニ陥リハセヌカト私ハ思フ、之ヲ若シ二分ノ一補助ヲスルト云フコトニ決定ヲ致シテ居レバ、而シテ相手方ヲ紳士ト思ウテ居レバ、決シテ廣瀬君ノ思フヤウナ憂モナクシテ、豫算ニ今計上ガナクデモ、或ハ追加豫算デモ何デモシテ、ソレハ當然賄ヒ得ルト思フ、サウ云フ風ナコトニ法制上シテ置クコトガ、ソレガ即チ政府ノ決心ヲ示シ、國家ノ本當ノ信念ヲ現シテ居ルト私ハ思フ、是ハ決シテ彼此レ此案ニ苦情ヲ言フ譯デハナイ、折角之ヲ作ルノダカラ、吾々ハ本當ニ徹底シタ良イモノヲ作リタイ、吾々ハ之ニ參加シテ作ッタ以上ハ、國民ノ代表者トシテ、ドウシテモ良イモノヲ

コ、ニ現シテ置キタイ、ソレデ政府ノ方デモ、昨日アタリ大藏省ノ方モ御臨席ガゴザイマシタガ、今日ハ御見エニナリマセヌガ、マブソレハドウデモ宜イ、私ノ計算デスレバ七千萬圓、七千五百萬圓ノモノガ、大體コ、十年位ノ最高限デハナイカ知ラヌト思フ、斯ウ云フヤウナコトニシテ置クト云フノガ、即チ一番之ヲ——内務大臣モ前ニ仰シヤッタと思フガ、成タケ早く普及シタイ、之ヲ全國ニ成タケ早く及ボシタイト云フヤウナ希望ガアレバ、サウ云フヤウナ組織ニシテ置クト、私ハソレガ一番適當ダト思フ、是デハ決シテ——是ハ内務省ハ私ハ遠慮サレル必要ハナイト思フ、議會ノ方デ反對スルノデハナイ、議員ノ方デ喜ンデヤッテ呉レルト云フナラバ、ソレニ應ジテヤラレタナラバ如何デアリマスカ

○廣瀬政府委員

今ノ補助ノ問題デアリマスガ、私ハ其相手方ヲ惡イト云フ風ニ解釋シテ居ルノデハナイノデアリマス、私ノ言ッテ居ル言葉ガ足ラナカッタノデアリマセウガ、補助率ヲ決メマス、ソレハ貧乏ナル所ノ——要スルニ補助率ヲ決メルト云フト、保險給付ノ何割ト決メナケレバナラス、現在デハ健康保險法ノ方ハ、健康保險法ニハ其種ノ規定ガアリマス、十分ノ一デ

アリマス、一割デアリマス、今回ノ國民健康保險法モ、大體一割ノ見當デ將來行ク積リデアリマス、唯當初ハ一圓ト云フコトデ、マア假ニ現在デハ一人當リ一圓ト云フコトニ見テ居リマスガ、將來ハ五十錢ニナルト思ヒマス、五十錢ガ丁度一割ト云フコトニ吾々ハ見テ居ル、サウ云フ譯デアリマシテ、之ヲ今其割合デ決メルコトハ、實ハ非常ニ工合ノ惡イ點ガアルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、決シテ補助ヲ受ケル者ガ惡イト云フコトヲ言ッタノデハナイノデアリマス、サウ云フ意味デハアリマセヌ、却テ工合ノ惡イコトガアル、ソレハ貧乏ナ所デ保險料ノ負擔ガ少イ所ハ、隨テ保險給付モ少クナル、斯ウ云フ所ハソレデ行クト云フト、補助ノ金額ガ減ル譯デアリマス、ソレデハイカナイ、デアリマスカラヤハリ貧乏ナ所ハ、成ベク餘計ヤラナケレバナラス、ソレニハ此際ニハ人當割引ノ考ヘ方ノ方ガ宜シイ、斯ウ云フヤウナ考ヲ吾々ハ持ッテ居ル、併シマア將來ノコトハ兎モ角トシテ、私共ハヤハリ現在ノ狀況ニ於テハ、國庫ノ關係カラ見テ、現在ノ方法ヲ以テスル補助ガ、最モ適當デアルト信ジテ居ルデアリマス、ソレカラ尙ホ來年度百二十シカナイガ、ドウ云フ工合ニ分ケルカト云フ

點デアリマスガ、是ハヤハリ大體各府縣ノ模様ヲ見マシテ、各府縣ニ對シテ配當ヲ致シマス、或ル一箇所ニノミ之ヲヤルト云フ譯ニハ參ラヌト思ヒマス、是ハ致シ方ガナイト思ヒマス、ソレカラ其場合ニ於テ、吾々ハ一人當リ一圓ト大體見込ンデ居ル補助ヲ、無暗ニ組合ヲ多クスル爲ニ、減ラスト云フコトヲ決シテ致サヌ積リデアリマス、是ハ將來ノ爲ニ大體現在豫算デ、吾々ノ見込ンデ居ル所ヲ守ッテ進ミタイト思ヒマスカラ、其點ニ付テハ補助金ノ低下ト云フコトニ付テ、御心配ノナイヤウニ願ヒタイト思ヒマス

○藏原委員 國庫ノ狀態カラ大藏省カラ出サヌカラト云フ御話デアリマスガ、ソレナラバ内務省トシテハ致シ方ガナイカモ知レマセヌガ、計畫ハ大藏省ニ何スル必要ハナイ、議會ト相談ノ上デ議會ヲ通過サセル、通過シタ後ノコトニ付テ内務省ハ遠慮スルコトハナイ、決シテ僕ノ方カラ言フト御遠慮ナサル必要ハナイト思フ、尙又現在豫算ニ取ッテアル十六萬圓ノ何ハ、是ハ百二十組合ニ分配シテ、決シテソレヲ分散シテ補助金ヲ減ラスコトハナイト云フヤウナコトヲ御答辯ガアッタヤウデアリマス、併シ私ハドウ云フ風ニシテサウサレルカト云フコトヲ思フ、豫算ノ範圍内ダカラ、來年度ハ十六

萬六千圓アリマス、所ガ熊本デサヘ既ニモウ十二組合ハ豫定シテ置カナケレバナラス、十二組合出來ルノデス、之ニ政府ハ補助ヲ出シテ作ラセルト云フ、知事アタリガ之ヲ獎勵スルコトニナルト、恐ラクソレヲ作ル何ハ五百、千アルト思フ、ソレヲドウ云フ風ニシテ査定スルカ、若シ同様ナ條件ノ組合ガ——恐ラク内務省ニ出テ來ル時ハ、同様ナ條件ニシテ出テ來ルト思フ、サウ云フ時ニハ恐ラク拒否スル理由ハナイ、又若シソレヲ拒否スレバ、此點カラ内務大臣ガ仰シヤッタコトハ嘘ナンデアル、内務大臣ハ成ベク早ク普及サセタイト思フ、成タケ早ク普及サセタイト思フモノダカラ、ソレニ從ッテ五十、百ノ組合ガ申請シテ來テモ、タッタ百二十シカ認メナイト云フコトニナレバ、其アトノ組合ハ内務省ガ其普及ヲ阻止シテ居ルト言ハナケレバナラス、自己撞著ニ陥ルト私ハ思フ、斯ウ云フヤウナ危險ハナイノデスカ、又サウ云フ場合ニハドウ云フ風ナ査定標準ヲ取ラレルカ

○廣瀨政府委員 此普及ノ問題ニ付キマシテハ、成ベク早ク普及致シタイノデアリマスガ、併ナガラソレハヤハリ豫算ノ範圍内ニ於テト云フコトハ、政府ノ仕事デアリマスカラ、是ハ已ムヲ得ナイ、豫算ガ許ス範

圍内ニ於テ、出來得ル限り早ク普及ヲ致ス積リデアリマス、ソレカラ非常ニ澤山出來テ來タ場合ノ査定ハドウスルカト云フノデアリマスガ、ソレハ來年ハ丁度百二十ダケノ豫算ヲ持ッテ居リマスカラ、此範圍内ニ於テ各府縣ニヤハリ適當ニ安排シテ分配スル積リデ居リマス、ソレデ足ラナイヤウナ場合ガ起キマスレバ、ソレハ豫算ガ足ラナイノデアリマスカラ、是ハ已ムヲ得マセヌカラ、翌年度ニ於テ政府トシマシテハ十分ニ考慮ヲ拂ッテ、出來ルヤウニシテ行クト云フ積リデ居リマス

○添田委員長 藏原君、一寸何シマスガ、アナタノ言論ヲ妨ゲル、阻止スル譯デハアリマセヌケレドモ、御承知ノ通り大分時間モ過ギテ居リマス、アトニモマダ殘ッテ居リマスカラ、ドウゾ成ベク簡單ニ御切上ヲ願ヒタイト思ヒマス

○藏原委員 二時間ノ標準ナラバ、マダ四十分アル筈デス

○添田委員長 二時間デスガ、今日ハ連モサウハ行キマセヌ

○藏原委員 御約束シタ積リデスガ、マア出來ルダケ簡單ニヤリマス——ソレダカラ私ハ廣瀨君ノ御答辯ガ、尙ホ微溫的ダト云フコトヲハッキリ白狀ナサッタト思フ、ソレ

デヤ百二十組合ニクギテ、ソレダケノ補助ヲシテ、アトノモノハ補助セズニ來年カラ補助スルト云フガ、如何ニモソレデハ不親切千萬デアル、分散シナケレバ、サウシナケレバナラス、ソコデデス、實際ノ施行ノ上ニ付テハ、非常ナ困難ガ伴ヒ、運動ト云フ忌ハシイコトモ伴フ、ソレダカラ言フノデス、四十九條ヲ保險料ノ二分ノ一ヲ補助スルコトニシテハドウカ、良イ組合ナラバ出來ルダケ全部認メテヤルト云フコトニスレバ、内務省全部舉テ行ケバ、大藏省ハ直グ三千萬圓ノ戸數割デモ増シテ呉レル、ソコマデ行カウデヤアリマセヌカ、ソコマデ決心シナケレバ、本當ノ目的ニハ行カナイ、其決心ヲ現ハスノハ、即チ其精神ヲ現ハスノガ警察ノ連帶支辨金デアル、是ハ疾ニ御承知デアリマス、警察ノ連帶支辨金ハ、各方面ノ事情ニ應ジテ、必要ナラバ内務省ハ、義務トシテ三割五分或ハ六割五分マデノ負擔ヲスルトシテアルカラ、何時デモ追加豫算ヲ以テ殖セル、斯ウ云フヤウナコトヲ私ハヤッテ貰ヒタイガ、今マデノ社會事業等ニ於テモ、其點ニ非常ナ不滿ヲ持ッテ居ル、私モ内務省ノ中ニ居ッタカラ、常ニ痛切ニ感じテ居ルノハ、チヨットシタ、モウホンノチヨビットシタ豫算ヲ取ッテ、何カ標本

ヲ一ツ作ッテ——雛形ヲ一ツ作ッテ喜ブヤウナコトガアル、其場合ニハソレデモ宜シイデアラウ、一ツノモノヲ作ッテ、ソレヲ押通ス手段方法ナラソレデモ宜シイ、併シ今度ノ健康保險ノ組織ハ違フ、國民全部ヲ相手トシテ一般ニ普及シナケレバナラスノヲ、十年、二十年待テ半分ト云フ豫定デセウ、サウスルトドウデス、十年、二十年ノ間ニ、一方ニ於テハ非常ニ保護サレタ國民ガアリ、一方ニ於テハ非常ニ保護サレナイ國民ガアル、ソレデ宜イノデスカ、ソレヲ防グニ付テハ、豫算ノ範圍内デト云フコトヲ除イテ、ヤハリ是ハ一定ノ標準ヲ示シテ來タナラバ、全部良イモノハ認メテ宜イト云フ組織ヲ作ッテ置カナケレバ、本當ニ此決心ヲ現ハシ、又内務省ノ指導獎勵ノ實ヲ舉ゲルコトハ出來ナイ、ノミナラズ之ニ相當ノ補助ヲシナケレバ、是ハ決マリ切ッテ將來必ズ診療内容ノ低下ヲ來シマス、其ニツニ掛テ、ドウシテモ四十九條ハ、サウ云フ風ナ標準ヲ現ハシテ來ルモノハ、拒マズノ主義デヤッテ行カナケレバ私ハイカヌト思フ、ソレニ付テハドウ御考デアリマスカ

○廣瀬政府委員 此點ニ付キマシテハ、先程來申上ゲマシタヤウニ、吾々トシテハ此際ハ國庫ニ豫算ノ關係モアリマスシ、兎ニ角此國庫豫算ノ範圍内ニ於テ、本年度ハ豫算ヲ組ンデ居ルカラ、是カラ當分ヤハリ此主義ヲ以テ行クノガ適當デアル、今此處デ率ヲ決メルト云フヤウナコトハ、マダソコマデ行ッテ居ラス、唯今ノヤウナ或ハ熊本縣ニ澤山出來ル、サウスルト後廻シニナルモノガ無論出來ルノデヤナイカ、如何ニモ不親切ダト云フ御説デアリマスガ、ソレハサウデモアリマセウガ、併シ來年度ニ於テハ之ヲ又考ヘルト云フコトデ進ムコトハ、此種ノ大事業ヤナルニ付キマシテハ、一氣ニ全國ニヤラナイ以上ハ、其程度ノコトハ已ムヲ得ヌデヤナイカ、但シ將來是ガ非常ニ普及ヲ致シマスレバ、自ラソコニ又別ナコトモ考ヘラレルカト思ヒマス、現在ノ實情ニ於テハ、兎ニ角一氣ニ補助率ヲ決メルト云コトハ適當デナイ、却テ現在ノヤウニ豫算ノ範圍内デト云フコトデ、按排ガ旨ク付クモノデアルト云フヤウニ考ヘテ居リマス、尙又今回ノ内務省ノ腹案トシテ申上ゲタノガ、非常ニ悠クリデアッテ、十年デニ千五百萬圓、アトガマダ隨分澤山ノ人間ガ保護サレヌノデヤナイカ、是等ニ付キマシテハ腹案デアリマスカラ、若シ國庫ノ財政ガ許シ、又地方ノ實情ガ其仕事ノ普及ノ度ガ早イナラバ、ソレハモット早クナルコト

ハ結構ダト思ヒマス、吾々ノ計畫トシテハ、先ヅアノ位ノ計畫ハ實行シ得ル適當ナモノダ、斯ウ考ヘテ居リマス、其爲ニ一部分ニマダ普及セヌト云フコトガアルノハ、是ハヤハリ大事業デアル以上ハ、已ムヲ得ヌデハナイカト思ッテ居リマス

○藏原委員 如何ニモ微温のナコトヲ表白シテ貰ッテ残念千萬デアリマス、唯茲ニ一ツソレナラバ材料ヲ提供シテ見タイ、是ハ考ヘ方ニ依ッテハ極メテ内務省ハ反對シテ居ルケレドモ、所謂健康保險證券ヲ發行シテハドウカ、一面ニ於テハ航空證券ヲ同僚ノ間カラ提唱サレテ居リマス、是ハ決シテ不眞面目ナ議論デヤナイ、私ハ此間之ヲ勸誘ヲ受ケタ時分ニ、贊成シテ置イタ、唯民間ニヤラセテハドウカト言ウテ置イタ、ソレデ若シ大藏省ノ方デ非常ナ不都合ナコトガアレバ、財源ヲ提供スレバ宜イ、ソレニ付テハ富籤式ノ健康保險證券ヲ航空證券ト同時ニ發行シテ、之ヲ一箇月置キニ發行スレバ、恐ラク其費用、雜費ヲ差引イテ、年ニ七八千萬圓ノ金ハ優ニ出ル、半分ヲ航空獎勵ノ費用ニ、又半分ヲ國民健康保險ノ事業ニヤレバ、私ハ今ノ大藏省ガ彼此レ言ハヌデモ出來ルト思フ、之ニ對シテ内務省ノ見解ハドウデアリマスカ、是ハ

私ハ内務大臣ノ出席ガ欲シカッタ、併シ廣瀬君ハ内務大臣ニ代テ一ツ……

○廣瀬政府委員 此財源ノ問題デアリマスガ、此問題ハ非常ニ大キナ問題デ、色々ナ點ニ關係ガアリマスノデ、私ハ御意見ヲ伺テ置クト云フコトヨリ申上ゲ様ガアリマセヌ、ドウゾ是デ御承知ヲ願ヒタイ

○藏原委員 モウソレデハ私ハ止メマス、此問題ニ付テハモウ少シ大藏省ヤ内務大臣ヲ煩ハシタカッタ、マダ同僚カラ大分アトヲ急ガレテ居リマスカラモウ止メマスガ、私ハ財源ノ一ツトシテ、決シテサウ不真面目ナ議論ト思ハヌ、又内務省デハ、是ハ射倅心ヲ誘發スルト云フコトカラ反對シテ居ラレルヤウデスガ、併シ弊害ヲ考ヘレバ、自動車ノ事故ハドレダケアルカ、自動車ニ非常ニ事故ガアルト云フコトカ、自動車ハ使ハヌト云フコトハナイ、工場デモ災害ガ非常ニ多イ、鑛山ノ災害ガ非常ニ多イ、ソレデヤ廢坑ニシヨウ、工場ヲ止メヨウト云フコトニナルカト云フト、サウデヤナイ、ヤハリ有效ナ方面ハ活シテ使フコトガ必要デアル、一面ニ於テ富籤式ノ債券ハ、サウ云フヤウナ射倅心ヲ誘發スル危險ハアルカモ知レマセヌガ、之ニ對スル對策ハ自ラ別ニアツテ、本當ニ良イ目的ニ使ヘバ、是ハ財源ト

シテ極メテ取り易イ、又一番有效ナ方法ダト思フ、是ハ特ニ御考ヲ願ヒタイト思フ、要スルニ私ハ今マデノ社會事業見タヤウナ風ノコトデ、雛形式ノ、或ハ「サンプル」式ノ經營ノ方針、又サウ云フ考ヘ方デハ、此組織、折角ノ法制デモ、ソレハ意味ヲ成サヌト思フ、ソレダカラ本當ニ決心ヲサレテ、一面ニ於テハ被保險者ノ負擔ヲ輕クスル、一面ニ於テハ醫療效果ノ内容ヲ決シテ下ダナイデ、體位向上ノ方面カラ言ウト、内容ヲ上ゲラレル必要ガアルト思フ、サウ云フ必要ノコトニ付テハ思切ッテヤラレテ、本當ニ早く、十年計畫、十五年計畫ヲ止シテ、サウシテ一定ノ標準ヲ定メテ、其補助ノ規定ヲシテ置キサヘスレバ、三百年モ五百年モ待タヌデ、良イモノハ認メテ、擴メテ、早く普及シテヤッテ、國民ヲシテ一時ニ其恩惠ニ浴サセルト云フコトガ必要ダト思フ、是非ハサウ云フ風ナ考ヘ方ニナッテ戴イテ、本當ノ決心ヲ以テ内務省ハ其效果ヲ發揮サレンコトヲ、切ニ希望シテ止マヌノデアリマス、私ノ質問ハ是デ打切りマス

○添田委員長 山口君

○山口委員 私ハ時間ガ切迫シテ居リマスルカラ、極ク簡單ニ簡條のニ、此法案ニ付テ質問シテ見タイト思ヒマス、本案ガ内務

省ノ言フ通り、社會立法ノ見地ニ於テ唯一ノ法案デアアル、半面ニ於テハ醫療國策トシテノ立場ニ立ッテ本案ヲ見ル時ニ、私ハ社會立法トシテノ法案デアリ、同時ニ將來ノ我國ニ於ケル保險國策トシテノ、一ツノ方向ヲ示スモノデアアル、一ツノ段階ヲ有スルモノデアアルト云フ風ナ觀點ニ立チマシテ、今醫者ノ方ノ立場ト、産業組合ノ立場トニ於テ、猛烈ナ論争ガ行ハレテ居ルノデアリマス、先程本案ニ對スル三宅君ト内務當局トノ御議論ヲ聞イテ見マスルト、現在ノ開業醫制度ニ對シ、竝ニ醫師會ニ對シテ、資本主義ノ制度ノ發展過程ニ伴フ所ノ遺憾ナイ御議論ヲ承リマシテ、大キナ示唆ヲ與ヘラレタモノト私共ハ感じタノデアリマス所デ三宅君ノ言ハレル所ニ依リマス、開業醫制度ニ於テモ今後太イニ改良シナケレバナラヌ、醫師會ノ組織ニ付テモ太イニ缺點ハ是正シナケレバナラヌ、斯ウ云ウ風ナ御意見ノヤウニ拜承シタノデアリマス、所デ醫師會——醫者ノ方ノ立場カラ見マス、産業組合ノ擴大強化サレツ、アル此組織ニ對シテ、ヤハリ三宅君ノ言フヤウナ非難、杞憂ヲ醫者個人ハ持ッテ居ルノデアリマス、其點ガ九條ノ問題ニナリ、或ハ團體契約權ノ確立ト云フヤウナ主張ニナッテ居

ルト云フコトガ、正直ナ話ダラウト思フノデアリマス、所デ私ノ質問セントスル第九條、是ハ色々モウ既ニ論ジ盡サレテ居リマスカラ、極ク簡單ニ唯念ヲ押シテ置ク程度ニ過ギマセヌケレドモ、サウ云フ風ナ意味ニ於テ御尋シタイノデゴザイマス、現在農林省デ産業組合共濟施設ト云フモノヲ、盛ニ獎勵セラレテ居ラレルト云フコトヲ聞イテ居リマス、此産業組合共濟施設ト、現在行ハレテ居ル醫療利用組合ト、ドウ云フ風ナ關係ニナッテ居ルカ、ソレカラ産業組合共濟施設ト云フモノハ、現在ドノ位ノ數ガアルカ、其點ヲ御同致シタイノデアリマス

○添田委員長 今農林省ノ政府委員ヲ呼びニ行キマシタカラ、内務省ノ方ニ先ニ質問ヲ願ヒマス

○山口委員 産業組合共濟施設ト云フモノハ、醫療利用組合ト同ジヤウナ仕事ヲヤッテ居ルノデスカ、内務省ノ政府委員ニ聽キタイト思ヒマス

○清水政府委員 私カラ御答致シマスガ、共濟施設ニ付キマシテハ、私詳シイコトハ餘リ存ジマセヌガ、醫療組合ト國民健康保險組合ノ中間位ノ仕事ニナッテ居ルノデハナイカト思ッテ居リマス

○山口委員 何故其産業組合共濟施設ヲ、

醫療利用組合ト同ジヤウニ、代行サセルト云フ方針ヲ御執リニナラナカッタカ、醫療利用組合ノ方ガ、今度ノ國民健康保險法案ト類似ノ組織デアルカラト云フ意味ニ於テ御考ヘナラバ、寧ロ産業組合共濟施設ノ方ガ、本法案ノ方ニ類似シテ居ルノデハナカラウカ、其點ニ付テ伺ヒマス

○清水政府委員 共濟施設ト申シマスノハ、醫療組合ノ如ク、産業組合法ニ依ッテ組合ヲ作ッテ居ルト云フノデアリマセヌデ、産業組合ガ偶、其資金ヲ利用シテ、別ノ仕事ヲヤッテ居ルト云フヤウナモノ、ヤウニ聞イテ居リマス

○山口委員 ソレナラバ現在ノ九條ノ醫療利用組合ノ範圍ニ付テ御伺シタイノデスガ、既設ノモノハ要スルニ優良ノモノダケハ代行サセル、赤字ノモノデアッデモ、黒字ニナルヤウナ將來性ノアルモノモ、之ヲ將來代行サセル、赤字デ永久アルモノハ、是ハ代行サセルト云フ風ニ御話ハナイガ、併シ此儘デ行キマスと云フト、將來醫療利用組合ガ新設サレルモノ、是ハ當然代行サレルモノト見ナケレバナラス、隨テ此醫療利用組合ト云フモノヲ獎勵スルヤウニ、是ガ簇出シテ來ルト云フト、取モ直サズ是ハ醫療制度ニ對スル所ノ大變革ヲ來スモノト

云フ風ニ見ルノデアリマスガ、其點ハ如何デセウカ

○清水政府委員 其點ハ前々申上ゲテ居リマスヤウニ、國民健康保險制度ガ出來マシタラバ、吾々ハ國民健康保險組合ト云フモノヲ、原則トシテヤッテ行ク立前デ考ヘテ居リマス、ト同時ニ國民健康保險組合、或ハ無醫村ニ醫療施設ト云フモノガ出來テ來マスト、自ラ醫療組合ノ必要モ減ジテ參リマスルノデ、其方ガ餘リ出來テ來ルコトハナクナリハシナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○山口委員 醫療利用組合ト云フモノハ、産業組合ノ謂ハ、經濟團體トシテ、サウ云フ方面ノ經營、竝ニサウ云フ實務のニ非常ニ訓練セラレタ所ノ人達ガヤッテ居ル爲ニ、寧ロ健康保險組合ト云フモノ、新設ヨリカ、サウシタ方面ヲ利用スル方ガ、却テ本組合ノ要スルニ創設ヲ早カラシメル、便宜ナラシメルト云フ風ニ私共ハ考ヘルノデアリマス、サウスルト結局是ハ兩建ニナッテ行ッテ、寧ロ今政府委員ノ御答辯ノ如ク、醫療利用組合ト云フモノガ、寧ロ阻止セラレルト云フヤウナ風ニ御考ニナルコトハ、相反スルヤウナ結果ニナルノデハナカラウカ、斯様ニ信ジテ居ルノデスガ、如何デア

リマスカ

○廣瀨政府委員 御答致シマスガ、是ハモウ前カラモ數回申上ゲタノデスガ、國家ガ國民健康保險法ヲ作りマシテ、之ヲ醫療施設ニ關スル根本策ト致シテ、之ニ對スル獎勵ヲ致スト云フコトニ致シマシテ、醫療利用組合ニ付テハ、吾々ハ決シテ之ヲ進メルト云フ態度デナイノデアリマス、今迄モサウデスガ、今後モ無論サウデアリマス、サウシテ吾々トシテハ、此醫療利用組合ノ方ハ、是ハモウ除外例トシテ、代用スルノダト云フ立前ヲ取ッテ進ムノデアリマスカラ、私共ハ國家ガ補助政策ヲ以テ相當ナ補助ヲ致シ、サウシテ法律ヲ以テ特ニ進メルト云フコトデ進メテ行キマスナラバ、御話ノヤウナコトニナラナイデ、ヤハリ國民健康保險組合ガ本則トシテ將來發達スルモノデア

ル、代行ノ如キハ是ハ除外例デアッデ、サウシテ相當嚴重ナル條件モアリマスカラ、サウ殖エルモノデハナイ、斯ウ云フ工合ニ私共ハ見テ居ルノデアリマス

○山口委員 只今ノ御答辯ニ依リマスルト、ソレナラバ九條ガ今醫者ト産業組合トノ間ニ、非常ナ論争ノ中心ニナッテ居ルノデアリマスガ、今ノ御意見ヲ敷衍シテ行クナラバ、此九條ヲ附則ニ置イテモ差支ナイ

ヤウナ工合ニ考ヘラレマスガ、其點如何デアリマスカ

○廣瀨政府委員 是ハヤハリ本則ノ中ニ置クベキモノデアリマシテ、醫療利用組合ニ健康保險ノ仕事ヲ行ハシメル、斯ウ云フコトデアリマスカラ、是ハヤハリ本則ニ置クベキモノデアルト吾々ハ考ヘテ居リマス

○山口委員 將來醫療利用組合ト云フモノガ、本案ノ保險組合ガ出來レバ、結局必要性ガナクナッテ來ルノダト云フヤウナ、先程ノ清水政府委員ノ御話デアリマスルカラ、ソレナラバ寧ロ本則ニ置クヨリカ、附則ニ置イテモ差支ナイノデナイカト云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス、其點ハ或ハ意見ノ相違カモ知レマセヌガ……次ニ醫者ノ方カラ言ハセマス、本法ガ實施セラレルト云フト、生活問題ダト云フコトヲ言ッテ居リマス、一體此生活問題ト云フノガドウ云フ點カト云フヤウナコトニ付テ尋ネテ見マス、先ヅ醫業ノ獨立性ト云フモノガ無クナッテ來ルノダ、考ヘ様ニ依レバサウモ取レルノデアリマスガ、モウ一ツ産業組合ノ幹部ニ支配セラレルノダ、隨テ情實ト云フモノニ左右セラレ、或ハ情實ノ弊害ト云フモノヲ非常ニ把握シテ居ル所ノ開業醫ガ多イノデアリマス、此點ニ付テノ監督――將來

斯ウ云フ風ナ弊害ニ對シテ政府ハ如何ナル所ノ監督ヲナサル、カ、其弊害ト云フモノヲ是正スル爲ニハ、ドウ云フ御注意ヲ爲サル、カト云フコトニ付テ、御尋シタイノデアリマス

○廣瀨政府委員 ソレ等ノ點ニ付キマシテハ、是ハヤハリ私ハサウ云フ弊害ハサウ起ルモノデハナイト先ヅ第一ニ考ヘマス、ト申シマスノハ、ヤハリ組合會ナリ、理事會ナリト云フモノガアリマシテ、サウ一個人ノ勝手ニナルモノデハナイノデアリマスカラ、サウ云フ弊害ハ大體ニ於テ起ラナイモノダト思ヒマスガ、是ガ起リマシタ場合ハドウスルカト云フコトデアリマスナラバ、ソレハヤハリ地方長官ニ於テ監督スル、尙ホ内務大臣ニ於テ監督スル、ソレカラ其外ニ監督方法トシテハ、或ハ保険料ノ問題デアラナラバ訴訟ノ途ヲ設ケテ置クトカ云フヤウナ色々ナ方法ヲ以チマシテ、サウ云フヤウナ弊害ノ生ジナイヤウニ、適當ナ監督ヲ施ス積リデ居リマス

○山口委員 其弊害ニ對スル是正並ニ保護ヲスル意味ニ於テ、醫者ノ方デハ團體契約權ヲ認メテ貰ヒタイ、斯様ナ端のナ氣持ヲ有テ居ルノデアリマス、色々ノ意味ニ於テ團體契約權ヲ確認セヨト云フノハ、唯無理

遣リニ自我主義デ、サウ云フ風ナ主張ヲ有ッテ居ルノデナイ、將來杞憂デアルカモ知レヌケレドモ、生活問題トシテ、サウシテ團體契約權ノ確認ト云フモノガソレヲ保護スルモノデアアル、ソレハ自衛上已ムヲ得ナイノダト云フヤウナ考ヲ有ッテ居ラレルノデスガ、其點ニ對スル政府ノ御所見ハ如何デゴザイマスカ

○廣瀨政府委員 團體契約ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ私共ハ絕對ニ之ヲ否認シテ居ル譯デハナイノデアリマシテ、唯之ヲ法令ノ上ニ書クノガ適當デナイ、唯併シ組合ノ自治ヲ侵サナイ範圍ニ於テ團體契約ガ結バレルノハ結構デアアル、唯法ヲ以テ必ズ團體契約ヲシナケレバナラスト云フヤウナコトニスルノハ宜クナイ、斯ウ云フ工合ニ考ヘテ居ルノデアリマス、團體契約ニ依ッテ組合ト契約スルト云フコトハ、ソレハ吾々ハ妨ゲナイノデアリマスカラ、地方ノ實情ニ依ッテ其契約ヲナサルコトハ隨意デアルト、御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○山口委員 ソレデハ今度ハ十二條ニ付テ御尋シタイノデアリマス、十二條ノ二ノ特別國民健康保險、之ニ付テ普通國民健康保險組合ト云フモノヲ妨ゲルカラ、之ヲ削除シテハドウカ、何故カト申シマス、小都

會ニ於キマシテハ同種同業ノ特別國民健康保險組合ニ加入スル者ガ極ク少イ、隨テ財政的ニハ寧ロ「ビック・アップ」サレテ、普通國民健康保險組合ト云フモノ、成立ヲ妨ゲルヤウニナルノデヤナイカ、ソレハ財政上ニ於テノ醫療ノ差別ガ自ラ出來テ來ル、斯ウ云フ風ナ見方ヲ持ッテ居ルノデアリマスカ、其點ハ如何デゴザイマセウカ

○清水政府委員 只今御述ニナリマシタヤウナコトハ、實ハ吾々モ考ヘテ居リマシテ、特別國民健康保險組合ノ方ハ大體小都市ニハ出來ナカラウト云フ見込デ居リマス、殊ニヤハリ是ガ認可ニ當リマシテハ、千人位會員ガアルト云フコトラ目的ニシテ居リマスカラ、結局相當ノ都市デナケレバ同業者ナリ或ハ同ジ仕事ニ使ハレテ居ル人ハ澤山居リマセヌカラ、相當ノ都市デ出來ルガ、小サイ所ニハ出來ナイ、隨デ小サイ都市デ普通國民健康保險組合ノ出來ルノガ阻止サレルト云フコトニハ、ナルマイカト考ヘテ居リマス

○山口委員 特別國民健康保險ノ組合ハ、如何ナル條件ノ下ニ許可スルカ、例ヘバ一郡單位トカ、一縣單位トカ云フヤウナ工合デ、許可サレルカドウカヲ伺ヒタイ

○清水政府委員 特別國民健康保險組合ヘ

認可ノ條件デアリマスガ、範圍ト致シマシテハ別ニ一郡トカ、一縣トカ、ハッキリ決マッタ範圍ハ別ニ考ヘテ居リマセヌ、適當ナ範圍デ其事情ニ應ジテ、隨時ニ決メテ宜カラウト思ッテ居ルノデアリマス、唯今申上ゲマシタヤウニ、ヤハリ其組合トシテ將來經營ガ成立ツト云フコト、又大體被保險者ノ數ハ千人位要ルト云フヤウナコト等ノ條件ハアリマス

○山口委員 念ノ爲ニ此點御尋シテ置クノデスガ、「特別國民健康保險組合ハ同一ノ事業又ハ同種ノ業務ニ従事スル者」ト限ラレテアリマスガ、産業組合ハ特別組合ト認メルカドウカ、ソレカラ産業組合ノ聯合シタモノヲ特別組合ト認メルカドウカト云フ、此二點ニ付テ御尋致シマス

○清水政府委員 御答致シマスガ、同一ノ業務又ハ同種ノ業務ト言ヒマスノハ、大體吾々ノ考トシマシテハ、同一ノ事業ニ使ハレテ居ルモノ、或ハ同種ノ業務ヲ營ンデ居ルモノガ組合ヲ作ル場合ヲ特別ノ組合ト、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス、産業組合ノヤウナモノハ實ハ考ヘテ居リマセヌ

○山口委員 十六條ニ付テ御尋シマス、「特別ノ事由アル者ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノヲ除ク」ト省令ノ草案ニ書イデアリマス

ルガ、先程藏原君カラモ御尋ガフツガ、多額ノ收入アルモノ、是ハ幾何ヲ標準トスルカト云フコトニ付テ大體千二百圓見當ト云フヤウナ御答辯ガアツタノデスガ、サウ承知シテ宜シイデスカ

○清水政府委員 御答致シマスガ、只今千二百圓ト云フ御話デアリマシタガ、先刻社會局長官ガ申サレマシタノハ、只今施行サレテ居リマスル健康保險制度ニ於キマシテ、職員ガ強制サレテ居ル範圍ガ、收入千二百圓マデト云フ話デアリマシテ、此國民健康保險ノ方ニ於キマシテハ、此標準ハ大體千七百圓位ト考ヘテ居リマス

○山口委員 其他地方長官ノ指定シタルモノトハ、如何ナルモノデアリマスカ

○清水政府委員 御答致シマスガ、是ハ醫者デアリマスツカ、或ハ住居ノ一定シテ居ラス者、サウ云フモノデアリマス

○山口委員 十九條ニ付テ御尋シタイノデスガ、「組合ノ施設ヲ利用セシメルコトヲ得」ト云フコトガアリマスガ、組合ノ施設ト云フモノハ如何ナルモノデアリマスカ

○清水政府委員 御答致シマスガ、是ハ大體病院トカ診療所トカ云フモノヲ考ヘテ居リマス

○山口委員 然ラバ利用ノ目的デ診療機關

ヲ設置スルコトヲ得ルモノヲ指スノデアリマスカ

○清水政府委員 御答致シマス、是ハ組合ガ病院ナリ、診療所ナリヲ持ッテ居ルヤウナ場合ニ、其被保險者ニナッテ居ラヌ人ガ、利用スルト云フヤウナ場合ガアルコトヲ、豫想シテ居リマシタノデ、ソレ以外ノ者ハ考ヘテ居リマセヌ

○山口委員 國民保險組合ノ代行ノ醫療利用組合ノ診療機關ヲ利用スルト云フコトニナリマスガ、此醫療利用組合トシテノ診療機關ハ、從來現金ヲ持合セナイモノハ診療シナイト云フコトニナッテ居リマス、所ガ之ヲ代行スルト云フコトニナリマスツ、現金ヲ持合セナイ者デモ診療スルト云フ風ナコトニナリマスガ、其點如何デスカ

○清水政府委員 御答致シマス、其第十九條ハ醫療利用組合ガ國民健康保險ノ事業ヲ代行シマス場合ニハ、適用ノナイ條文デアリマス

○山口委員 從來此醫療利用組合ニ於テハ、現金ヲ持ッテ居ナイ者ハ診療シナイト云フコトニナッテ居リマス、所ガ一般ノ醫者ノ方ハ現金ヲ所持セヌ場合デモ、診療ヲ拒絕スルト云フ風ナコトガ出來ナイ、不應招ノ問題ガ起ルノデスガ、醫療利用組合ノ

方ニ付テハ、此問題ガ私法上ノ關係デ、公ノ規定ト云フモノハ效力ガナカッタノデアリマスガ、此點ニ付テ如何ヤウニ御考デゴザイマスカ

○狹間政府委員 詳細一寸聞漏シタ點モアルト思ヒマスカラ、若シ御答ニ副ウテ居ナカッタラ、重ネテ御質疑ヲ御願シマス、只今ノ問題ハ、醫師法ノ施行規則ノ第九條ノ、正當ノ事由ノ解釋ニ依ルモノデアリマス

○山口委員 從來此醫療利用組合ニ於キマシテハ、組合員デナイ者ガ一番初メ診察料ヲ出シタ爲ニ會員トナッテ、サウシテ普通組合員デアルノナラバ年々一定ノ時期ニ、組合費ヲ支拂ハナケレバナラヌノニ拘ラズ、臨時ニ診療ラシテ居ツタ、詰リ員外利用ト云フモノヲヤッテ居ツタト云フヤウナコトガ、多カッタノデアリマスガ、今後代行ヲスル爲ニ此一種ノ脫法行爲ト云フモノヲ、取締ルコトガ出來ナイヤウニナル、其點ハ如何デアリマスカ

○清水政府委員 只今御話ノヤウナコトハ、ナイノデヤナイカト思ヒマス

○山口委員 サウ云フ事實ヲ非常ニ擧ゲテ、醫者ノ方ハ非難シテ居ルノデスガ、結局醫療利用組合ト云フモノハ、組合員ガ毎年一定ノ日時ニ組合費ヲ納メテ、組合員ト

シテノ診療ヲ受クベキデアルガ、唯一回診察料ヲ出シテ其後臨時組合員トシテ、正當ノ組合員デナクテ治療ラシテ居ルト云フ事實ガ、澤山アルサウデス、是ハ結局一種ノ脫法行爲デ、取締ガ出來テ居ラズニ濟ンデ居ツタサウデスガ、今度ハ代行スルヤウニナルト、之ヲ大ビラデアルコトガ出來ルノダト云フ意見ヲ、持ッテ居ル人達ガ多イノデス、此點ニ付テ御取締ヲドウナサルカト云フコトデス

○清水政府委員 御答致シマスガ、只今御話ノ點ハ斯ウ云フコトニナルト思フノデアリマス、從來代行デナイモノニ付キマシテハ、或ハ御話ノヤウナコトガアツタカ知レナイガ、代行ト云フコトニナリマスツ、醫療組合ノ組合員ガ一定ヲ致シマセヌト、代行ガ出來ナイ譯デアリマス、大體代行ノ場合ニハ、全村加入ト云フコトヲ目標ニシテ、サウ云フ組合ヲ代行サセマスカラ、大體確定シタ組合員ガアル場合ニ代行ガ出來ルト云フコトニナリマス、隨テ代行ノ場合ノ組合員ト云フモノハ、醫療組合ニモズウツト經常的ノ組合員トナッテ居ル人達デアリマスカラ、其モノガ代行シタカラト云フテ、別ニ只今御話ノヤウナコトニハナルマイト思ヒマス

○山口委員 ソレデハ第二十條ニ付テ御尋

致シタイノデス、第二十條ニ組合ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ定ムト云フ、此省令ノ中ノ「醫療ノ給付ニ付テハ組合ハ特別ノ事情ナキ限り一般ノ醫師」、右ハ醫師、齒科醫師、或ハ藥劑師個人ヲ示シテ、「其ノ他ノ醫療機關」ハ官公立特殊ノ診療機關、醫療利用組合等ヲ示スモノデアルカドウカ、斯ウ云フコトヲ御聽キ致シマス

○清水政府委員 御答致シマスガ、茲ニ命令案ニ書イデアリマス醫療機關ト申シマスノハ醫師、齒科醫師、藥劑師ト云フ個人ヲ含シテ居ル積リデアリマス

○山口委員 此中ノ醫師會トカ、齒科醫師會或ハ藥劑師會ノ團體ト契約スルヤウニ指導スルヤウナコトガ、本項ニ依ッテ見ルコトガ出來ルカドウカ、此點ヲ一ツ御尋シタイ

○清水政府委員 御答致シマス、只今ノ條文ハ醫療機關ヲ廣ク指定シテ居ルコト、被保險者ノ自由選擇ガ出來ルト云フコトト、二ツノ法文ニナッテ居リマス、代表カラ見マスト勿論團體契約ヲスルコトニハナリマセヌガ、併シ廣ク指定シテ置クト云フ趣旨カラ見マシテ、吾々が言ッテ居リマスルヤウニ團體契約ガ出來ル場合ガ、相當多イ

ト云フ前提ニナルト思ヒマス

○山口委員 何故團體ヲ主トシテ、個人ヲ例外トスルヤウニ考ヘルコトヲ適當トシナカッタカ、此點ヲ御聽キ致シマス、團體ヲ主トシテ個人ヲ例外トスルヤウニ見ルコトガ、適當デハナイカト云フコトデス

○清水政府委員 吾々ト致シマシテハ、特ニ團體ガ主デアルトカ個人ガ主デアルトカ云フ譯デハアリマセヌノデ、醫療ノ給付ヲシマス場合ニ、被保險者ノ自由選擇ト云フコトガ確保サレ、便宜シイト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○山口委員 若シ醫師會ガ團體契約ヲ假ニシテ、團體契約ノ違反者ヲ處分スル決議ヲシタ場合ニ、會員ヲ拘束スルヤウナコトニナルト、監督官廳ハ其決議ヲ取消スヤウナコトガアルノデアリマスカドウカ

○挾間政府委員 只今ノ御尋ノ點ハ、非常ニムヅカシイ問題ダト思ヒマス、國民健康保險法ニ於キマシテハ、醫師ト國民健康保險組合トノ診療契約ト云フ問題ニ付キマシテハ別ニ規定ハゴザイマセヌ、隨テ醫師會ガサウ云フ議決ヲスルト云フコトハ、多クハ穩當デナイヤウニモ思ハレマス、併シ是ハ具體的ノ問題ニ遭遇シマセヌト、一般論トシテ取消ストカ、取消サナイデモ宜イト

カ云フコトハ言ヘナイト思ヒマス、ソレハ議決ノ内容ヲ十分檢討シマシタ上デナケレバ、ハッキリト申上兼ネル問題デアラウト思ヒマス

○山口委員 色々御尋スルノハ後日ニ問題ヲハッキリシテ置ク必要ガアルノデ、サウ云フ點ニ付テ御尋スルノデアリマスルカラモウ一點御尋シマス、此團體契約ヲ爲スコトハ醫師會ノ既存權利デアアル、即チ法人格ガアル法人ノ行爲ノ一部デアアル爲ニ、其團體ヲ除外シヨウトスル立法精神ニ對シテハ、非常ニ抗議ヲ申シテ居ルモノダ、斯ウ云フコトガ醫師會ノ主張ニナッテ居ルノデアリマス、無キ權利ヲ新ニ與ヘヨト云フノデヤナイ、斯ウ云フ點ヲ述ベテ居リマスルカラ、此點ニ對スル蒙ラ啓イテ貰ヒタイ

○挾間政府委員 十分只今ノ御尋ノ點ガ……私間違ヘテ居ルカモ知レマセヌガ、團體トシテ契約ヲ締結スベキ既得權利醫師會ガ持ッテ居ルト云フ風ニハ私考ヘテ居リマセヌ

○山口委員 醫療ノ普及ノ上カラ云ヘバ醫師會ヲ對象トスル方ガ便利デヤナイカ、醫師個人ヲ對象トスル上ニ於テハ不自由ト不便利ガアルガ、此點ニ付テハドウ云フ風ニ考ヘテ居ルカ

○廣瀨政府委員 便利不便利ノ問題ニ付テ

御尋デアリマスガ、ソレハ醫療ノ普及ト云フコトダケノコトヲ考ヘタラ或ハ醫師會ト契約ト云フコトガ便利ナコトモアリマセウガ、私共ガ團體契約ヲ法令ノ上デ規定シテヤルノハイカスト云フコトハ、ソレダケノコトヲ考ヘテ居ル譯デハアリマセヌ、ヤハリ全體カラ見テ色々今マデ申上ゲタヤウナ理由カラ、團體契約ヲ法文化シナイ方ガ宜カラウ、實際問題トシテハサウ云フ何レガ便利カ不便利カト云フコトダケヲ考ヘテ居ル譯デハナイノデアリマス

○山口委員 二十四條ニ付テ御尋スルノデアリマスガ、二十四條ニハ「健康ヲ保持増進スル爲左ノ施設ヲ爲スコトヲ得」ト云フコトガ書イデアリマス、是ハ許可條項力任意條項カ

○清水政府委員 御答致シマスガ、是等ノ施設ヲ爲スコトハ組合ノ任意ト考ヘテ居リマス

○山口委員 保持増進スルト云フコトハ如何ナルコトデアアルカト云フコトヲ御尋シタイノデアリマス

○清水政府委員 此健康ノ保持増進ト申シマスノハ、其アトノ方ニ明示シテアリマスヤウナコトデアリマシテ、要スルニ病氣ニ

罹ラヌヤウニスルコト、病氣ニ罹ラヌノ

ミナラズ、一般的ニ健康ヲ増進スルト云フヤウナ二種類ニナルカト思ヒマス

○山口委員 健康ノ恢復ト云フモノハ、例

ヘバ健康ニハ上中下ノ健康狀態ガアリ、病人ガ健康ヲ恢復スルト云フ時ニハ、健康ノ増進ト云フコトニナルガ、疾病ノ治療マデヲ含メテ居ルト云フ風ニ考ヘラレルカ、斯ウ云フコトモ含マレテ居ルカドウカ

○清水政府委員 只今ノ御尋デアリマス

ガ、此二十四條ノ施設ト云フ中ニハ、病氣ノ療養ニナル部分ハ含シテ居ラス積リデアリマス、但シ病氣デハナクナッタトデ、健康ヲ増進スルト云フ意味ノコトハ是ハ宜シカラウト思ヒマス

○山口委員 健康相談ニ關スル施設ノ中ニ

ハ、例ヘバ醫者ノ監督指導ノ下ニ榮養ヲ注意スルトカ、或ハ特別ノ器械ヲ——太陽燈ヲ掛ケルトカ云フヤウナコトモ健康相談ニ關スル施設ノ中ニ含マレルノデアリマス

○清水政府委員 御答致シマスガ、健康相

談ト云フ文字ハ茲ニハナイノデアリマスガ、サウ云フコトモ實ハ考ヘテ居リマス、其場合例ヘバ今御話ノ太陽燈ノ如キモノモ健康相談ノ場合一種類トシテ、其施設ノ中ニハ入り得ルト思ヒマスガ、其太陽燈ヲヤ

リマスト申シマスノハ、病氣ヲ癒ス爲ノ太

陽燈照射デナクテ、虛弱者ヲ丈夫ニシテヤラウト云フ意味ノ照射ト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○添田委員長 山口君マダ大分續キマス

○山口委員 大シテ續キマセヌ、後日ノ念ノ爲ニ御聽キシテ居ル點デスカラ……

○添田委員長 モウ十一時デスカラ……

○山口委員 應急處置ヲ爲スト云フコトニ付テ、専門家デナケレバ出來ナイヤウナ程度ノ處置ヲスルコトモ、此應急處置ヲ爲ス中ニ含マレルカドウカ

○清水政府委員 只今御話ガアリマシタ應急處置ト云フ文字ハ二十四條ニハナイノデアリマスガ……

○山口委員 併シ健康相談ト云フコトニ關シテノ施設デスカラ……

○清水政府委員 吾々ノ考ヘテ居リマス健康相談ト云フ中ニハ、應急處置ト云フモノハ考ヘテ居ラナイノデアリマス

○山口委員 此簡易保險ノ健康相談所ノ如クニ、處方箋ヲ發行シタリ、特定藥局ヲ設置シタリスルヤウナコトガアリマス

○清水政府委員 健康相談トシテハアリマ

セヌ

○山口委員 保健所法ニ依ル所ノ保健所ト

ノ關係ハ如何デアリマス

○清水政府委員 保健所ハ斯ウ云フ事柄ニ

付キマシテハ、指導スル所デアリマス、ソレカラ此國民健康保險法デヤリマス保險設備ニ付キマシテハ、其保健所ノ指導ヲ受ケテ實際ノ仕事ヲスル、斯ウ云フコトニナリマス

○山口委員 其他官公私立ノ相談所ノアル

所ニモ、設置スル意見デスカ

○清水政府委員 御答致シマスガ、是ハ國

民健康保險組合ノアリマス所ニ、國民健康保險組合デヤリマス施設デアリマシテ、大體是ハ官公立ト云フモノトハ關係ガナイモノト考ヘテ居リマス

○山口委員 保養ニ關スル施設ト云フモノ

ハ、ドウ云フコトガ含マレテ居リマス

○清水政府委員 所謂保養所ト云フヤウナ

モノヲ造ルコト、或ハ轉地療養——轉地療養ト申シマスガ、要スルニ靜養サセルコトヲ云フヤウナコトヲ考ヘテ居リマス

○山口委員 其他健康ノ保持増進ニ關スル

施設ト云フノハ、是ハ無醫町村ノミニ設置スル方針デスカ、必シモサウデナイカ

○清水政府委員 此所謂「其ノ他健康ノ保

持増進ニ關スル施設」ト申シマスノハ、例ヘバ榮養改善デアリマストカ、體育獎勵デア

リマストカ、其他衛生ノ講演會、或ハ宣傳

ト云フヤウナモノデアリマス

○山口委員 アト保健所ニ關シテ一寸御尋シタイノデスガ、其前ニ醫師法ノ規則ニ、

診斷ヲ拒メズト、斯ウ云フヤウナ法規ガアルノデアリマスガ、組合員外ノ病人ハ診斷ガ出來ナイ筈ニナッテ居ル、所ガ是ガ醫師法トノ關係ハドウ云フモノカ

○挾間政府委員 利用組合ノ問題デアルト

思ヒマスガ、組合員ノ家族デスカ——組合員デハナイノデアリマス、隨テ此診療機關ノ診療治療ヲ拒ミマシタ場合ニハ、此第九條ノ「正當ノ事由」ト云フコトニ該當スルドラウト思ヒマス、組合員外ノモノデゴザイマス

○山口委員 ソレデハ今ノ御答辯ヲ聽置イ

テ置キマス、ソレカラ最後ニ保健所ノ問題ニ付テ御尋シタイノハ、保健所デ若シ治療ヲシタ醫者ガアッタ場合ニハ、其處分ヲ如何ニスルカ

○挾間政府委員 保健所ニ居リマス者ハ縣

ノ待遇職員デゴザイマシテ、左様ナコトハ致シマセヌ

○山口委員 處方箋ヲ發行スルヤウナコト

ハアリマセヌカ

○山口委員 將來民衆ノ要望ニ依ッテ、診療機關化スルコトガアルカナイカ

○挾間政府委員 只今ノ所デハ、是ハ専ラ指導衛生ノ機關デゴザイマシテ、左様ナコトハ只今ノ所、此機關ニ依ッテハ豫想シテ居リマセヌ

○山口委員 將來ハ御考ニナラナイノデスカ、只今ノ所ダケデスカ

○挾間政府委員 指導機關デゴザイマシテ、若シ是ガ診療ヲヤルコトニナリマスレバ、法律ヲ改正シナケレバ爲シ得ナイコトデゴザイマス

○山口委員 最後ニ治療ノ範圍ヲ伺ヒタイノデスカ、寄生蟲ノ検査或ハ驅蟲劑ヲ配付スル、衛生組合ノ如キガ巡查ラシテ驅蟲劑ヲ配付スルヤウナコト、或ハ診療シテ豫防方法ヲ講ズルト云フヤウナ無診投藥ヲヤルト云フヤウナコトガ、治療ノ範圍ニ入ルカドウカト云フコト

○挾間政府委員 是ハ驅蟲藥ヲ配付シタリシマスコトハ、大體市町村ガヤルノデゴザイマシテ、保健所ハ其行爲ニ對スル指導ヲ行フノデゴザイマス

○山口委員 私ノ質問ハ是デ打切りマス

○三善委員 動議ヲ出シマス、質問ハ大體御終了ニナッタト思ヒマスカラ、是デ質問ヲ

打切りマシテ——但シ慣例ニ依リマシテ、討議ニ入ル前ニ簡單ナル質疑ハ御許シテ願ヒタイト思ヒマス、以上動議ヲ提出致シマス

○武知委員 三善君ノ動議ニ賛成致シマス

○添田委員長 皆サン、三善君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○添田委員長 ソレデハ是ヲ以テ質問ノ終了ト致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開會ヲ致シマシテ、極メテ簡單ナル質疑ハ許可ヲシマスケレドモ、引續イテ討議ニ入りタイト考ヘテ居リマス、今日ハ是デ散會ヲ致シマス

午後十一時十五分散會